

平成 24 年

農林水産業気象災害年報

平成 26 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	5

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	9
2	畑作物（小麦、大豆）	10
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	12
4	花き（りんどう、小ぎく）	14
5	果樹（りんご、ぶどう）	15
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	17
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	18
8	水産物（わかめ、こんぶ、ほたてがい、かき）	18

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月29日の波浪災害	19
2	3月12日の大雪災害	20
3	4月3日から4日の暴風・波浪災害	21
4	5月3日の4日の大雨災害	24
5	5月6日の降雹災害	27
6	5月11日から12日の波浪災害	28
7	5月28日の降雹災害	29
8	6月4日の降雹災害	30
9	6月6日の降雹災害	31
10	6月7日の波浪災害	32
11	6月20日の台風4号災害	33
12	7月16日の大雨災害	34
13	9月4日の大雨災害	35
14	9月25日の降雹災害	36
15	7月から9月の暑熱・少雨災害	37
16	10月1日の台風17号災害	38
17	11月26日から27日の強風災害	42
18	12月4日の大雨・降雹・波浪災害	43

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	1月29日の波浪災害	45
2	4月3日から4日の暴風・波浪災害	45
3	5月3日から4日の大雨災害	46

4	6月4日の降雹災害	47
5	7月から9月の暑熱・少雨災害	48

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	50
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	65
3	農林漁業セーフティネット資金の概要	68
4	農業共済事業の種類と仕組み	69
5	漁業共済事業の種類と仕組み	71
6	森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要	74
7	森林国営保険の概要	75
8	農作物災害対策要綱	78
9	農作物災害復旧対策事業の実施状況	79
10	平成元年以降における農林水産業気象災害	82

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1月、2月、3月の大雪
- ・ 4月の低温、激しい雨
- ・ 6月の台風接近による大雨
- ・ 7月、8月、9月の高温と少雨傾向、激しい雨
- ・ 12月の低温、大雪

平成24年は、1月の気温が低く、強い寒気の影響で真冬日が続いたが、2月に気温が高くなるなど、気温の変動が大きかった。1月から3月にかけて内陸の山沿いや沿岸で大雪となった。

4月は高気圧に覆われ晴れの日が続き、気温が低かったが、気圧の谷の影響により雷を伴う激しい雨の日もあった。5月6日には県内の広い範囲で降雹があり果樹等の農作物に大きな被害を及ぼした。また、6月19日から20日にかけて、台風4号の接近により、大雨や強風などの荒れた天気となった。

7月から9月にかけて、気温の高く晴れた日が多く、まとまった雨が少なかったが、9月下旬より、まとまった雨が降り、9月30日には台風17号が東北を北東進した。9月は高温が続き、17日から18日にかけては、県内各地で最高気温、最低気温の極値を更新した。

10月下旬から11月にかけて雨が多く、12月4日に沿岸南部で降雹があり、農作物に被害が発生した。年末の12月25日から27日にかけてと31日には大雪となった。

2 旬別の気象概況

〈1月〉： 低温、内陸山沿いで大雪

上旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で東北地方を通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。7日には、低気圧が東北地方北部を通過し、内陸の山沿いを中心に大雪となる場所があった。

中旬：期間の前半は冬型の気圧配置により低温となり、内陸は曇りや雪の日が多かったが、その後は、内陸、沿岸ともに晴れの日が多かった。13日から15日にかけては、冬型の気圧配置が強まり内陸の山沿いで大雪となる場所があった。

下旬：冬型の気圧配置が続き山沿いでは曇りや雪の日が多く、平野部や沿岸部では晴れの日が多かった。期間のはじめと終わりには、低気圧の影響により大雪となる場所があり、中頃からは強い寒気により冷え込み、真冬日が続いた。

〈2月〉： 気温の変動大

上旬：1日から2日にかけては、低気圧の通過により北部を中心に大雪となった。曇りや雪または雨で、気温が低かったが、中頃には暖かい空気が流れ込み気温が高くなり、気温の変動が大きかった。

中旬：沿岸や平野部は晴れの日が多く、山沿いでは曇りや雪の日が多かった。期間のはじめと後半は寒気が流れ込み、気温の低い日が続いた。

下旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。中頃は低気圧の影響により、大雪になる場所があった。寒気が流れ込み気温の低い日が続いた。28日は、放射冷却の影響により紫波で最低気温マイナス16.6℃を観測した。

〈3月〉：沿岸部を中心とした大雪

上旬：本州南岸の低気圧や気圧の谷の通過、また湿った東よりの風の影響により、沿岸北部や沿岸南部、内陸の南部では曇りや雪または雨、内陸北部は晴れとなった。5日から6日にかけては、低気圧が発達しながら三陸沖を北東進した影響により沿岸部を中心に大雪や大雨となった。

中旬：期間のはじめは、県の北部を中心に大雪となったところがあった。中頃は、高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、寒気の影響により曇りや雪のところもあった。その後は、冬型の気圧配置が続き平野部や沿岸では概ね晴れで、山沿いでは曇りや雪のところが多かった。

下旬：23日から24日にかけては、低気圧の影響により大雪となるところがあった。低気圧の通過後強い寒気が流れ込み、25日から28日にかけては気温の低い日が続き、内陸の山沿いでは大雪となった。また、31日は、低気圧が発達しながら東北地方を通過した影響により雨または雪となり、陸上では強風となった。

〈4月〉：低温、雷を伴う激しい雨

上旬：雨の日が多く、特に3日から4日にかけては、低気圧が日本海で急速に発達した影響で大荒れの天気となり、16地点で日最大風速の4月としての1位の値を更新したほか、沿岸南部を中心に激しい雨が降った。後半は、高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温の低い日が続いた。

中旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かった。また、17日は上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したため、大気の状態が不安定となり雷を伴って激しい雨となるところがあった。その後は、気圧の谷や湿った東よりの風の影響により曇りや雨の日が多かった。

下旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、期間の中頃は低気圧や気圧の谷により曇りや雨となった。気温は、中頃から暖かい空気におおわれて平年より高く、盛岡城跡公園（盛岡市）の桜は、24日に開花（平年より3日遅い）、28日に満開（平年より3日遅い）を観測した。

〈5月〉：上旬に落雷、降雹、大気が不安定になり雷雨

上旬：曇りや雨の日が多く3日から4日にかけて低気圧の影響により大雨となった。総降水量は沿岸部で300mmを超え、日降水量、最大24時間降水量でそれぞれ5月の極値を更新した。6日は、上空の寒気の影響により県内の広い範囲で激しい雨や落雷となり、降雹があった。

中旬：低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。17日から18日にかけては、上空に寒気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、雷雨となるところがあった。その後は、高気圧におおわれて晴れた。

下旬：低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。28日は、上空に寒気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、県内は広い範囲で雷雨となった。

〈6月〉：台風4号の接近、低温

上旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷雨となった。4日は、雷を伴って局地的に激しい雨となり、岩泉と大槌で日最大1時間降水量の極地を更新した。期間の後半は、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。

中旬：オホーツク海高気圧からの湿った東よりの風の影響を受けることが多く、気温が低く、気温の変動が大きかった。19日から20日にかけては、台風第4号の接近により沿岸部を中心に大雨や強風、海上では大しけになるなど荒れた天気となった。

下旬：低気圧や気圧の谷、オホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後、高気圧におおわれて晴れの日が続いた。気温は、沿岸や内陸の山沿いを中心に低く、最低気温はかなり低くなった。

〈7月〉：高温、中旬の低温、激しい雨

上旬：曇りや雨の日が多かったが、高気圧におおわれ、晴れの日もあった。5日から6日にかけては、上空に寒気が流れ込み雷雨や局地的に激しい雨となる場所があった。

中旬：梅雨前線が東北地方に停滞したことやオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多く、15日から16日にかけては、雷を伴って局地的に激しい雨となった。オホーツク海高気圧が東北地方に張り出し、湿った東よりの風の影響で沿岸部を中心に顕著な低温となった。

下旬：オホーツク海高気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かった。期間の終わりは大気の状態が不安定となり雷雨や非常に激しい雨が降り、気温は、期間のはじめは低く、中頃からは高くなり変動が大きかった。30日と31日の日最高気温は、久慈市山形や北上など6地点で7月としての極値を更新した。

〈8月〉：高温、少雨傾向、雷雨

上旬：前線や湿った東よりの風、三陸沖に停滞した気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。期間の後半には、上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となって、雷雨や非常に激しい雨の降る場所があった。気温は、期間の後半に平年を下回る日が多かった。

中旬：期間の前半は、前線や気圧の谷の通過により変わりやすい天気となったが、その後は高気圧におおわれて晴れて気温の高い日が多かった。期間中は南から暖かく湿った空気の流入と上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となって、雷雨や非常に激しい雨が降る日もあった。

下旬：高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温はかなり高かった。また、大気の状態が不安定となり局地的に大雨となる日が多かった。

〈9月〉：晴れの日が多く、高温

上旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、期間の中頃と終わりには曇りや雨の日があった。5日は、気圧の谷の影響で局地的に雷を伴う非常に激しい雨が降り、日最大1時間降水量は小本で62.5mm、普代で65.0mmを観測し、いずれも9月の極値を更新した。

中旬：太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かった。気温はかなり高く、17日から18日にかけては4地点で9月の日最高気温の高い方からの極値を、19地点で9月の日最低気温の高い方からの極値をそれぞれ更新した。7月半ばから少雨が続けていたが、19日は前線の影響により内陸を中心にまとまった雨となった。

下旬：低気圧や前線、台風の影響で曇りや雨の日が多かった。23日から24日にかけては低気圧が三陸沖を北東進した影響で、沿岸部を中心に大雨となった。30日は台風第17号が東海地方に上陸後、東日本を北東進した。

〈10月〉：台風による大雨、晴れ多い

上旬：期間のはじめから中頃にかけては、台風や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧におおわれて晴れの日が多かった。1日は、台風第17号が岩手県を通過した影響で大雨のところがあり、一関市祭時では1時間降水量82.5mmの猛烈な雨を観測した。

中旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わったが、中頃を中心に高気圧におおわれて晴れの日が多かった。

下旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。28日から29日にかけては、前線が東北地方を通過したため沿岸南部を中心に大雨のところがあった。

〈11月〉：上旬の大雨

上旬：低気圧や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となる日もあった。6日から7日にかけては、日本海に停滞した低気圧と三陸沖を北上した低気圧の影響で沿岸部を中心に大雨となり、降りはじめからの総降水量は100mmを超えたところがあった。

中旬：低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：低気圧と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わり、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる日もあった。27日は発達した低気圧の影響で県内は荒れた天気となり、西和賀町沢内、遠野、住田で日最大風速の11月の極値を更新した。また、盛岡で初積雪を観測した。

〈12月〉：多雨、下旬の大雪

上旬：低気圧や前線が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では曇りや雪または雨の日が多く、沿岸部では天気が周期的に変わった。4日は、前線の通過や低気圧の影響により、沿岸南部を中心に非常に激しい雨が降り、日降水量が100mmを超えた。沿岸南部では雹が降り農作物に被害が発生した。6日と8日は、発達した低気圧の影響で強風となった。

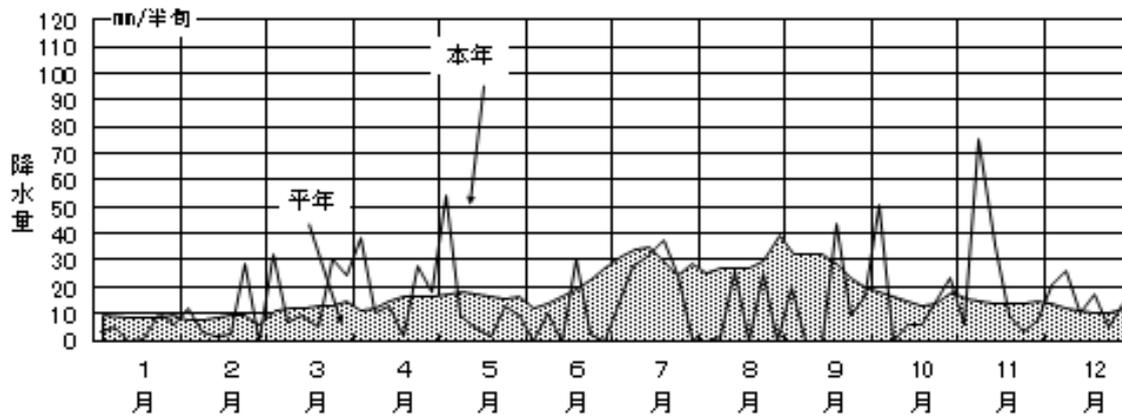
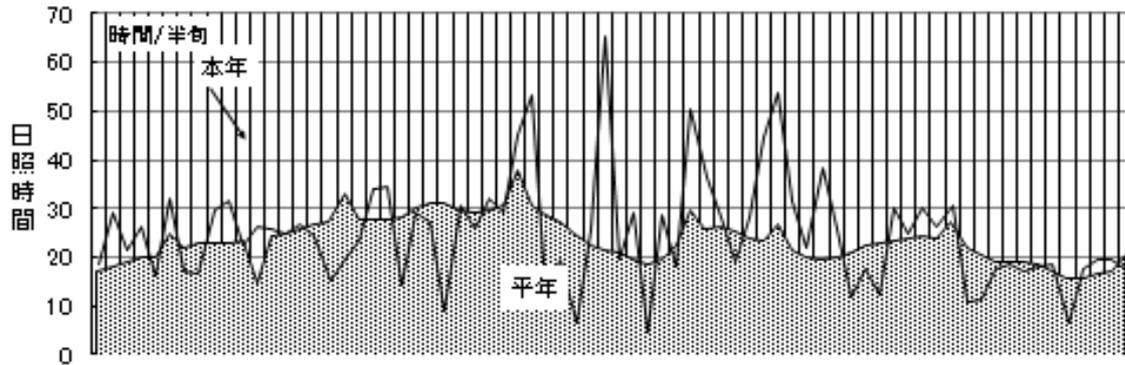
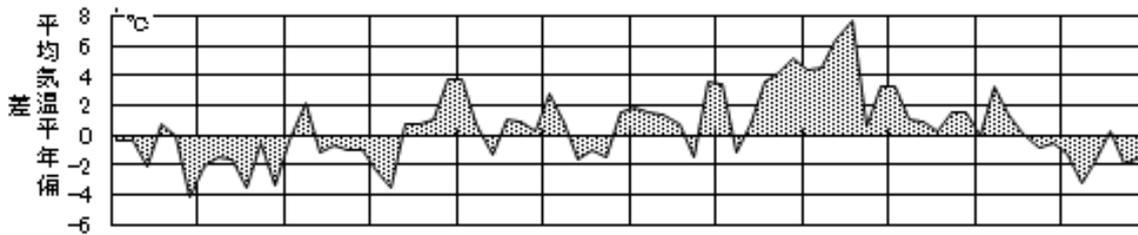
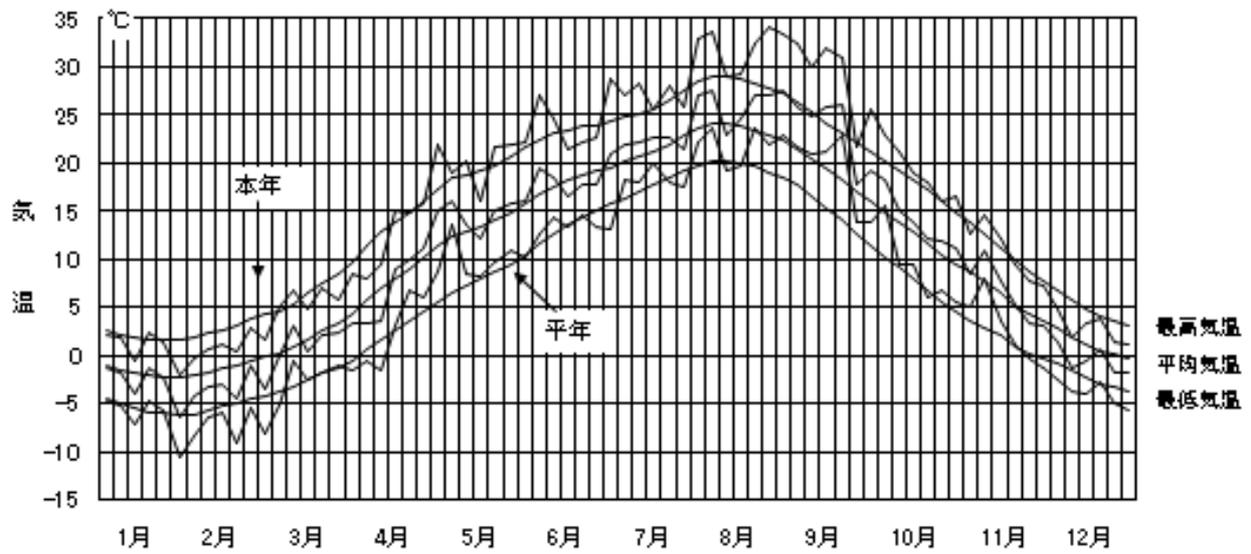
中旬：期間のはじめと終わり頃は冬型の気圧配置となり、気温はかなり低い日があった。中頃は低気圧や気圧の谷の影響を受けて曇りや雪または雨の日が多かった。

下旬：低気圧や前線の通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では曇りや雪の日が多く、沿岸部では天気が周期的に変わった。25日から27日にかけてと31日は低気圧や前線、冬型の気圧配置の影響により、大雪となった。気温は、強い寒気が南下し、かなり低い日があった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2012年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	4月22日	5月3日	4月18日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月9日頃	6月14日頃 (5日早い)	6月21日頃 (12日早い)
梅雨明け	7月26日頃	7月28日頃 (2日早い)	7月9日頃 (17日遅い)

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
大船渡	2	-1.2	低い方から3位
盛岡	8	26.1	高い方から2位
盛岡	9	23.2	高い方から1位
宮古	9	22.7	高い方から1位
大船渡	9	23.0	高い方から1位
盛岡	10	13.6	高い方から4位
宮古	10	14.4	高い方から5位
大船渡	10	15.0	高い方から5位

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
盛岡	9月14日	33.3	高い方から2位
盛岡	9月16日	33.1	高い方から3位
盛岡	9月1日	33.0	高い方から4位
大船渡	10月1日	27.8	高い方から1位
宮古	12月26日	-1.9	低い方から5位
大船渡	12月26日	-1.7	低い方から3位

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	2月3日	-11.0	低い方から4位
盛岡	9月18日	25.3	高い方から1位
盛岡	9月17日	24.3	高い方から2位
盛岡	9月10日	23.9	高い方から3位
宮古	9月18日	24.8	高い方から2位
大船渡	9月17日	25.1	高い方から1位
大船渡	9月18日	25.0	高い方から2位
大船渡	10月1日	19.6	高い方から1位
盛岡	10月1日	17.8	高い方から2位

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備 考
宮古	3	143.1	少ない方から5位
大船渡	3	138.1	少ない方から4位
大船渡	5	151.6	少ない方から4位
宮古	9	181.1	多い方から5位
盛岡	11	93.3	少ない方から4位
大船渡	11	105.4	少ない方から4位

オ 月間降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備 考
大船渡	5	276.5	多い方から5位
盛岡	6	42.5	少ない方から3位
大船渡	8	28.0	少ない方から3位
大船渡	11	224.0	多い方から4位

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
宮古	5月3日	118.5	多い方から5位
大船渡	5月3日	138.5	多い方から2位
盛岡	11月6日	54.0	多い方から4位
大船渡	11月6日	109.0	多い方から5位

キ 日最大1時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
大船渡	4月3日	22.5	多い方から4位
盛岡	4月3日	10.5	多い方から4位
盛岡	9月19日	30.5	多い方から5位
盛岡	10月1日	21.5	多い方から2位
盛岡	11月7日	11.5	多い方から3位
大船渡	11月7日	31.0	多い方から2位
盛岡	12月4日	10.0	多い方から2位
宮古	12月4日	48.0	多い方から3位
大船渡	12月4日	22.0	多い方から5位

ク 降雪の深さの月合計 (降雪量)

気象官署	月	記録 (cm)	備 考
大船渡	2	40	多い方から4位
宮古	3	67	多い方から5位
大船渡	4	4	多い方から3位

ケ 降雪の深さの日合計 (降雪量)

気象官署	月 日	記録 (cm)	備 考
大船渡	4月5日	2	多い方から3位
大船渡	4月4日	2	多い方から4位

II 農林水産物の生育状況

1 水稻（作況指数は「105」、1等米比率は93.9%）

水稻の活着はほぼ平年並みであったが、6月中旬頃の低温の影響により、生育が停滞した。その後の高温により出穂期は平年並みとなり成熟期はかなり早まった。適正な施肥の実施により、登熟期は高温少雨下であったが適正な稲体活力を維持でき、玄米品質は良好となった。

病害虫では、育苗期の高温により細菌病の発生が平年より多かったほか、斑点米カメムシ類は8月までは平年より少発生だったものの、8月中旬以降の高温の影響で9月まで発生が続いた。また、高温多照により後発生したノビエ等の多発圃場が散見された。

穂数は北上川上流では多かったが他地域では概ね平年並み、一穂粒数は東部では平年より多かったが他地域ではやや少なかった。総粒数は北上川上流は多かったが他地域では概ね平年並みであった。登熟歩合は平年を上回り、千粒重は平年並みであったことから、作況指数は平年よりやや良の「105」となった。

品質では、うるち米の1等米比率が93.9%（平成25年1月末日現在）と全国トップ（奈良県と同率）であった。主な落等理由は着色粒（斑点米カメムシ類）であった。

(1) 育苗期（播種盛期は平年に比べ2日遅い4月17日、苗質は概ね良好）

県全体の播種作業は、平年に比べて2日遅かった。播種後、育苗期間にあたる4月第5半旬～5月第2半旬の平均気温は概ね平年より高く経過し、特に4月第6半旬及び5月第1半旬は平年より3～4℃程度高かった地域が多かった。苗質は、草丈が平年並～やや長く、やや腰高だが充実度は並～良好であった。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年より3日遅く5月18日、活着は概ね良好）

5月第1半旬、県南部を中心とする大雨や、気温の変動が大きかったこと等から圃場準備が進まず、県全体の移植盛期は平年より3日遅かった。田植え後は好天に恵まれ活着は概ね良好であったが、一部地域では移植直後の強風により葉の枯れや、活着・初期生育が遅れた圃場があった。

(3) 分けつ期（6月中旬の低温により生育停滞したが以降回復基調）

6月第2半旬～第5半旬までは平年に比べて低温寡照で経過したが、内陸部では7月第1半旬を除き平年より高温多照で経過した。7月10日に各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査の結果、草丈は平年より低く（平年差-10.8cm）、 m^2 茎数はやや多い（平年比110%）、葉数はやや少ない（平年差-0.5葉）生育であった。

(4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重やや少・窒素吸収量やや少）

3～4月の降雨は平年より多く、気温は低いことから乾土効果は少なく、6月下旬の生育量は「少なめ～並」と見られたが、稲体窒素濃度および葉色は全体に並程度、土壌中のアンモニア態窒素濃度は並程度であった。

6月末以降、生育量は回復してきており、生育量が確保された圃場では葉色の低下が見込まれたことから、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」は基準量N1～2kg/10aを上限に、「いわてっこ」は葉色の低下を確認したうえで幼穂形成期に1～1.5kg/10aを上限に、また、「どんぴしゃり」は、幼穂形成期にN2kg/10aを追肥することを基本として指導した。

(5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は平年並の8月6日）

幼穂形成期・減数分裂期ともに平年より3日遅く（幼穂形成期7月15日、減数分裂期7月29日）、出穂期は平年並の8月6日であった。7月中～下旬は、沿岸部・県北部を中心に低温・寡照で経過したが障害不稔等の発生はほとんど見られなかった。また、出穂・開花期は良好であった。

(6) 登熟熟期～成熟期（登熟歩合はやや良）

7月第6半旬以降、登熟期全般に高温多照で経過し、用水確保に苦慮した地域があった。平年より早く登熟が進み、また、ほ場乾燥による茎葉の枯れ上がりから倒伏が助長されたほ場が見られた。成熟期は平年より5日早かった。稈長はやや短く、穂長は平年並となり、倒伏程度は平年より若干高かった。

(7) 刈取り期（刈取り盛期は平年より2日早い10月2日）

放射性物質調査の影響等もあり、収穫作業は遅れ気味で進化した。刈取盛期は平年より2日早い10月2日であった。

(8) 収量（作況指数105）

穂数は北上川上流では多かったが他地域では概ね平年並み、一穂粒数は東部では平年より多かったが他地域ではやや少なかった。総粒数は北上川上流は多かったが他地域では概ね平年並みであった。登熟歩合は平年を上回り、千粒重は平年並みであったことから、作況指数は平年よりやや良の「105」となった。

(9) 品質（1等米比率93.9%と全国トップ。落等原因1位は斑点米カメムシ）

平成25年1月末日現在、うるち米の1等米比率は93.9%と全国トップ（奈良県と同率）であった。2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が56.3%、「心白・腹白」が21.3%、「胴割粒」が5.9%であった。

品種別では、「ひとめぼれ」の1等米比率が94.4%、「どんぴしゃり」が90.8%、「あきたこまち」が93.2%、「いわてっこ」が94.9%であった。

(10) 病害虫の発生（葉いもちやや少・穂いもち少、斑点米カメムシ類並（斑点米やや多））

いもち病については、全般発生開始期が7月12日頃と推定され、平年（7月3日）より遅かった。葉いもちの7月以降の発生量は平年より少なく、上位葉における発生も平年より少なかった。穂いもち発生量も平年より少なかった。

斑点米カメムシ類については、越冬世代からカメムシの発生が少なかったが、9月下旬の本田での発生ほ場率は平年に比べ高かった。斑点米被害は平年に比べるとやや多かった。発生程度が中以上（落等相当）のほ場率は、県北・沿岸部が高く、県南部が低かった。

(11) その他

水稻の初期生育の遅れにより、田面の被覆がやや遅く、また、6月下旬から収穫直前までの日射量が過去15年間で最大であったこと等から、ノビエ等の後発生雑草が繁茂した圃場が散見された。

2 畑作物

(1) 小麦

ア 24年産小麦（23年播種）

(ア) 越冬前

10月上旬の天候不順により播種作業が遅れたところが多く、出芽率および株立本数も平年より少なく、生産現場では播き直しをする圃場も見られた。越冬前の生育も茎数が少なく、平年をやや下回る生育となった。

(イ) 越冬後

根雪期間は、北上市で96日（過去10年平均より30日長い）、軽米町で100日（過去10年平均よりも27日長い）となった。雪腐病は各地域で発生が見られたものの、根雪期間が長かった割りに発生圃場率は高くなく、平年並みの発生であった。

(ウ) 生育期

根雪期間が長かったことと融雪後～4月上旬まで天候不順が続いたことから、生育の遅延が生じ、融雪期の追肥作業も平年より10日程度遅れたことから、茎立ちが遅れ茎数の増加が緩慢であった。

(エ) 出穂～収穫

5月に入ってから気温の高い比が多くなったため、出穂・開花期は平年より3日程度の遅れに留まった。開花期以降、登熟は順調に進んだが、6月中旬の低温・少照と6月下旬の高温・乾燥傾向により登熟が鈍化し、成熟期は平年よりもやや遅かった。収穫は、7月1日から紫波方面で始まり、順次収穫が進んだが、収穫開始は平年よりも5～7日の遅れとなった。

成熟期の生育・収量に関しては、根雪終了が平年よりも遅く融雪期の追肥作業が遅れたこと、根雪終了後も低温傾向であったことから、分げつの発生が抑制され、穂数は全般的に平年よりも少なかった。また、6月下旬の高温乾燥による影響で、子実は小粒傾向となった。この結果、県全体の単収は160kg/10aで過去5カ年平均よりも6kg/10a少なく、前年よりも12kg/10a少なかった。

(オ) 病害の発生

萎縮病類は平年よりも発生圃場率は低い、例年発生の見られる地域では発病程度が高く、株全体に黄化の見られる圃場もあった(3月下旬～4月上旬の低温の影響により、発病開始が遅れた)。赤さび病、うどんこ病の発生圃場率は平年よりも低かった。赤かび病はの発生圃場率は、前年より高かったものの平年よりは低かった。

表1 小麦の品種別検査成績(平成24年12月31日現在)

品種名	区分		24年産	品種名	区分		24年産
ナンブコムギ	検査数量(t)		3,142	ゆきちから	検査数量(t)		2,559
	等級 比率 (%)	1等	69.1		等級 比率 (%)	1等	88.8
		2等	26.4			2等	6.0
		規格外	4.5			規格外	5.3

イ 25年産麦(24年播種)

播種作業は平年よりも早いところが多く、播種後も気温の高い比が多かったため、出芽・初期生育は概ね順調であった。

(2) 大豆

ア 播種～開花期

播種は平年並みに進んだが、播種後の低温・少照により、一部地域では出芽に要する日数が平年よりも長くなった。

6月第3半旬～第5半旬にかけての低温・少照並びに6月第5、6半旬の少雨の影響を受け、開花期は7月第5半旬～8月第1半旬で平年よりも3日程度の遅れとなり、地上部の生育も平年をやや下回った。

イ 開花～収穫期

開花期以降8月下旬にかけては高温・少雨の状態が続き、例年よりも着莢率が低く、粒の肥大も劣った。9月に入ってから高温・乾燥の状態が続き、干ばつ害とみられる症状(しおれ、葉の黄化、落葉、枯死)がみられ、特に奥州、花北地域の被害程度が大きかった。被害の大きい株では登熟が悪く、未熟粒、しわ粒、奇形粒などの発生がみられた。干ばつの被害面積率は、県全体で30%程度と推定された。

収穫は10月下旬から順次開始され、干ばつの影響により成熟は早まったものの、降雨等の影響により収穫の進捗は平年よりもやや遅めであった。

ウ 病害虫の発生

食葉性害虫・アブラムシは例年並みに発生が確認された。ウコンノメイガによる葉巻は、発生程度は低いものの、広く発生が確認された。9月に入ってからにはフタスジヒメハムシやカメムシの発生が県南部を中心に目立った。

病害については、8月下旬以降登熟期後半に入って茎疫病による枯れ上がりが各地域で散見された。

最終的な病害虫の発生量は、紫斑病が平年よりも発生量が多く、べと病が少、モザイク病が少、マメシンクイガがやや多、カメムシ類が平年並み、ダイズサヤタマバエがやや少であった（病害虫防除所調べによる）。

エ 収量及び品質

成熟時の生育量は、6月第3半旬～第5半旬にかけての低温・少照並びに6月第5、6半旬の少雨の影響で主茎長、主茎節数・分枝数が平年を下回り、8月の高温少雨の影響で特に県南部を中心に結莢率が低下し、稔実莢数が平年よりも少なかった。また、9月以降も高温傾向が続いたため粒の充実が悪く、百粒重も平年を下回った。収量は、県北部ではほぼ平年並みとなったものの、農研センター作況圃（北上市）のナンブシロメで平年比72%とかなり低かった。県全体では115kg/10aで、前年よりも2kg/10a低く、平年（過去7カ年のうち最高値と最低値を除いた5カ年平均値）の116kg/10aとほぼ同じであった（農林水産省発表2月26日現在）。

品質面では1等比率が1月末現在で10.5%と平年（41.2%）よりもかなり低い。開花期以降の高温・干ばつによる登熟不良の影響で粒の充実が劣り、しわ粒の発生が多かったことが一因である。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では定植後1ヶ月間の低温と少雨乾燥傾向が続いたことにより、初期生育が緩慢で節間が短く推移したほか、側枝の発生や雌花の着生が例年に比べ少ない傾向であった。7月下旬以降は高温乾燥が9月まで続き、障害果の発生や出荷後のフケ果が各産地で多発したが、かん水施設を整備し適切に水管理を実施した圃場においては果実品質も良く、全般に昨年の収量を上回る結果となった。6月20日には季節はずれの台風4号が襲来したが、生育に大きな影響はなかった。

病害虫では6月下旬からアブラムシの発生が多かったほか、高温乾燥の影響で7月中下旬以降はハダニが各地で多発した。病害では一部地域で定植直後からべと病がやや多かったものの、褐斑病やうどんこ病等の発生は非常に少ない年だった。しかし、8月以降の枯れ病が各地で散見され、一部地域ではつる枯れ病により栽培終了となる圃場もあった。キュウリホモプシス根腐病の発生は全般に少なかった。

収量は昨年を上回り110%、全体出荷量も前年比110%の大幅増となった。

(2) トマト

3～4月の低温の影響により、定植時期の遅れが若干見られたほか、低段果房に障害果の発生が目立った。6月中旬頃まで低温の出現があり、着色遅れや収穫開始時期の遅れが見られたが、7月下旬以降は高温の影響により開花・着色が進み、例年より早いペースで出荷された。梅雨明け後の高温により1～2段程度の落花、日焼け果の発生や高温による裂果等が発生した。例年と同じ段数で主枝摘芯を行った圃場では、2週間程度早く出荷終了となるなど、生育が進みすぎたために収穫打ち切りの時期が早まる傾向であった。

病害虫では、一時期灰色かび病の発生が見られたほか、一部地域では葉かび病の発生が問題になったものの、全般に病害は少ない傾向であり、青枯病、萎凋病についても接ぎ木等の対策により例年よりは少発生であった。害虫ではオオタバコガの被害が昨年に続き多かったほか、一部でトマトサビダニが多発した。

残暑の厳しい年ではあったが収量は昨年を上回る106%、全体出荷量も前年比110%の大幅増となった。

(3) ピーマン

3～4月の低温により、苗の生育・定植後の活着・初期生育が全般に停滞傾向であった。その後6月の乾燥により尻腐れ果が多発したほか、露地作型では圃場の乾燥による活着・初期生育の不良も見られた。7月は一時期低温の影響で黒変果の発生も見られたが、それ以降9月までは雨よけ、露地作型ともに高温乾燥の影響による尻腐れ果や日焼け果の発生が多く見られた。特に露地では、9月以降草勢の低下、果実肥大の遅れによる赤果が多発した。

病害虫は、7月以降アブラムシの発生が例年より多く見られ、それに伴うウイルス病(CMV)の発生も見られた。タバコガは昨年よりも遅く8月以降多発したが、昨年と比べると被害は少なかった。病害の発生は、灰色かび病が7月に雨よけ作型の一部で見られた。斑点病は8月上旬以降多発傾向となり、草勢の低下とともに10月まで発生が続いたが、昨年と比べ被害は少なかった。

収量は前年比107%、全体出荷量も前年比109%と、いずれも昨年を大きく上回った。

(4) ほうれんそう

雪解けの遅れや低温、4月下旬の暴風により播種や生育が遅れたため、5月下旬まで平年を下回る出荷量となった。6月に入ると、乾燥による萎れや生育不良、葉先枯れ症状が各地で発生したものの、昨年とほぼ同程度の出荷量まで回復した。7月は昨年よりも順調に推移し、出荷量は昨年を上回ったが、8月に入ると再び高温による生育遅延が見られ、昨年の出荷量を下回る時期が見られた。9月は記録的な高温のため、生育の停滞や発芽不良、一時的な播種の見合わせにより9月以降の出荷量も伸び悩んだ。

病害虫では、萎凋病が6月以降発生したが、土壌消毒を実施した圃場の多くでは発生が抑えられた。ケナガコナダニの被害は5月以降例年並に発生し、ウリハムシモドキは例年よりやや遅く(地域により最大1ヶ月程度遅く)7月に発生した。シロオビノメイガは9月以降発生が広く見られた。アブラムシは5月及び9月後半以降に発生が見られた。

(5) ねぎ

春先の低温や降雨の影響から圃場準備が遅れ、夏どりねぎを中心に定植がやや遅れた。しかし高温・乾燥の影響はあったが作柄は良く、8、9月は昨年以上の出荷量となった。

秋どりについては、9月の記録的な高温・乾燥による細物や葉枯れが見られたため、昨年より出荷量は減少した。

降雨が少なかったことから、一部地域を除き軟腐病の発生は少なかったが、アザミウマ類の発生が多い傾向だった。

(6) キャベツ

県北部では例年より雪解けが遅く定植が1～2週間ほど遅れた。その後の生育は比較的順調に進んだものの、例年に比べ1週間遅れで収穫開始となった。6月は乾燥により小玉傾向となったが、その後の降雨により生育は概ね順調に推移した。9月後半以降は高温、乾燥の影響から生育が緩慢となり小玉傾向となった。

病害虫ではアブラムシ、べと病が例年よりも多い状況だった。

(7) レタス

県中部の春レタスは低温により定植が1～2週間程度遅れた。その後の生育は比較的順調に進み、収穫は平年から4～5日遅れの5月中旬から始まった。

県北部の定植は平年よりやや遅れて4月中旬から始まったが、その後の生育は順調に進み、平年並の5月下旬から開始された。6月には乾燥により尖りぎみ傾向だったが大きな影響は見られなかった。8月は乾燥により小玉傾向となった一方、乾燥後の降雨により乳管破裂、チップバーンが9月以降まで発生するなど作柄が不安定であった。腐敗に関しては乾燥傾向のため、発生は少なかった。

オオタバコガは例年よりも発生が少なかった。

(8) だいこん

高冷地での播種作業は低温の影響から、やや遅れて5月に入ってから開始された。5月下旬に強い低温があったが抽だいはなく、生育は比較的良好であった。8～9月は乾燥のため、発芽不良や生育遅延が見られた。

8月以降、キスジノミハムシの被害が多発し、9月下旬頃まで被害の多い圃場が見られた。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育期

3月から4月上旬まで気温が低く推移したこと、積雪が多く融雪が遅れたことにより、萌芽・展葉期は平年に比べ7～10日程度の遅れとなった。

4月下旬以降は好天に恵まれ生育は回復し、草丈等の生育量は概ね平年並みとなったが、側芽発生期は平年より4～7日程度の遅れとなった。

イ 開花期

極早生種は初期生育の遅れが影響し、開花期は平年より4日程度遅くなったが、7月上旬から中旬にかけて概ね順調な開花となった。

早生種は極早生種同様、平年よりやや開花が遅れたが、概ね8月上旬の盆需要期に出荷となった。品質面では7月下旬から8月初めの高温の影響で花卉の着色不良などの障害が発生した。

晩生種、極晩生種は9月上旬までは順調に開花したが、9月中旬以降、記録的な高温干ばつの影響で開花遅延がみられ、平年より10日程度の遅れとなった。

ウ 病害虫

主要病害である葉枯病、褐斑病、花腐菌核病は平年並みから少ない発生となった。一方、炭疽病、黒斑病の発生がみられた。特に、これまで県南部での発生が多かった黒斑病が、県北部や沿岸部でも発生が確認された。

害虫ではリンドウホソハマキの発生が平年より多い傾向にあったが、被害は少なく抑えられた。また、高温干ばつの影響で8月以降、ハダニ類やアザミウマ類の発生が多かった。昨年県内で初確認されたキオビトガリメイガは、発生地域の拡大が認められた。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

2月から3月にかけて平年より気温が低く推移したため、挿し穂の生育が遅れ、苗の不足や育苗の遅れが生じた。また、4月下旬から5月初旬の定植時期に天候不順となった影響で、8月咲品種の定植はやや遅れ気味となった。一方、5月中旬以降は天候に恵まれ、9月咲品種の定植は順調に進んだ。

イ 生育期

8月咲品種は初期生育の遅れたことや花芽分化が順調に進んだことで栄養生長期間が短くなり、やや草丈が短い生育となった。9月咲品種は定植から天候に恵まれ順調な生育となり、昨年よりやや早い着蕾となった。

ウ 開花期

8月咲品種は7月中旬から開花が始まり、平年よりやや早い開花となったが、概ね8月上旬の盆需要期に出荷となった。

9月咲品種は着蕾まで順調に生育したが、8月下旬以降の記録的な高温、少雨の影響により蕾の生育が停滞し、全体的に開花が遅れる結果となり、彼岸需要期過ぎに開花になる品種もみられた。また、高温の影響で、柳芽の発生による乱形花などの品質低下も発生した。

エ 病害虫

主要病害である白さび病は6月にやや発生が多くみられたが、7月以降は少なく推移した。また、8月から9月の開花期に半身萎ちょう病による葉枯れ症状がみられた。

害虫は高温干ばつの気象経過で推移したことから全般的に発生が多かった。アブラムシ類は6月から8月にかけて発生が多く、アザミウマ類やハダニ類は8月以降発生が増加した。近年問題となっているオオタバコガは7月に入り各地で発生が確認され、9月以降発生が急増したが、被害も少なく抑えられた。

5 果 樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

平成24年産りんごの花芽の状況を花芽率（県平均）で見ると、各主要品種とも平年、昨年、一昨年をより高くなり、地域的なバラツキも少なかった。一方、弱小花芽率はやや高く、特に県中部及び県南部山間地帯で高くなった。花芽率が高くなった要因は、昨年の花芽率が低かったためであり、いわゆる隔年結果である。また、弱小花芽率が高くなったのは、昨年の花芽形成期である7月を含めた夏季の気温が高く推移したこと、気温が高かったため、果実の地色の抜けや着色の進みが遅くなり、収穫の遅れたことによる、花芽の充実不足が要因と考えられる。

イ 発芽～展葉期

4月上旬まで気温の低い状態が続き、発芽は県平均で平年より5～7日程度、昨年より3～5日程度遅くなった。

4月中旬は気温が平年並みとなったため、展葉は平年より3～5日程度、昨年より2～3日程度の遅れとなり、若干ではあるが生育の遅れを取り戻した。

ウ 開花期および結実の状況

4月下旬から5月初旬にかけて気温が高く推移したため、開花始から満開にかけては概ね平年並みから1日程度の遅れとなった。また、開花が遅れた昨年よりは3～4日生育は進んだ。しかし、5月中旬に寒気が入ったため、開花期間は長くなり落花は平年より1～3日遅くなった。

開花期間の後半に気温が低下し、県北部で結実率が低くなったものの、県平均の結実率は花数結実率、花そう結実率、中心花結実率とも平年を上回った。

エ 果実肥大

開花の遅れはかなり取り戻せたものの、着果量が多かったこと、また、降水量が少なかったことから、6月1日の調査開始時点の果実横径は平年の80%となった。その後は気温が高めに推移したため生育は回復し、高温、干魃の気象条件にもかかわらず、果実肥大は平年並みを維持した。

なお、生育期の雹害については、6月4日に一関地域で、6月6日に花巻、北上地域で、9月25日に二戸地域で降雹を確認し、一部の地域では果実に大きな被害が発生した。

オ 収穫期および果実品質

「つがる」の果実品質は、硬度、平年より高め、糖度はおおむね平年並み、デンプン指数ははじめは平年より高めだったものの後半は急速に低下した。気温が高くなり推移したため、着色が進まず、果肉先行型となった。収穫のピークは9月中旬から下旬で着色の遅れで収穫作業も遅くなった。「きおう」はつる割れや内部裂果は少なかったものの、地色の抜けが悪く、「つがる」同様収穫が遅れた。

「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度は平年より高め、糖度はおおむね平年並み、デンプン指数は平年より高めだったものの後半は急速に低下した。早生品種の「つがる」同様、気温が高くなり推移したため、着色が進まず、果肉先行型となった。収穫のピークは10月中旬から下旬で着色の遅れから収穫作業も遅くなった。

「ふじ」の果実品質は、硬度は平年より高め、糖度、デンプン指数は概ね平年並み、蜜

入りは平年より少なかった。11月上旬まで気温が高めで推移したことにより、「ふじ」においても着色は遅れた。なお、早生品種、中生品種の着色の遅れにより収穫作業が遅れ、「ふじ」の着色管理作業が遅れたことも、着色の遅れの一因と考えられる。また、地色の抜けも悪く、収穫作業は遅れ、一部地域では11月末から12月始めまでかかった。つる割れの発生は少なかった。

「ジョナゴールド」、「紅いわて」、「王林」などの品種に収穫前落果と思われる落果が認められた。これは高温干ばつの影響と推察される。干ばつが続いたが、ビターピットなどの生理障害は全般的に少なかった。しかし、一部品種（ふじ等）でコルクスポット様の障害が散見された。

高温の影響で早生種を中心に日焼け果の発生が見られた。

収穫期の強風害では、10月1日の台風17号及び11月27日の低気圧による強風により落果や倒木の被害が認められた。

カ 病害虫

高温干ばつの影響で、斑点落葉病、褐斑病、果実病害である輪紋病、炭そ病、すす病などいずれの病害も発生は少なかった。ナミハダニは6月下旬までの発生は少なかったものの、7月上旬以降急速に増加し8月下旬まで継続した。高温干ばつが要因と考えられる。カメムシの越冬成虫、フェロモントラップ・予察灯による誘殺数は、多発年である平成13年並となった。一方、りんご園地への飛来や幼果期の被害痕が認められたが、実害は少なかった。これは、予察情報等をもとにカメムシ類に効果の高い薬剤が効果的に使用されたためと推察された。

キ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績（平成25年2月末時点）から、数量で前年対比128%となった。これは、昨年の収穫量が少なかったためである。

販売単価については、前年比88%となった。早生品種までは昨年の収量減の影響により高単価で推移したものの、中生品種以降は、高温の影響により全国的に収穫遅れ、出荷が集中したことにより価格は低迷した。

(2) ぶどう（キャンベルアーリー）

ア 発芽期～展葉期

4月下旬以降、気温が高めに推移したため、発芽、展葉は平年よりやや早めとなった。

イ 開花期～結実期

6月上旬まで気温が高めに推移したため、定点観測地点の満開期は平年より早くなった。一方、開花期間中に気温が低く推移したため、結実率は、平年を下回った。

ウ 新梢伸長期

新梢伸長及び葉枚数は平年より低い値となった。これは5月以降、雨が少ない状態が続いたためと考えられる。

小雨の気象条件ながらも、気温は高く推移したため、房長及び果粒肥大は概ね平年並みとなった。

エ 収穫期

気温が高く、生育が順調であったため、着色始期は平年より早めとなったが、気温の高い状態が9月中旬まで続いたため、その後の着色は進まなかった。また、干ばつの影響で果粒のしおれなどもみられた。

気温が高く降雨が無かったため、糖度は平年より高くなった。しかし、気温が高い状態が続いたため、着色の遅れ等もみられ、収穫期はやや遅くなった。

オ 落葉期

10月以降も気温が高めで経過したものの、落葉は平年並だった。

新梢の登熟程度は、全般に日照に恵まれたため、概ね平年並みだった。

カ 病害虫

病害虫の発生は全体的に少なかったが、地域や品種によって、灰色かび病やベト病の発生が見られた。

キ 作柄評価

生産量は、系統取り扱いの出荷販売実績から、前年比 82% の数量となった。これは、干ばつの影響で果粒のしおれが発生したこと、また、販売チャンネルの多様化等も要因として考えられる。

販売単価については前年比 99% であり、概ね平年並みが維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1 番草

4 月は消雪が遅く施肥作業もやや遅れ気味となり、生育もやや遅くなったが、5 月中旬から 6 月上旬の気温が平年並、日照時間も平年より多めであったことから、生育及び収量は平年並、5 月下旬から 6 月中旬にかけて収穫調製作業が順調に進んだ。

イ 2 番草

1 番草刈取り後、降水量がやや少なく、日照時間はやや多めで推移したことから草丈がやや低いなど生育が緩慢となったが、一部の地域を除き、その後の降雨により生育が回復、生育と収量は平年並、7 月中旬から 8 月上旬にかけて作業が順調に進んだ。

ウ 3 番草

2 番草収穫後、8 月は気温が高く日照時間は多め、降水量が少なかったことから生育は遅れ、草丈が十分に確保できず収量は平年より少なかった。

エ 草地更新など

8 月から 9 月上旬にかけて干ばつ気味であったことから、一部の地域では播種後、出芽と定着ムラが生じた。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

消雪の遅かった地域では、圃場準備が遅れたことから播種も遅れ、初期生育が緩慢であったが、6 月下旬以降、気温と日照時間が確保され生育が回復、平年並の生育となり、雄穂、絹糸抽出時期も平年並であった。

イ 収穫期

積算温度が十分確保されたため、黄熟期到達は平年並からやや早い、収量は平年並からやや良となった。収穫時期は 9 月上旬（県北）から 10 月下旬（県南）までと平年並であった。

ウ 局地的に生じた障害等

(ア) 奥州地区の飼料畑転換圃場（牧草地除染対策事業）の一部で、ネキリムシの被害が発生した。

(イ) 7 月中旬の強風により、盛岡地区で一部倒伏が見られたが、生育は回復、収量も平年並に確保された。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

4月まで低温が続いたため、芽切りは平年より遅かった。また、4月下旬から5月上旬にかけての急激な気温上昇と降雨で一気に収穫のピークとなり、品質の低下が見られたことから、昨年より少ない生産量となった。

(2) まつたけ

7月以降、気温が平年より高めに推移し、8～9月の降水量は、平年より少なかったため、原基形成が進まなかったと思われる。9月の発生期になっても気温が高めであったことから、地温の低下が進まず、発生に必要な温度刺激が得られにくく、作柄は全県的に不作であった。

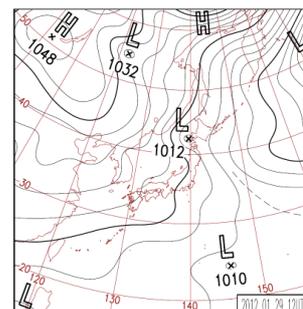
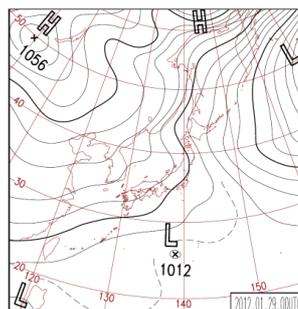
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 1月29日の波浪災害

(1) 気象概況

1月下旬の中頃から日本付近は冬型の気圧配置が続き、28日頃からは北日本を中心に冬型の気圧配置が強まった。

29日は、岩手県の沿岸では風が強まって、海上は大しけとなり、沿岸北部で水産業施設や漁船に被害が発生した。

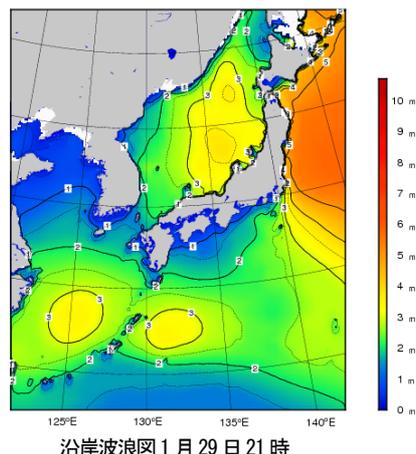
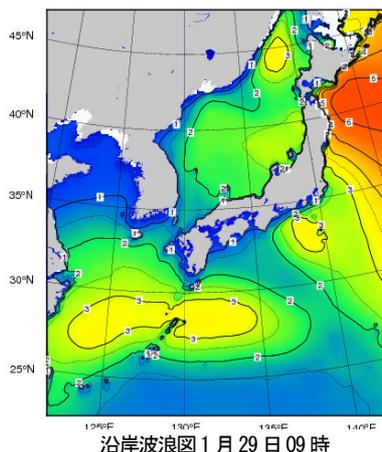


○関連する注意報の発表状況（1月29日：沿岸北部）

地域	警報	注意報
久慈地域	波浪	波浪、強風
宮古地域	波浪	波浪、強風

注)市町村等をまとめた地域で記載

○沿岸波浪図（1月29日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

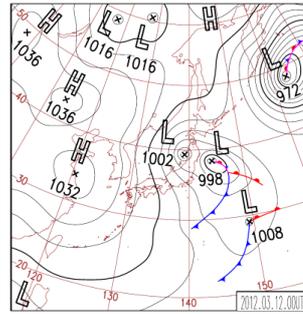
区分	被害額	被害状況	被害地域 [※]	
水産業	漁船	3,950	船外機船の沈没等8隻	宮古市、岩泉町
	漁港施設	391,010	防波堤の傾斜等8箇所	宮古市、普代村
計	394,960			

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

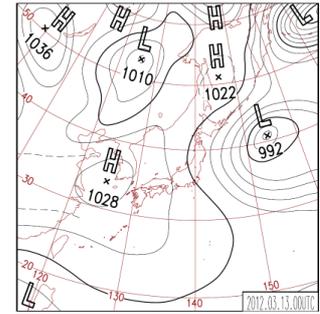
2 3月12日の大雪災害

(1) 気象概況

12日に日本海の低気圧が東北地方を通過し、別の低気圧が発達しながら三陸沖を北東進した。その後、13日にかけて東北地方は冬型の気圧配置となり、岩手県の北部を中心に大雪となった。12日の日降水量は軽米、洋野町大野で、日最大1時間降水量は久慈市下戸鎖など3地点で3月の極値をそれぞれ更新した。



地上天気図 3月12日 09時



地上天気図 3月13日 09時

大雪により、久慈市と洋野町で農作物（野菜）や農業施設に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況（3月13日：久慈地域）

地域	警報	注意報
久慈地域	大雪	大雪、風雪、なだれ、着雪

注)市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「大雪と風雪及び高波に関する岩手県気象情報」とこれを引継ぐ気象情報を第6号まで発表

○久慈の降雪量と最深積雪（3月12日～13日） 単位：cm

日	降雪量	最深積雪
12日	44	45
13日	0	42

○極値更新状況（3月：統計期間10年以上の要素）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
日降水量	mm	軽米	1	51.0	3月12日	1977年
		大野	1	83.5	3月12日	1980年
日最大1時間降水量	mm	軽米	1	9.5	3月12日	1977年
		大野	1	11.0	3月12日	1980年
		下戸鎖	1	13.0	3月12日	1979年

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	24	ウルイ 0.01ha	久慈市
	農業施設	25,039	堆肥舎・パイプハウス全壊等9棟	洋野町、久慈市
計		25,063		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

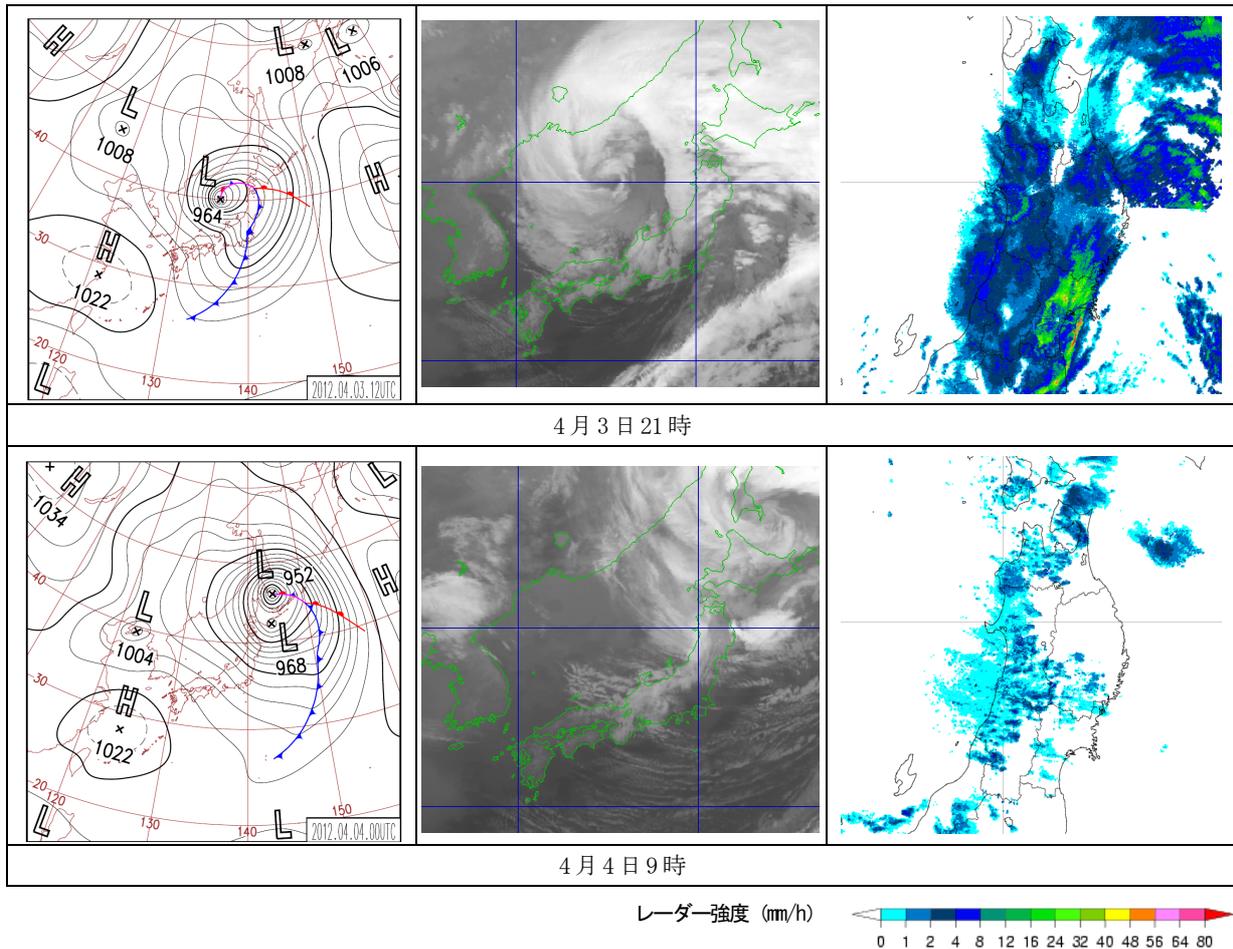
3 4月3日から4日の暴風・波浪災害

(1) 気象概況

2日9時に華北付近で発生した低気圧が、3日は急速に発達しながら日本海を東北東進した。低気圧の中心気圧は2日21時から24時間で42hPa 降下し、この低気圧からのびる寒冷前線が3日夜遅く東北地方を通過した。4日未明には、低気圧が青森県付近を東北東進し、その後、オホーツク海に達した。岩手県では、3日夜遅くから4日夜にかけて全域で強風となり、海上では暴風や大しけとなった。3日から4日にかけての日最大風速は16地点で4月の極値(内6地点では通年としても極値)を更新した(統計期間10年以上の地点)。また、沿岸南部を中心に激しい雨となったところがあったほか、気圧の降下や暴風、波浪により沿岸では高潮となった。

この低気圧の影響により、人的被害、住家被害、農林水産業被害が発生した。また、航空、鉄道など交通機関に大きな影響があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像



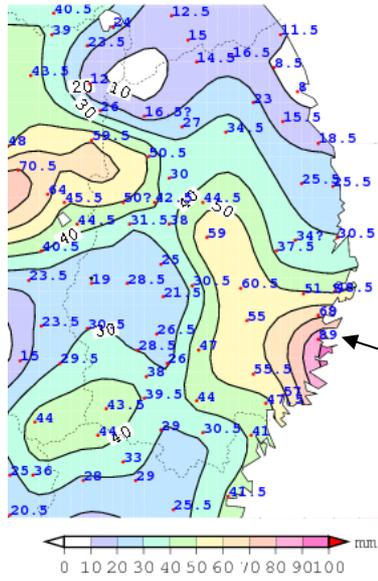
○関連する警報・注意報等の発表状況 (4月3日~4日)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
二戸地域、盛岡地域		強風、風雪、大雪	久慈地域	暴風、波浪	強風、風雪、波浪
花北地域	—	着雪	宮古地域	暴風、波浪	強風、風雪、大雪、着雪
奥州金ヶ崎地域			沿岸南部	大雨、洪水	波浪、大雨、洪水、高潮
遠野地域	—	強風、風雪		暴風、波浪	強風、風雪、波浪、大雨
両磐地域	—	洪水、大雪、着雪			洪水、高潮

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報」とこれを引く続く気象情報を第6号まで発表

○降水量（4月3日～4日）



赤丸：観測地点
傍らの数字：降水量（整数1位表示の地点は、小数点1位を「0」と読み替える）

釜石 89.0mm

総降水量分布図（4月3日00時～4日24時）

○最大風速と最大瞬間風速（4月3日～4日）

官署等と最大風速15m/s以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

地点名	4月3日				地点名	4月4日							
	日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)			日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)					
	風向	時分	風向	時分		風向	時分	風向	時分				
千厩	南南東	15.0	1902	南	26.0	1845	好摩	南西	16.5	0444	南南西	26.6	0439
盛岡	南	12.6	1944	南南西	21.8	1944	岩泉	西南西	16.8	0542	西南西	36.1	0626
宮古	南南東	10.6	1913	南	19.9	1907	雫石	西	15.3	0631	西	29.9	0500
大船渡	南南東	9.8	1939	南南東	18.5	2118	沢内	西南西	15.1	0756	西北西	33.3	0835
							盛岡	南西	16.6	0503	南南西	31.1	0426
							宮古	西南西	10.0	1027	南南西	28.0	0542
							大船渡	南南西	9.4	0330	南	23.0	0421

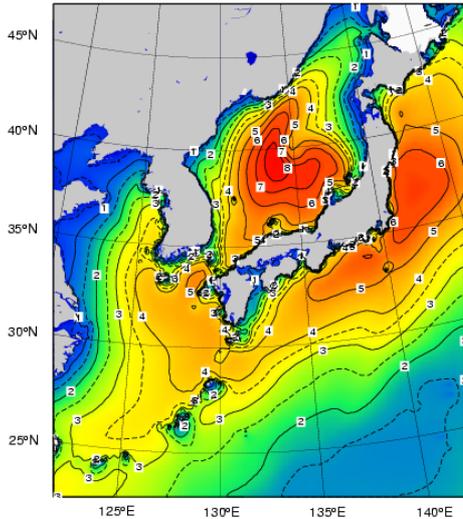
注1) 橙色の塗潰しは通年の極値更新を表す。
注2) 官署等は官署(盛岡)及び特別地域気象観測所(宮古、大船渡)。

○極値更新状況（4月：統計期間10年以上の要素）

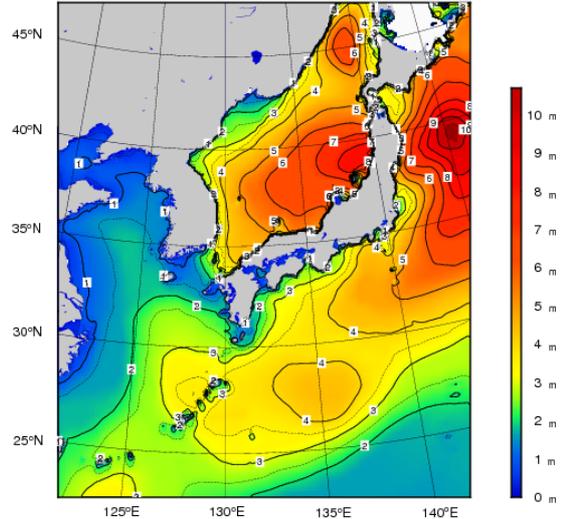
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
日最大1時間降水量	mm	岩手松尾	1	12.5	4月3日	1976年	日最大風向・風速	m/s	普代	1	南南西 9.3	4月4日	1977年
		千厩	1	16.5	4月3日	1976年			岩手松尾	1	南西 12.5	4月4日	1977年
積雪差日合計(降雪量)	cm	奥中山	1	23	4月4日	1980年			好摩	年1	南西 16.5	4月4日	1977年
		葛巻	1	13	4月4日	1985年			岩泉	年1	西南西 16.8	4月4日	1977年
日最大風向・風速	m/s	湯田	1	27	4月4日	1980年			小本	1	西 14.3	4月4日	1978年
		二戸	1	南西 12.3	4月4日	1977年			区界	1	南東 12.6	4月3日	1994年
		山形	1	南西 13.9	4月4日	1978年			沢内	年1	西南西 15.1	4月4日	1977年
		久慈	1	西南西 12.8	4月4日	1977年			花巻	1	南 14.6	4月3日	2003年
		荒屋	年1	南南西 12.5	4月3日	1977年			遠野	年1	西 10.3	4月4日	1977年
			2	南南西 11.1	4月4日	1977年			釜石	1	西南西 10.4	4月4日	1977年
		奥中山	1	西南西 11.1	4月4日	1978年			千厩	年1	南南東 15.0	4月3日	1977年

注1) 「年1」は年の極値更新を表す。
注2) 釜石の日最大風速は4月9日に極値が更新された。

○沿岸波浪図 (4月3日~4日)



沿岸波浪図 4月3日 21時



沿岸波浪図 4月4日 09時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域※
農 業	農作物等	684	花苗、野菜苗 5,600 鉢 野菜(きゅうり、トマト、他) 0.19ha	大船渡市、釜石市、遠野市等 4 市
	家畜等	988	鶏舎破損による雛鳥衰弱 (13,050羽処分)、停電による生乳廃棄 213kg	九戸市、八幡平市
	農業施設	279,838	畜舎・パイプハウス破損等 1,710棟・件	八幡平市、盛岡市、滝沢村等 32 市町村
林 業	林業施設	17,946	シイタケ栽培用パイプハウスの破損等 74 箇所	大槌町、岩泉町、雫石町等 11 市町村
	林産物	1,360	菌床ブロックの損傷 42,500kg	雫石町
	森 林	859	県有林、市町村林の倒木 1.57ha	雫石町、滝沢村、盛岡市
水 産 業	水産施設	3,400	作業保管施設の破損等 3 箇所	山田町、大船渡市
	漁 船	14,150	漁船の破損等 11 隻	大船渡市、山田町、久慈市等 4 市町
	養殖施設	35,734	養殖施設の破損 296 台	大船渡市、山田町、陸前高田市
	水産物	50,880	養殖物の落下等 984,000 kg	陸前高田市、大船渡市、山田市
	漁港施設	1,197	護岸仮復旧部のフトンかご流出 1 箇所	陸前高田市
計		407,036		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

4 5月3日から4日の大雨災害

(1) 気象概況

2日に本州の南岸を発達しながら東北東進した低気圧は、3日には三陸沿岸を北上した。一方、3日昼過ぎに日本海に別の低気圧が発生し北東進した。これらの二つの低気圧は、4日夜には青森県東方沖でひとつにまとまり北海道を北上した。

岩手県内は、2日に雨が降り始め、3日の夕方から4日の昼前にかけては、沿岸部を中心に強い雨が続き、最大24時間降水量は大船渡224.5mm、宮古195.0mmを観測し5月の極値を更新したほか、山田345.0mm、大槌町小鎧341.5mm、釜石340.0mmを観測した。また、2日から4日にかけての総降水量は300mmを超えたところがあった他、日降水量や日最大1時間降水量の5月の極値を更新するなど沿岸を中心に大雨となった。また、沿岸の海上では暴風や大しけとなった。

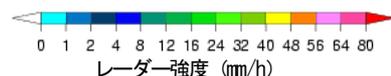
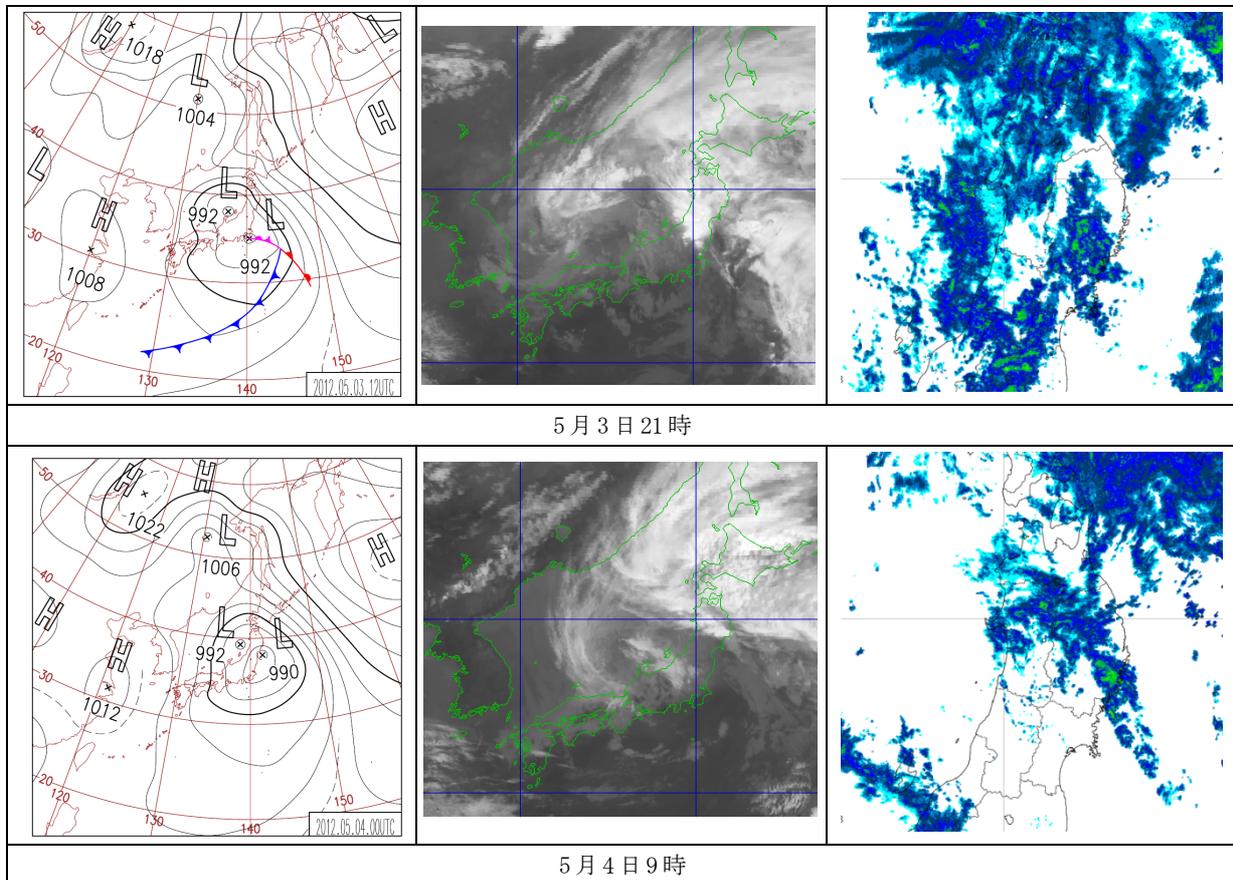
この大雨により県の南部を中心に、住家の浸水害、土砂災害、道路の冠水による交通障害などのほか、農林水産業に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況 (5月3日～4日)

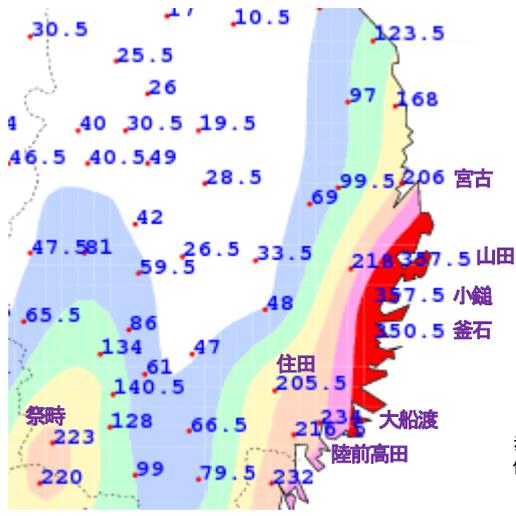
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
二戸地域、盛岡地域	—	強風	久慈地域	大雨、洪水、暴風、波浪	強風、波浪、大雨、洪水
花北地域、遠野地域			宮古地域	大雨、洪水、暴風、波浪	強風、波浪、大雨、洪水、高潮
奥州金ヶ崎地域			沿岸南部	大雨、洪水、暴風、波浪	強風、波浪、大雨、洪水、高潮
両磐地域	—	強風、大雨、洪水	注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載		

府県気象情報
「大雨と暴風及び高波に関する岩手県気象情報」とこれを引く継ぐ気象情報を第6号まで発表

○地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像 (5月3日～4日)



○降水量分布図



降水量200mm以上の地点と降水量(単位:mm)

地点名	降水量	地点名	降水量
宮古	206.0	住田	205.5
大槌	218.0	祭時	223.0
山田	357.5	陸前高田	216.5
小釜	357.5	大船渡	234.0
釜石	350.5		

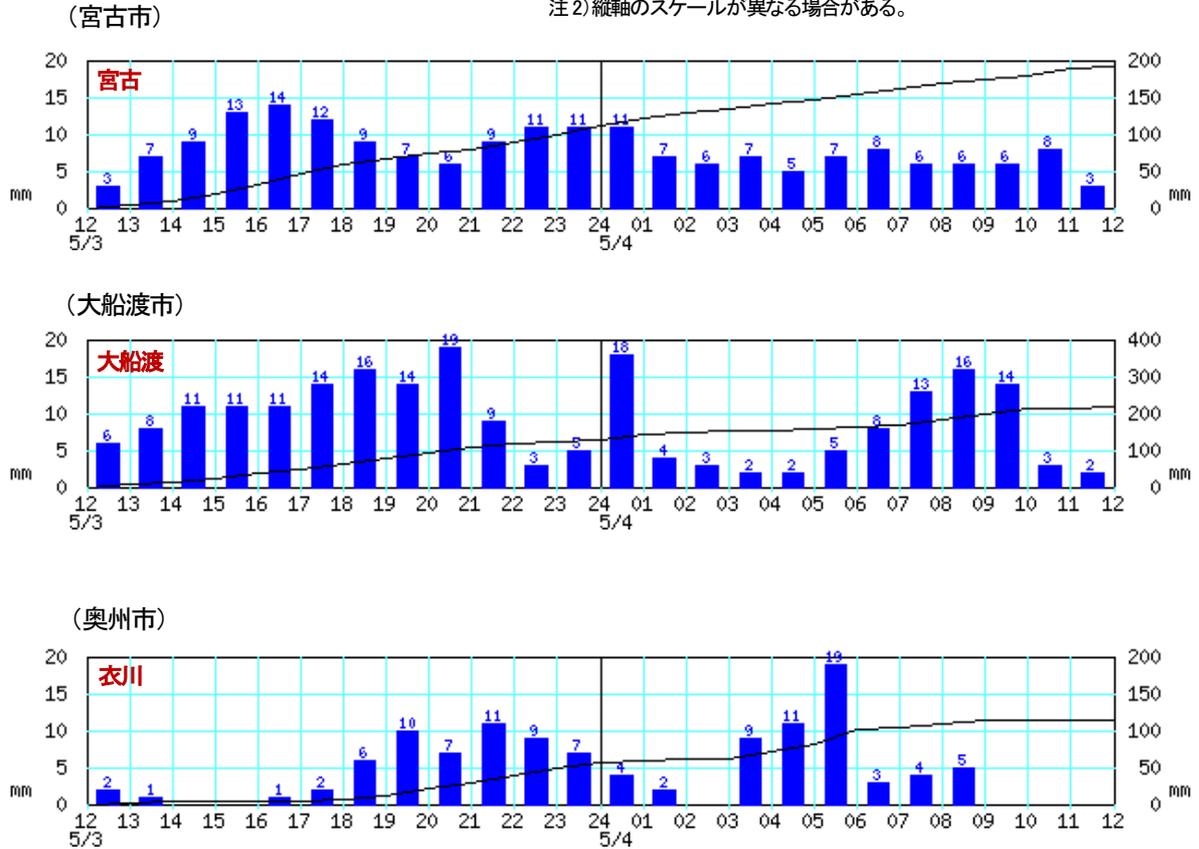
赤丸: 観測地点
傍らの数字: 降水量 (整数1位表示の地点は、小数点1位を「0」と読み替える)

総降水量分布図(5月2日00時~4日24時)

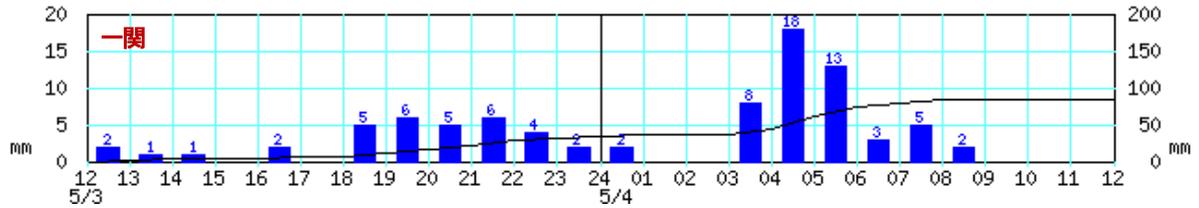
○主な地点の降水量時系列図

5月3日12時~4日12時

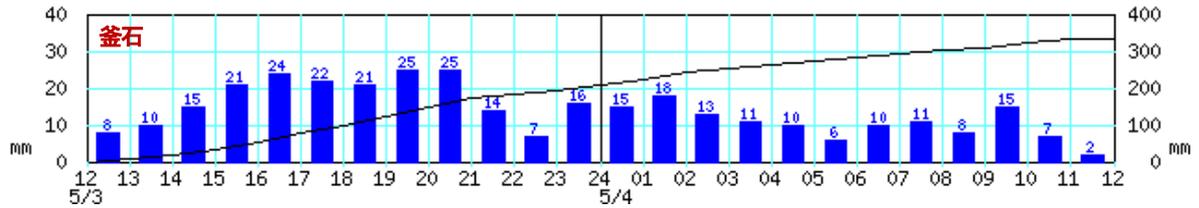
注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。



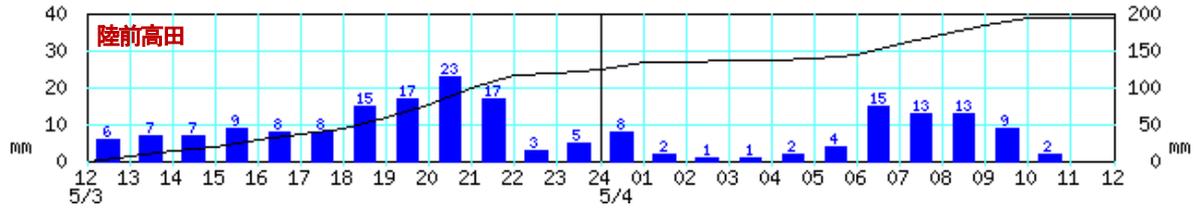
(一関市)



(釜石市)



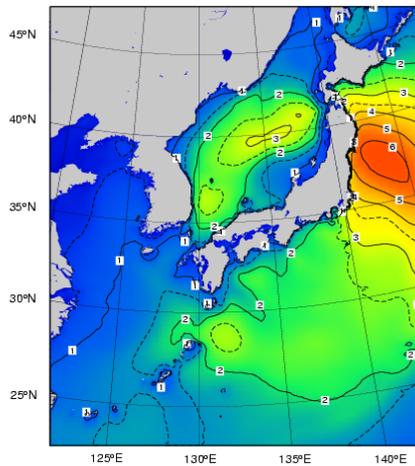
(陸前高田市)



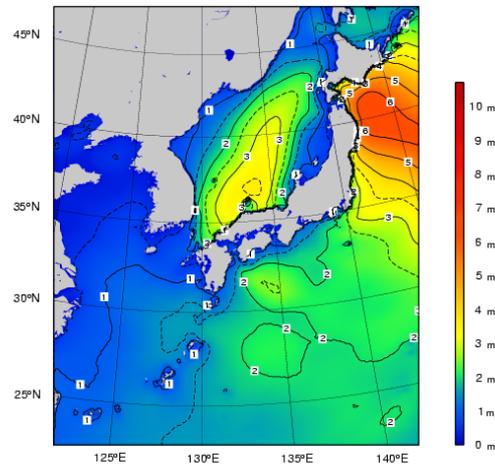
○主な極値更新 (5月：統計期間10年以上の要素)

要素名	地点名	順位	値(mm)	起日	統計開始年	要素名	地点名	順位	値(mm)	起日	統計開始年
日降水量	大槌	1	121.5	5月3日	2001年	日最大1時間降水量	二戸	1	22.5	5月28日	1976年
		2	96.5	5月4日			岩手松尾	1	21.5	5月6日	1976年
	若柳	1	76.0	5月3日	1976年		葛根田	1	22.5	5月28日	1978年
	住田	1	130.5	5月3日	1978年		花巻	1	14.0	5月4日	2003年
	祭時	1	143.0	5月3日	1976年		衣川	1	20.5	5月4日	1976年
月最大24時間降水量	宮古	1	195.0	5月3日	1971年		一関	1	21.0	5月4日	1976年
	大船渡	1	224.5	5月3日	1971年						

○沿岸波浪図 (5月3日~4日)



沿岸波浪図 (速報図) 5月3日 21時



沿岸波浪図 (速報図) 5月4日 09時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と0.5mごとの破線(4m未満の領域のみ)を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

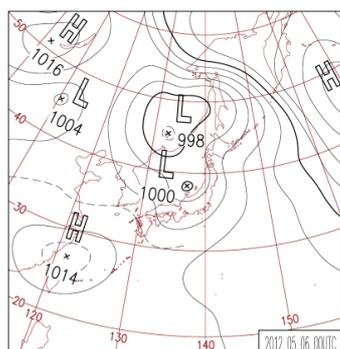
区 分		被害額	被害状況	被害地域※
農 業	農作物等	477	小菊 0.05ha、葉たばこ 0.01ha、 水稻苗 240 箱	一関市、山田町
	農業施設	30	室根高原牧野の玄関ガラス破損 1 棟	一関市
	農地・農業 用 施 設	132,000	農地の法面崩壊 44 箇所、 水路等農業用施設の法面崩壊 96 箇 所	奥州市、一関市、金ケ崎町等 11 市町
林 業	林業施設	206,060	林道の路面崩壊、法面崩壊等 196 箇所	陸前高田市、大船渡市、大槌町等 10 市町村
	森 林	70,650	山腹崩壊、林地荒廃 12 箇所	奥州市、大船渡市、一関市等 6 市町
水 産 業	漁 船	1,000	船外機船転覆 1 隻	釜石市
	漁 具	102	さけ親魚捕獲施設支柱折れ曲がり 1 箇所	大船渡市
	養殖施設	37,937	養殖施設破損 596 台	宮古市、大船渡市
	水 産 物	234,480	水産物落下等 1,663,911kg	宮古市、大船渡市
	漁港施設	4,900	ゴミ処理等 7 箇所	陸前高田市、釜石市、大船渡市
計		687,636		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

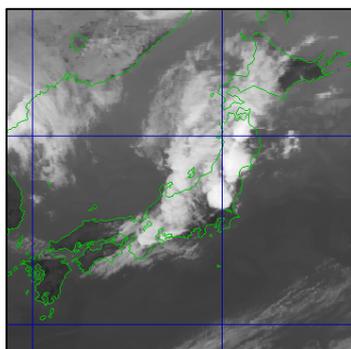
5 5月6日の降雹災害

(1) 気象概況

日本の上空約 5500m に氷点下 21 度以下の強い寒気が流れ込んだ。一方、昼頃には日本海に低気圧があつて、東日本から東北地方の太平洋側を中心に、この低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ。東日本から東北地方にかけて大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、県の北部を中心に局地的に雷を伴った激しい雨が降った。八幡平市、二戸市、雫石町、岩手町では 13 時頃から 14 時頃にひょうが降り、農作物（野菜、花きなど）や農業施設に被害が発生した。



地上天気図 5月6日09時



気象衛星赤外画像 5月6日09時



レーダー画像 5月6日13時00分

レーダー強度 (mm/h)

0 1 2 4 8 12 16 24 32 40 48 56 64 80

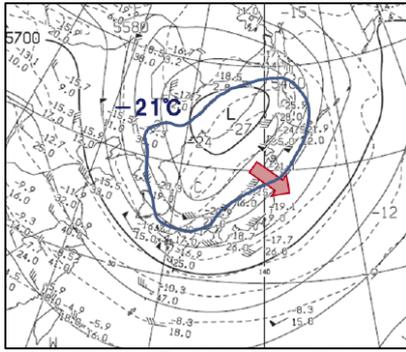
○関連する注意報等の発表状況（二戸地域及び盛岡地域：5月6日）

地域	注意報
二戸地域	大雨、洪水、強風、雷（竜巻、ひょう）
盛岡地域	大雨、洪水、強風、雷（竜巻、ひょう）

注）市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「雷と突風に関する岩手県気象情報」とこれを引く継ぐ気象情報を第4号まで発表
岩手県竜巻注意情報を第3号まで発表

○高層天気図 (5月6日)



500hpa 高層天気図 5月6日 09時
(上空約5500m)

秋田上空約5500mの気温 (°C)

観測日時	観測値	平年差
6日09時	-21.0	-3.2

(2) 被害状況

(単位：千円)

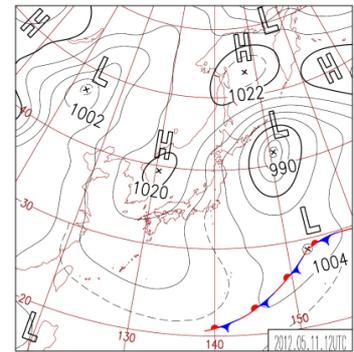
区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	4,329	りんどう 11.2ha、りんご 9.5ha 等 22.3ha	八幡平市、二戸市、岩手町等 4市町村
	農業施設	131	パイプハウス破損 5棟	八幡平市、雫石町
計		4,460		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

6 5月11日から12日の波浪災害

(1) 気象概況

11日は、低気圧が発達しながら三陸沖から北海道の東海上に進んだ。12日は、この低気圧が北海道の東海上にほとんど停滞した。低気圧の影響により、沿岸の海上は大しけとなり、野田村の野田村漁港で漁具に被害が発生した。



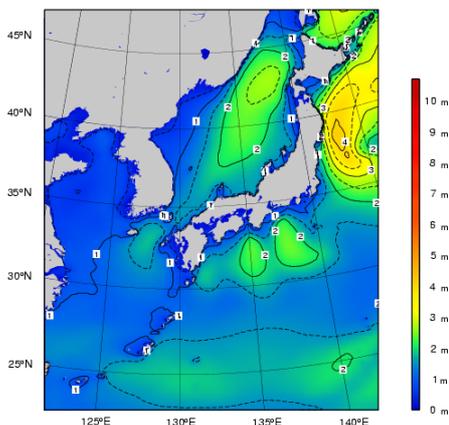
地地上天気図 5月11日 21時

○関連する警報・注意報の発表状況 (久慈地域：5月11日～12日)

地域	警報	注意報
久慈地域	波浪	強風、波浪

注)市町村等をまとめた地域で記載

○沿岸波浪図 (5月11日)



沿岸波浪図 (速報図) 5月11日 09時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線です。等波高線は、1mごとの実線と0.5mごとの破線(4m未満の領域のみ)を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

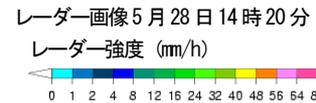
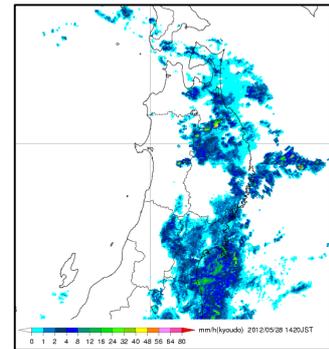
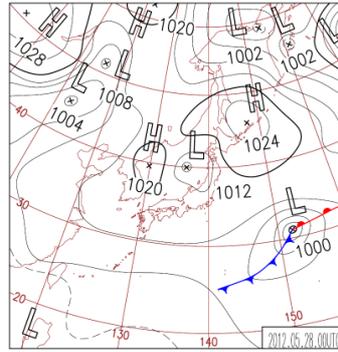
(単位：千円)

区 分	被害額	被害状況	被害地域
水産業 漁 具	1,000	定置網の破損1ヶ統	野田村
計	1,000		

7 5月28日の降雹災害

(1) 気象概況

北日本の上空約 5500m に氷点下 21℃以下の寒気を伴った低気圧が日本海を東進した。北日本は大気の状態が不安定となり、岩手県の北部を中心に雷雨のところがあった。二戸市と一戸町では14時頃から15時頃にひょうが降り、農作物（果樹）に被害が発生した。

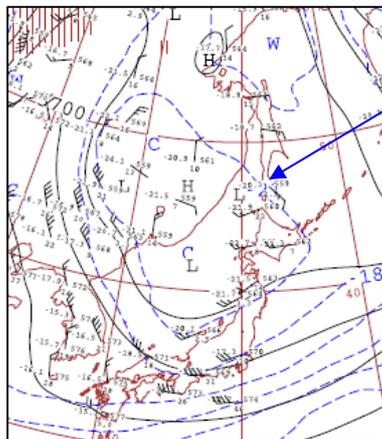


○関連する注意報等の発表状況（二戸地域：5月28日）

地域	注意報
二戸地域	大雨、洪水、雷（突風、ひょう）

注)市町村等をまとめた地域で記載

○高層天気図（5月28日）



-21℃

秋田上空約 5500m の気温 (°C)

観測日時	観測値	平年差
28日09時	-21.6	-5.8

(2) 被害状況

(単位：千円)

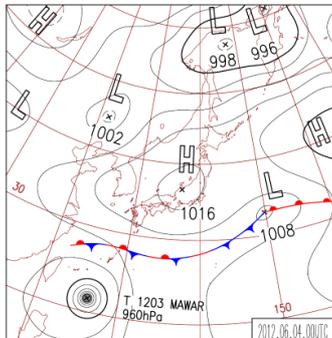
区 分	被害額	被害状況	被害地域*
農 業 農作物等	2,102	さくらんぼ 1.96ha	二戸市、一戸町
計	2,102		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

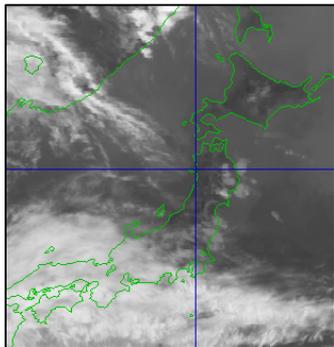
8 6月4日の降雹災害

(1) 気象概況

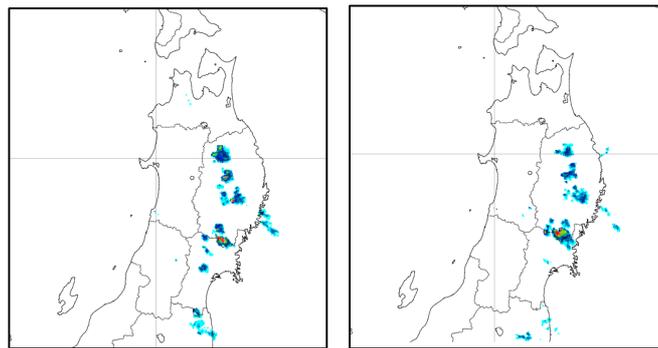
本州付近は高気圧におおわれるが、東北地方の上空約5500mに氷点下15℃以下の寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過した。一方、地上の気温が上昇し、大気の状態が不安定となった。内陸を中心に局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。一関市では16時頃から16時30分頃に雹が降り、農作物（果樹）や農業施設に被害が発生した。



地上天気図 6月4日 09時

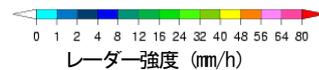


衛星赤外画像 6月4日 17時



レーダー画像 6月4日 16時00分

レーダー画像 6月4日 16時30分



レーダー強度 (mm/h)

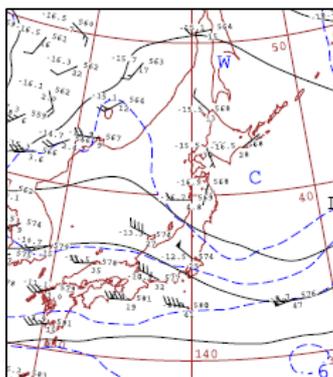
○関連する注意報等の発表状況（両磐地域：6月4日）

地域	注意報
両磐地域	大雨、洪水、雷（突風・ひょう）

注）市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第3号まで発表

○高層天気図と地上気温（6月4日）



500hpa 高層天気図 6月4日 09時
(上空約5500m)

秋田上空約5500mの気温（℃）

観測日時	観測値	平年差
4日09時	-16.6	-2.1

一関の最高気温の気温（℃）

地点	観測値	平年差
一関	27.0	+3.7

(2) 被害状況

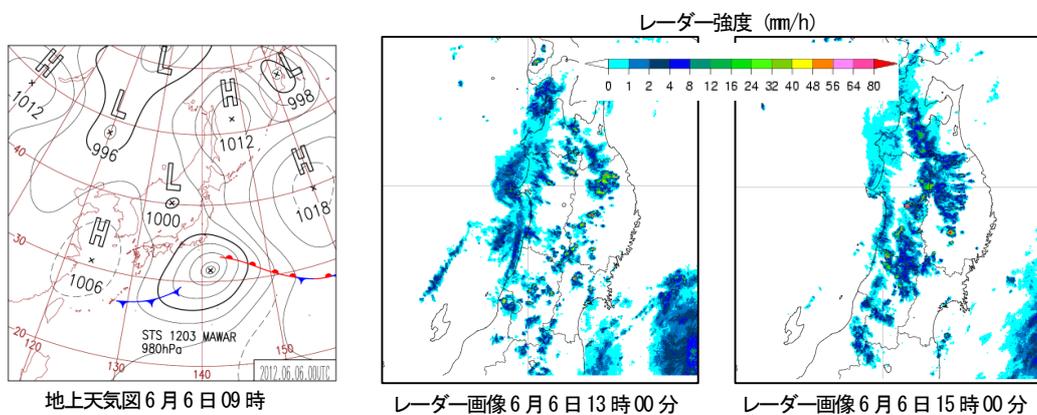
(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	144,684	りんご 50ha	一関市
	農地・農業用施設	9,000	田の法面崩壊 0.9ha、ため池等農業用施設の法面崩壊 19箇所	一関市
計		153,684		

9 6月6日の降雷災害

(1) 気象概況

北日本の上空約 5500m に氷点下 15℃ 以下の寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過した。東北地方は大気の状態が不安定となり、岩手県の内陸を中心に局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。12 時頃から 15 時 30 分頃に花巻市と北上市で雹が降り、農作物（果樹、野菜）に被害が発生した。

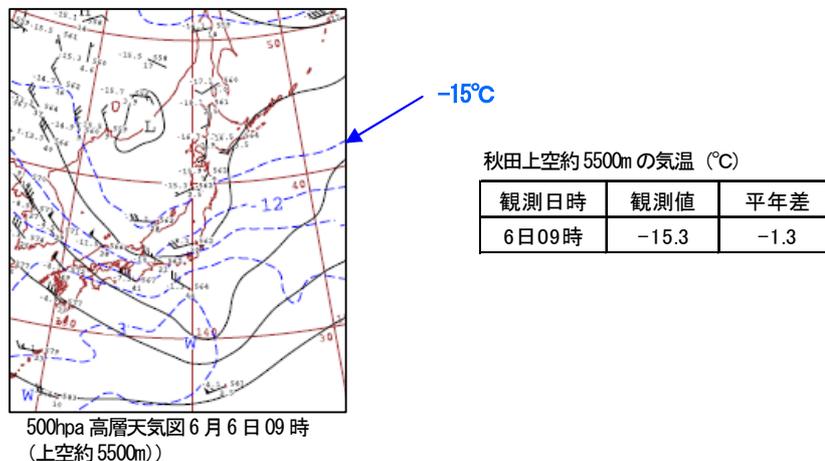


○関連する警報・注意報等の発表状況（花北地域：6月6日）

地域	警報	注意報	府県気象情報
花北地域	大雨、洪水	大雨、洪水、雷（突風・ひょう）	「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表

注) 市町村等をまとめた地域で記載

○高層天気図（6月6日）



(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農作物等	5,770	りんご9.79ha等10ha	花巻市、北上市
計		5,770		

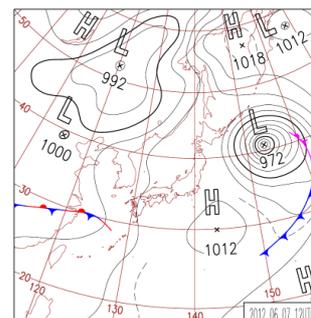
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

10 6月7日の波浪災害

(1) 気象概況

6日は、台風第3号から変わった低気圧が関東の東海上に進んだ。7日はこの低気圧が三陸沖を北東進した。

この影響により岩手県の沿岸の海上では「しけ」て、野田村の野田村漁港で漁具に被害が発生した。



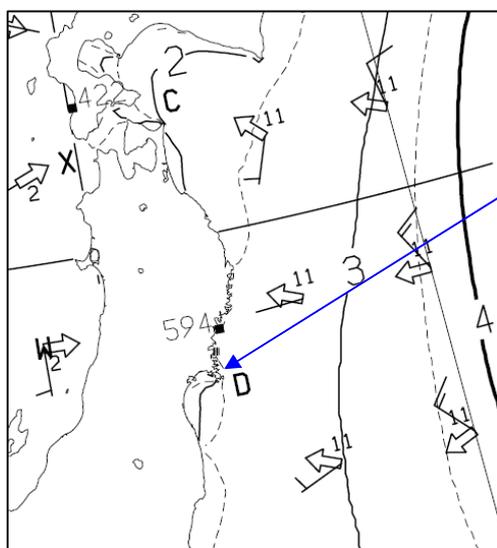
地上天気図 6月7日 21時

○関連する注意報の発表状況 (久慈地域：6月7日)

地域	注意報
久慈地域	波浪

注)市町村等をまとめた地域で記載

○沿岸波浪図 (6月7日)



D地点 (金華山沖) の推定値
波の向き (周期)、高さ：東南東 (11秒)、2.7m
風向、風速：南、9ノット

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と0.5mごとの破線 (4m未満の領域のみ) を表示。
- ・波の向きは白抜き矢印で表示、波の周期は矢印近くに添えられた数字で表示 (単位：秒)。
- ・風向と風速は矢羽記号で表示 (5ノット単位で表示し、長い羽は10ノットを表す)

速報沿岸波浪図 AWJP 6月7日 21時

(2) 被害状況

(単位：千円)

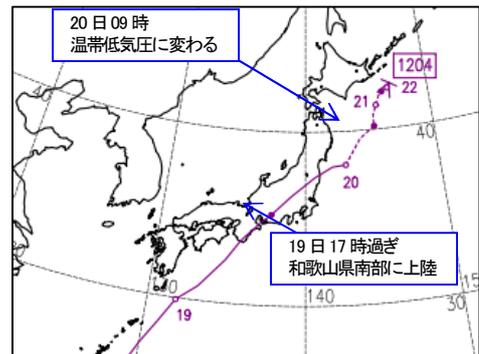
区 分		被害額	被害状況	被害地域
水産業	漁 具	2,200	定置網の破損5ヶ統	野田村
計		2,200		

11 6月20日の台風4号災害

(1) 気象概況

日本の南を北上した台風第4号が、19日夕方、和歌山県に上陸し、東海地方から関東地方を北東した。20日未明に福島県を通過し、宮城県の東海上で温帯低気圧に変わり、その後、この低気圧は三陸沖を北東進した。この影響により、19日と20日の総降水量100mm以上を釜石など4地点で観測した。また20日には宮古市区界で日最大風速の6月の極値を更新するなど、沿岸では大雨や暴風、海上は大しけとなった。

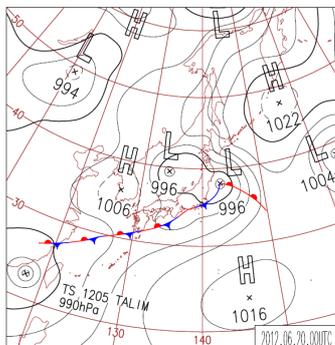
大雨や強風により、停電や交通障害のほか農作物、農業施設、漁船に被害が発生した。



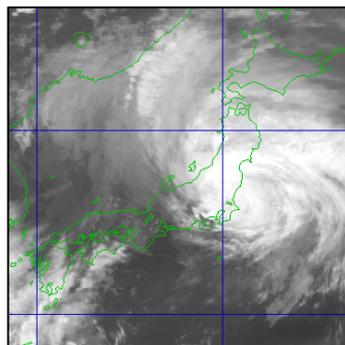
台風第4号の経路図

経路図の説明

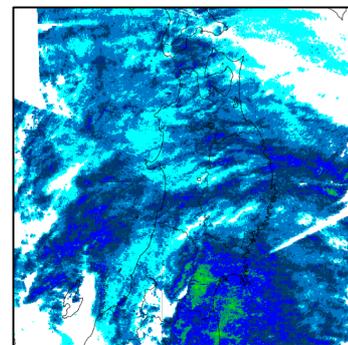
経路上の○印は傍らに記した日の09時(午前9時)、●印は21時(午後9時)の位置で、-IIは消滅を示す。経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間を示す。



地上天気図6月20日09時



気象衛星赤外画像6月20日00時



レーダー画像6月20日00時00分

レーダー強度 (mm/h)



○関連する注意報等の発表状況 (6月20日)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域、二戸地域 花北地域、遠野地域 奥州金ヶ崎地域	—	大雨、洪水、強風	久慈地域	大雨、洪水、暴風、波浪	大雨、洪水、強風、波浪
			宮古地域	大雨、洪水、暴風、波浪	高潮、大雨、洪水、強風、波浪
			沿岸南部	大雨、洪水、暴風、波浪	高潮、大雨、洪水、強風、波浪
両磐地域	大雨、洪水	大雨、洪水、強風			

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「平成24年 台風第4号に関する岩手県気象情報」を第5号まで発表

○最大風速と最大瞬間風速 (6月20日)

日最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速 (単位: m/s)

地点名	日最大風速	日最大瞬間風速
区界	東南東 10.0	南東 20.7
大船渡	東 10.1	東北東 19.9

注) 黄色の塗潰しは6月の極値更新を表す。

○降水量（6月19日～20日）

降水量 100mm 以上の地点の日降水量と日最大 1 時間降水量（単位：mm）

地点名	日降水量		2 日間 の合計	20日の最大 1時間降水量	
	19日	20日		最大	時分
	普代	9.5			
山田	23.0	82.0	105.0	18.0	05時02分
小鏡	23.0	90.5	113.5	20.0	04時59分
釜石	20.5	110.5	131.0	23.5	04時58分

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農作物等	4,932	小菊 3ha、大豆 0.51ha、ピーマン 0.28ha 等 5.03ha	一関市、陸前高田市
	農業施設	340	パイプハウスのビニール破損等 13 棟	一関市
水産業	漁 船	600	船外機の破損等 2 隻	田野畑村
計		5,872		

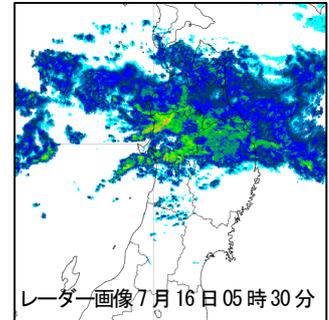
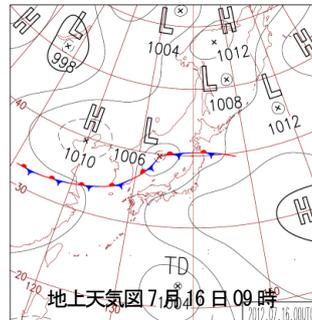
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

12 7月16日の大雨災害

(1) 気象概況

梅雨前線が東北地方北部に停滞し、前線上の低気圧が青森県付近を東進した。前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み前線の活動が活発となった。岩手県の内陸北部を中心に雷を伴って局地的に激しい雨が降り、雫石町葛根田では日降水量 112.5mm を観測した。

大雨により、八幡平市や二戸市など 4 市町村で農業施設に被害が発生した。



○関連する警報・注意報等の発表状況（盛岡地域、二戸地域：7月16日）

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	大雨、洪水、雷（突風・ひょう）
二戸地域	大雨	大雨、洪水、雷（突風・ひょう）

府県気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表

注) 市町村等をまとめた地域で記載

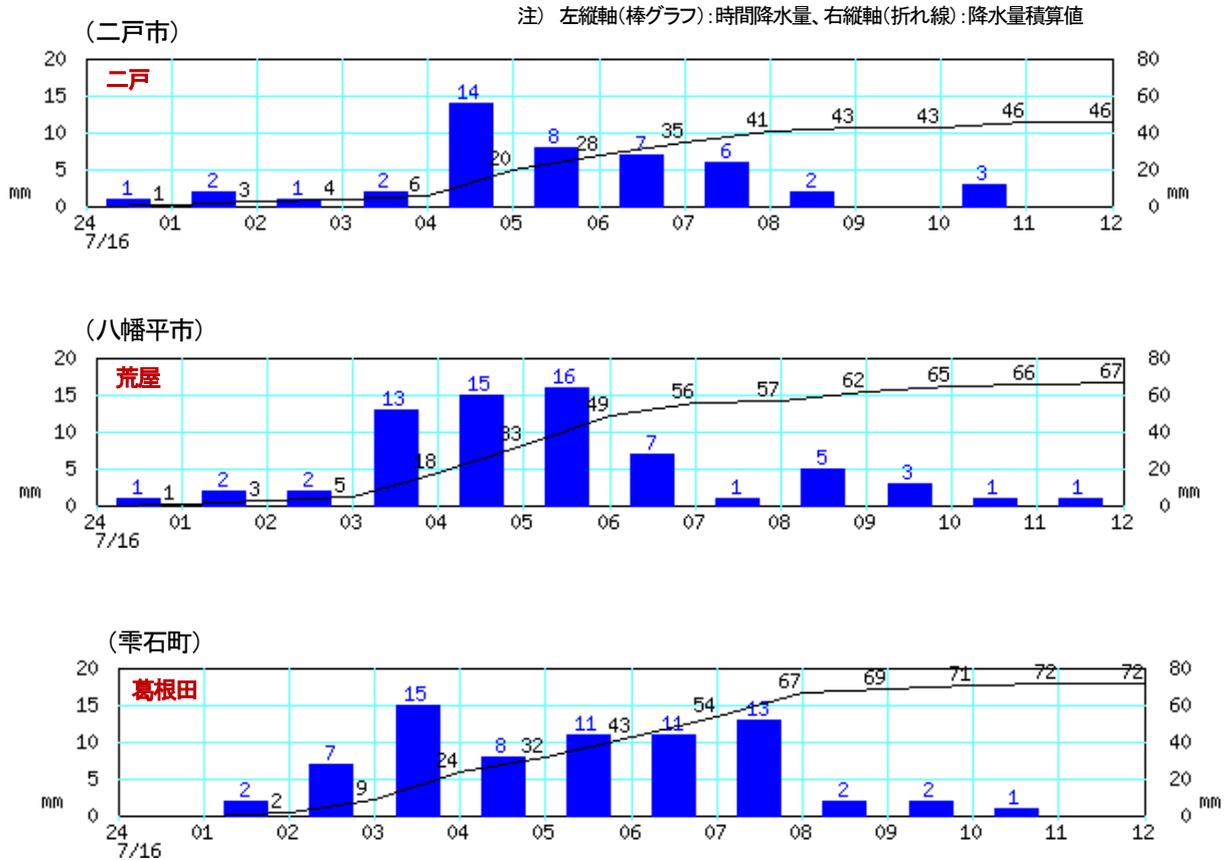
○降水量の観測値（盛岡地域、二戸地域：7月16日）

主な地点の日降水量と日最大 1 時間降水量（単位：mm）

地点名	日 降水量	1 時間降水量		地点名	日 降水量	1 時間降水量	
		最大	時分			最大	時分
二戸	74.5	15.5	05 時 15 分	好摩	59.5	14.5	07 時 03 分
荒屋	97.0	18.0	04 時 54 分	葛根田	112.5	16.5	04 時 26 分
奥中山	77.0	15.5	04 時 08 分	滝沢	73.0	11.0	04 時 44 分
岩手松尾	66.0	19.0	06 時 42 分	藪川	63.5	13.5	07 時 16 分

○主な地点の降水量時系列図

16日24時～17日12時



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農地・農業用施設	15,000	農地の法面崩壊 6 箇所、水路等農業用施設の法面崩壊 7 箇所	八幡平市、二戸市、雫石町等 4 市町村
	計	15,000		

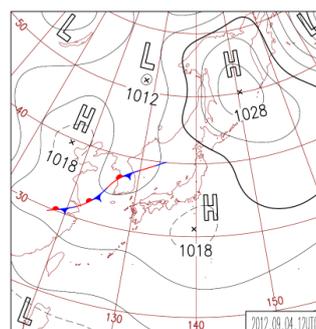
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

13 9月4日の大雨災害

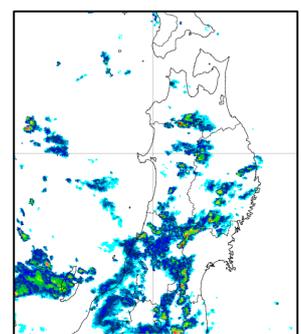
(1) 気象概況

日本付近には暖かく湿った空気が流れ込んだ。一方、上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過し、昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて大気の状態が不安定となった。岩手県の南部を中心に、局地的に雷を伴って猛烈な雨が降った。

大雨により、奥州市衣川区で農地や農業施設に被害が発生した。



地上天気図9月4日21時



レーダー画像9月4日16時00分
レーダー強度 (mm/h)



○関連する警報・注意報等の発表状況（奥州金ヶ崎地域：9月4日）

地域	警報	注意報
奥州金ヶ崎地域	大雨、洪水	大雨、洪水、雷（突風・ひょう）

注)市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表

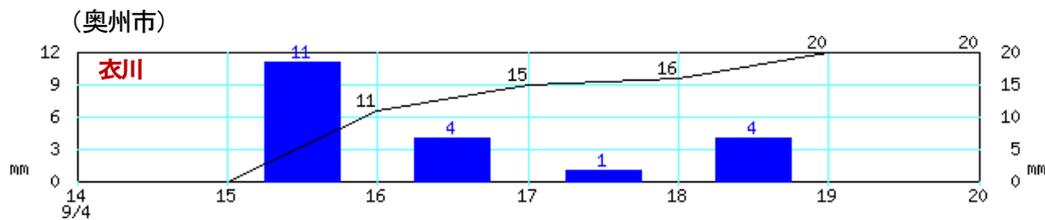
○降水量（奥州市衣川：9月4日）

日降水量と日最大1時間降水量（単位：mm）

地点名	日 降水量	1時間降水量	
		最大	時分
衣川	22.0	14.0	16時21分

○降水量時系列図

9月4日14時～20時



(2) 被害状況

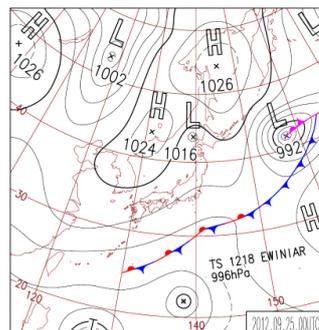
(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農地・農業 用施設	5,000	田の法面崩壊 2箇所、水路の法面崩壊 3箇所	奥州市
計	5,000		

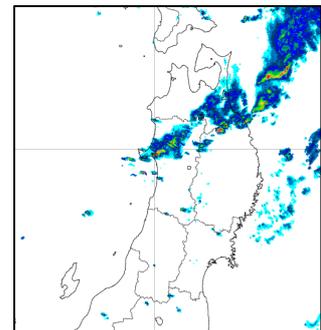
14 9月25日の降雹災害

(1) 気象概況

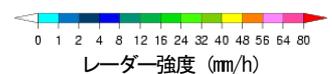
上空に寒気を伴った低気圧が北海道付近をゆっくり南東進し、東北地方の上空約5500mに氷点下15℃以下の寒気が流れ込んだ。岩手県は大気の状態が不安定となり、県の北部を中心に雷雨となった。二戸市では15時頃から15時30分頃に雹が降り、農作物（果樹）に被害が発生した。



地上天気図9月25日09時



レーダー画像9月25日16時00分

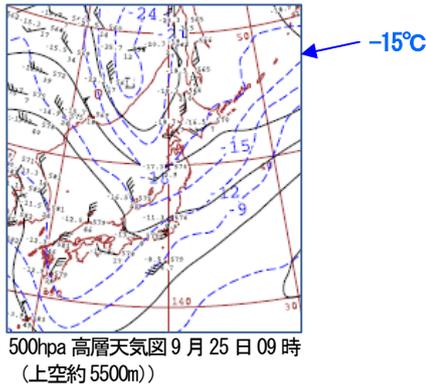


○関連する注意報の発表状況（二戸地域：9月25日）

地域	注意報
二戸地域	雷（突風・ひょう）

注)市町村等をまとめた地域で記載

○高層天気図 (9月25日)



秋田上空約5500mの気温(°C)

観測日時	観測値	平年差
25日09時	-17.2	-5.0

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物等	15,272	りんご65ha	二戸市
計	15,272		

15 7月から9月の暑熱・少雨災害

(1) 気象概況

梅雨明け後の7月下旬中頃から太平洋高気圧におおわれて晴れて気温の高い日が多く、降水量の少ない状態が続いた。9月以降も、太平洋高気圧の勢力が日本の東海上で非常に強く、9月中頃まで気温のかなり高い状態が続いた。9月17日と18日は盛岡など9地点で「日最低気温の高い方から」の年の極値を更新し、9月の平均気温は全ての観測地点で「月平均気温の高い方から」の極値を更新するなど、特に9月は残暑が厳しく、記録的な高温となった。また、8月と9月は降水量が少なく、日照時間が多く、「月降水量の少ない方から」と「月間日照時間の多い方から」の極値をそれぞれ更新したところがあった。

東北北部の梅雨入り・梅雨明け

種別	2012年	平年
梅雨入り	6月9日ごろ	6月14日ごろ
梅雨明け	7月26日ごろ	7月28日ごろ

この影響により、熱中症のほか、県の北部を中心に11市町村で農作物や家畜に被害が発生した。

○関連する情報の発表状況 (岩手県)

種別	情報内容	発表日等
高温注意情報	岩手県高温注意情報	7月28日～8月31日に9回発表
天候情報	「小雨に関する岩手県気象情報 第1号」	8月20日
	「小雨と高温に関する岩手県気象情報 第2号」	8月24日
	「長期間の高温と小雨に関する岩手県気象情報 第3号」	9月7日
	「長期間の高温と小雨に関する岩手県気象情報 第4号」	9月14日

○月別の気温、降水量、日照時間 (盛岡：7月～9月)

<官署：盛岡地方気象台>

種別	7月			8月			9月		
	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分
平均気温(°C)	23.1	+1.3	高い	26.1	+2.7	かなり高い	23.2	+4.5	かなり高い
降水量(mm)	135.0	73	少ない	52.5	29	かなり少ない	89.5	56	少ない
日照時間(h)	150.9	117	多い	210.1	141	かなり多い	152.1	123	かなり多い

注1) 平年差・日は気温：平年差(°C)、降水量と日照時間：平年比(%)を表す。

注2) 値)はデータの一部に欠測があることを示す。

<特別地域気象観測所、アメダス>

種別	7月	8月	9月
平均気温	平年並～高い	高い～かなり高い	かなり高い
降水量	平年並～少ない	かなり少ない～少ない	少ない～かなり少ない
日照時間	平年並～多い	多い～かなり多い	かなり多い

8月と9月は、猛暑日（日最高気温 35℃以上の日）の日があったほか、真夏日（30℃以上の日）の日数は平年を大きく上回る場所が多かった。

○月別の主な極値更新（7月～9月：統計期間10年以上の要素）

種別	月別地点数		
	7月	8月	9月
日最高気温の高い方から	6	0	4
日最低気温の高い方から	0	1	20(9)
月平均気温の高い方から	0	0	34
月降水量の少ない方から	1	3	3
月間日照時間の多い方から	0	11	13

注）（値）は年としても極値更新した地点数。

盛岡では、日最高気温 35℃以上（猛暑日）の年間日数を5日、日最高気温 25℃以上（夏日）の年間日数を100日観測し、それぞれ極値を更新した。

(2) 被害状況

（単位：千円）

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農作物等	79,900	水稻（胴割れ）1,900ha、りんご（日焼け）90ha等、1991.2ha	盛岡市
	家畜等	22,908	ブロイラーの熱死46,098羽、豚の熱死8頭	九戸村、久慈市、野田村等11市町村
計		102,808		

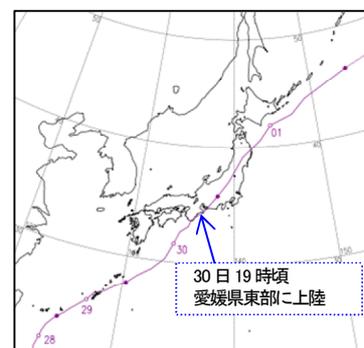
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

16 10月1日の台風17号災害

(1) 気象概況

台風第17号は、9月30日に四国の南を北東に進み、30日19時頃に愛知県東部に上陸した。台風はその後速度を増しながら北東へ進み、10月1日未明から明け方にかけて岩手県を通過し、三陸沖に達した。岩手県では、30日夜遅くから1日未明にかけて一関市祭時で1時間82.5mmの猛烈な雨を観測した。総降水量（30日17時～1日09時）は、一関市祭時で192.5mm、普代で136.0mm、大槌で135.0mmを観測した。1日の日降水量は2地点で、日最大1時間降水量は13地点で、いずれも10月の極値を更新した（日最大1時間降水量は3地点で通年の極値も更新）。また、10月1日は大潮の時期にあたり、台風通過と満潮時刻が重なったため潮位が高くなった。

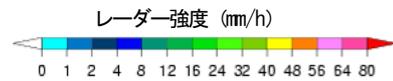
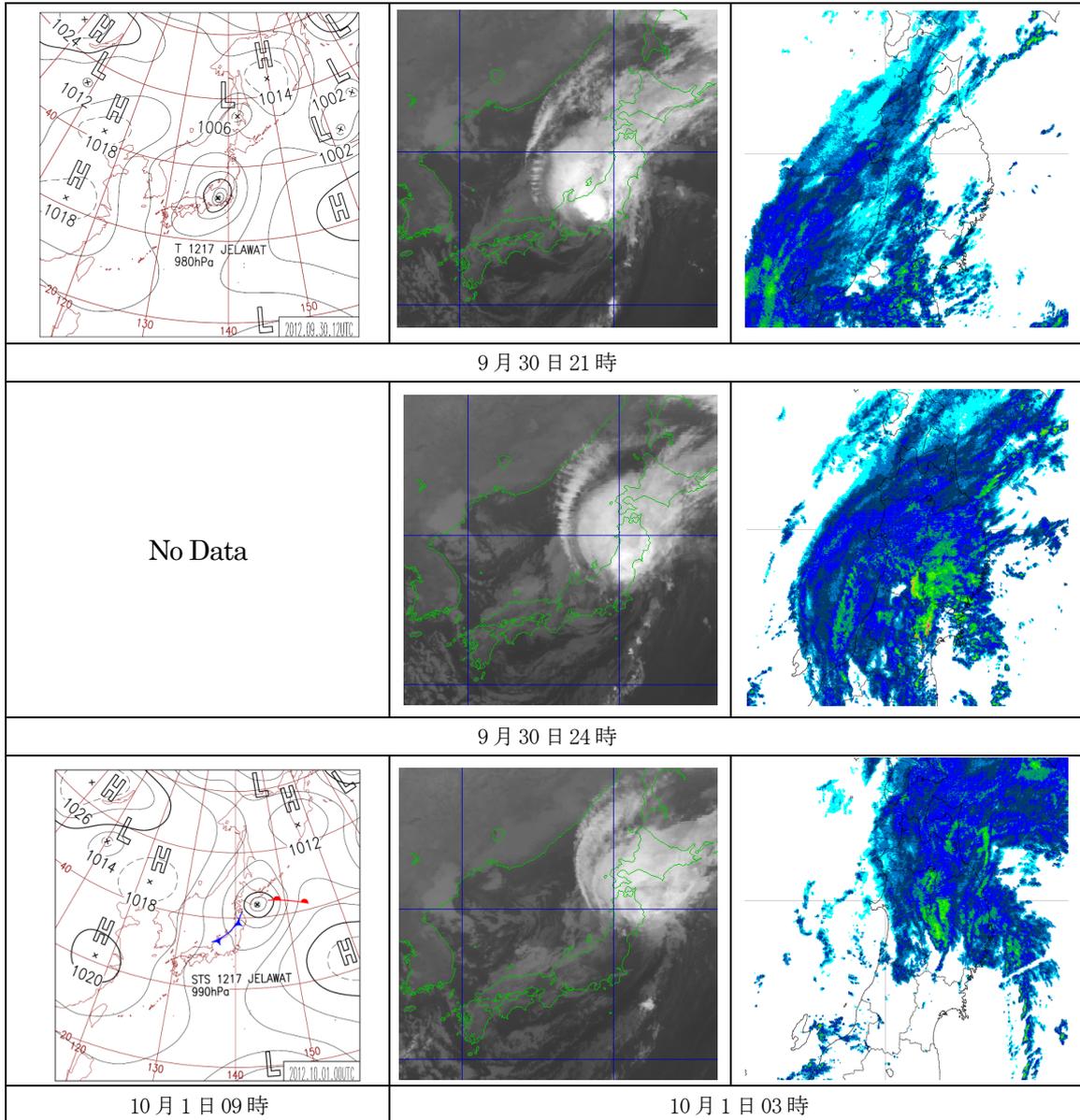
この大雨や高潮により、岩手県では沿岸部を中心に浸水害や通信が発生したほか、沿岸北部や内陸では農地や農業施設に被害が発生した。



台風第17号の経路図

経路図の説明
経路上の○印は傍らに記した日の09時（午前9時）、●印は21時（午後9時）の位置で、→は消滅を示す。
経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間を示す。

○地上天気図、気象衛星赤外面像、レーダー画像



○警報・注意報等の発表状況 (岩手県：9月30日～10月1日)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
内陸	大雨 洪水	強風、雷、濃霧 大雨、洪水、雷	沿岸北部	暴風、波浪、高潮	強風、波浪、高潮
			沿岸南部	大雨、洪水	大雨、洪水、雷、濃霧

注) 一次細分区域で記載

府県気象情報
「平成24年 台風第17号に関する岩手県気象情報」を第7号まで発表 岩手県竜巻注意情報を第2号まで発表

○総降水量（9月30日17時～10月1日09時）

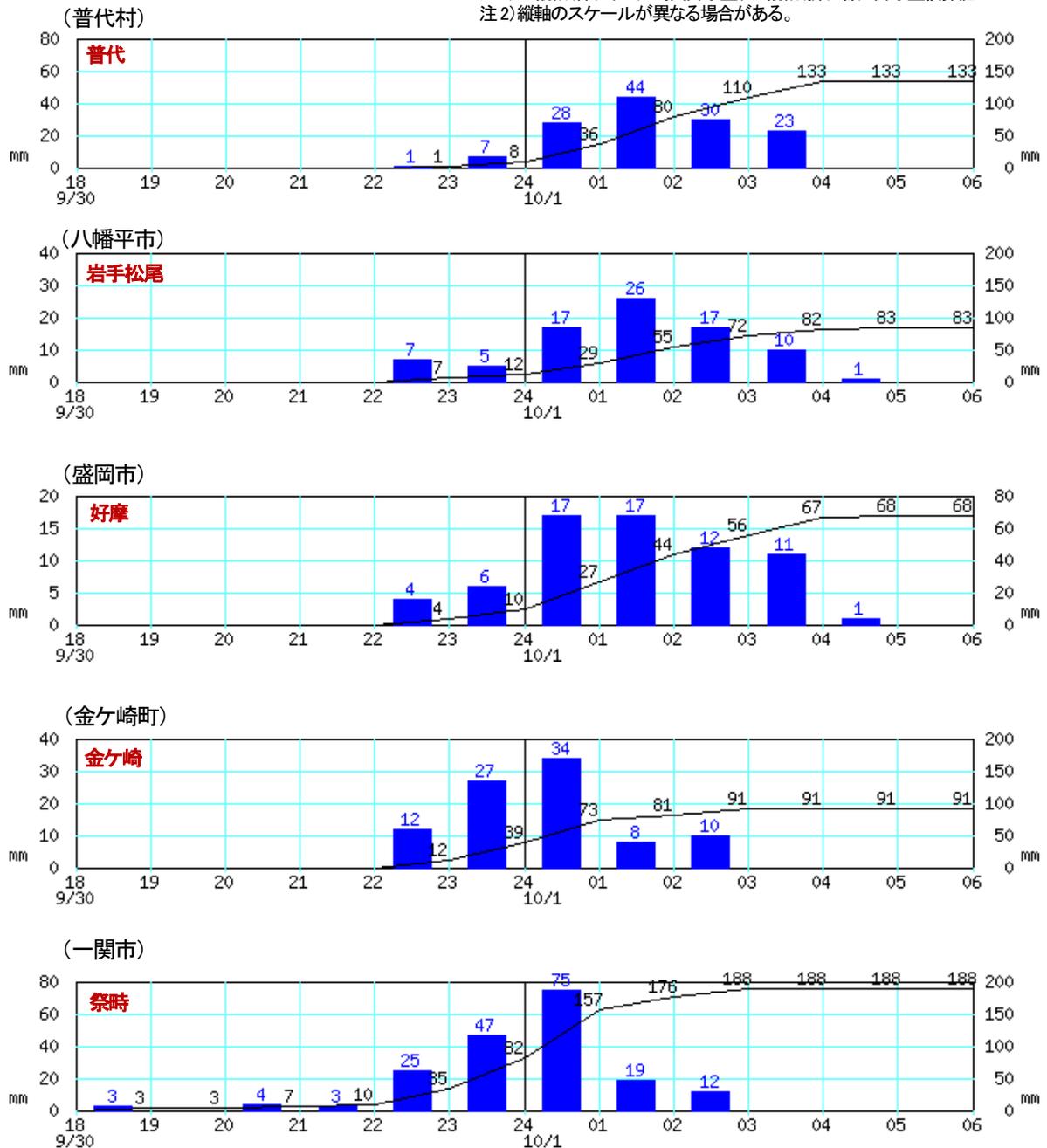
単位：mm

地点名	降水量	地点名	降水量	地点名	降水量	地点名	降水量	地点名	降水量
種市	87.0	普代	136.0	区界	59.0	大槌	135.0	江刺	30.5
軽米	52.0	岩手松尾	85.5	刈屋	84.5	山田	43.0	住田	59.0
二戸	61.0	好摩	71.0	宮古	55.0	湯田	107.5	祭時	192.5
大野	61.5	岩泉	81.5	紫波	66.0	遠野	67.5	衣川	45.5
山形	57.0	小本	81.0	川井	62.0	小槌	69.5	大東	32.5
久慈	96.0	葛根田	71.5	沢内	73.5	金ヶ崎	94.0	陸前高田	57.0
荒屋	72.0	滝沢	61.5	豊沢	117.0	北上	58.0	大船渡	52.0
奥中山	73.5	藪川	66.5	花巻	69.0	米里	34.0	一関	25.0
葛巻	45.5	雫石	77.0	大迫	57.5	釜石	73.5	千厩	20.5
下戸鎖	71.5	盛岡	64.0	附馬牛	59.5	若柳	57.5		

○主な地点の降水量時系列図

9月30日18時～10月1日06時

注1) 左縦軸(棒グラフ)：時間降水量、右縦軸(折れ線)：降水量積算値
注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。



○日最大風速と日最大瞬間風速 (9月30日～10月1日)

最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

地点名	日最大風速 (m/s)			日最大瞬間風速 (m/s)		
	月日	時分	風向/風速	月日	時分	風向/風速
盛岡	10月1日	01時29分	北北東 11.0	10月1日	03時16分	北北東 17.7
宮古	9月30日	22時49分	南東 10.6	9月30日	23時51分	南東 16.4
	10月1日	01時47分	南東 17.7	10月1日	01時45分	南南東 27.7
釜石	10月1日	01時19分	南東 10.2	10月1日	01時16分	南東 19.7
住田	10月1日	00時15分	東南東 11.0	10月1日	00時08分	東南東 20.7
大船渡	9月30日	23時57分	南東 11.7	9月30日	23時51分	南東 20.3
	10月1日	00時42分	南東 13.5	10月1日	01時00分	南東 24.2

注) 塗潰しは(黄色)は10月の極値更新を表わす。

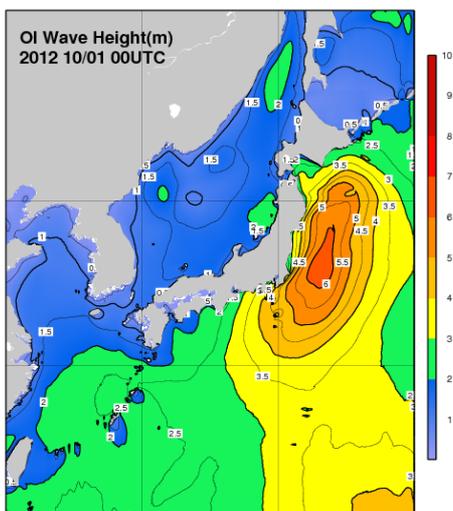
○主な極値更新 (10月:統計期間10年以上の要素)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
日降水量	mm	豊沢	1	92.5	10月1日	1977年	日最大 1時間降水量	mm	豊沢	1	35.5	10月1日	1977年
		湯田	1	87.0	10月1日	1976年			花巻	1	23.5	10月1日	2003年
日最大 1時間降水量	mm	種市	1	30.5	10月1日	1976年			大槌	年1	57.0	10月1日	2001年
		荒屋	1	28.0	10月1日	1977年			湯田	年1	45.0	10月1日	1976年
		奥中山	1	27.5	10月1日	1977年			若柳	1	26.0	10月1日	1976年
		岩手松尾	1	30.5	10月1日	1976年			祭時	年1	82.5	10月1日	1976年
		雫石	1	24.0	10月1日	1976年			日最大風向・ 風速	m/s	釜石	1	南東 10.2
		川井	1	24.5	10月1日	1978年							
		沢内	1	30.5	10月1日	1977年							

注1) 「年1」は年の極値更新を表わす。

注2) 9月としての極値更新は無し。

○沿岸波浪図 (10月1日)



速報沿岸波浪図 10月1日09時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と 0.5mごとの破線 (4m未満の領域のみ) を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

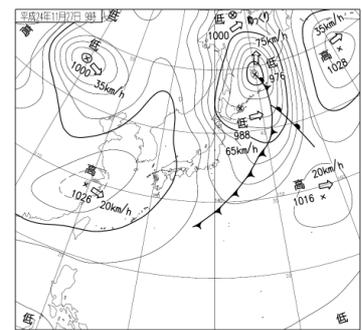
区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農作物等	1,668	加工用ほうれんそう(流出)0.9ha、りんご0.2ha	普代村、一関市
	農業施設	120	パイプハウスのビニール破損3棟	一関市
	農地・農業用施設	15,000	田の法面崩壊8箇所、水路・道路の法面崩壊12箇所	一関市、岩手町、金ヶ崎町等6市町
林 業	林業施設	64,000	林道の法面崩壊19箇所等23箇所	住田町、岩泉町、一関市等6市町
	森 林	18	私有林の倒木0.01ha	田野畑村
水産業	漁 船	1,130	漁船エンジンルーム海水流入等2隻	大槌町、宮古市
計		81,936		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

17 11月26日から27日の強風災害

(1) 気象概況

26日は、本州南岸の低気圧が発達しながら三陸沖を北上し、別の低気圧が日本海中部を東進した。27日は、三陸沖を北上した低気圧が千島近海に進み、北日本は冬型の気圧配置となった。低気圧や冬型の気圧配置の影響により、岩手県では強風が吹き、27日に遠野、北上市沢内、住田で11月の日最大風速の極値をそれぞれ更新した(遠野は通年としても極値更新)。



速報地上天気図 11月27日09時

強風により、住家被害や停電被害、交通障害などのほか、奥州市や花巻市など11市町村で農作物や農業施設に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況(岩手県：11月26日～27日)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
内陸	—	風雪 強風(遠野地域を除く)	久慈地域	暴風雪	風雪、強風
			宮古地域	—	風雪、強風
			沿岸南部	—	風雪、強風

注) 一次細分区域及び市町村等をまとめた地域で記載

<p>府県気象情報</p> <p>「暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報」とこれを引継ぐ気象情報を第3号まで発表</p>

○最大風速と最大瞬間風速(11月26日～27日)

最大風速10m/s以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

地点名	日最大風速 (m/s)			日最大瞬間風速 (m/s)			地点名	日最大風速 (m/s)			日最大瞬間風速 (m/s)		
	月日	時分	風向/風速	月日	時分	風向/風速		月日	時分	風向/風速	月日	時分	風向/風速
岩手松尾	11月26日	03時32分	南南東 10.9	11月27日	02時54分	西 21.5	沢内	11月27日	00時20分	西南西 10.0	11月27日	04時34分	南西 25.1
久慈	11月27日	13時35分	西 10.4	11月27日	13時05分	西 19.7	遠野	11月27日	01時07分	西北西 14.0	11月27日	00時26分	西北西 25.4
雫石	11月27日	01時12分	西 12.8	11月27日	00時52分	西南西 23.0	若柳	11月27日	05時26分	西北西 11.2	11月27日	05時18分	西 25.7
盛岡	11月27日	03時49分	西 11.6	11月27日	03時21分	北西 23.2	江刺	11月27日	05時02分	西北西 13.3	11月27日	05時07分	西北西 27.6
紫波	11月27日	03時49分	西 14.6	11月27日	03時40分	西北西 25.2	住田	11月27日	05時34分	西北西 13.4	11月27日	05時32分	西北西 24.8

注) 塗潰しの黄色は10月の極値更新、橙色は通年としても極値更新を表わす

○主な極値更新（11月：統計期間10年以上の要素）

要素名	地点名	順位	値	起日	統計開始年
日最大風向・風速 (m/s)	沢内	1	西南西 10.0	11月27日	1976年
	遠野	年1	西北西 14.0	11月27日	1976年
	住田	1	西北西 13.4	11月27日	1977年

注1) 「年1」は通年の極値更新を表わす。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農作物等	5,024	りんご50ha	奥州市
	農業施設	2,987	パイプハウスのビニール破損68棟	花巻市、北上市、滝沢村等11市町
計		8,011		

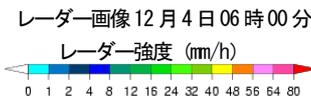
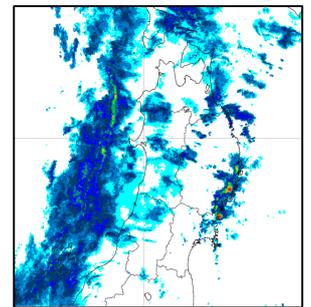
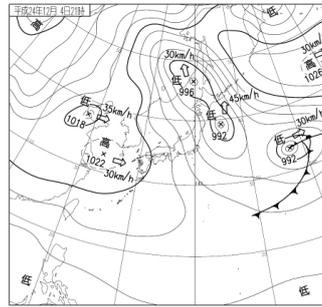
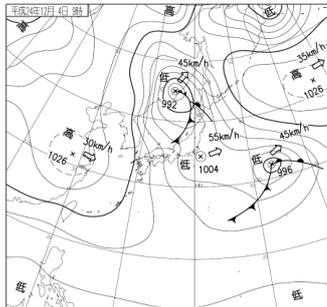
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

18 12月4日の大雨・降雹・波浪災害

(1) 気象概況

沿海州付近を北上する低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過し、岩手県では雷を伴って非常に激しい雨が降るところがあった。また、別の低気圧が三陸沖を北上し、沿岸を中心に日降水量100mm以上を観測した。

この大雨により、沿岸南部を中心に浸水害や交通障害のほか、釜石市で林業施設に被害が発生した。また、雹が降り、陸前高田市で農作物や農業施設に被害が発生した。



○関連する警報・注意報等の発表状況（岩手県：12月4日）

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域、二戸地域			久慈地域	大雨、洪水、波浪	雷、強風、波浪、大雨、洪水
花北地域、両磐地域	—	雷、強風	宮古地域	大雨、洪水、波浪	雷、高潮、強風、波浪、大雨、洪水
奥州金ヶ崎地域			沿岸南部	大雨、洪水	雷、高潮、強風、波浪、大雨、洪水
遠野地域	—	大雨、雷、強風			

注1) 雷注意報に「突風、ひょう」を付加して発表

注2) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」とこれを引く続く気象情報を第3号まで発表
岩手県竜巻注意情報を第6号まで発表

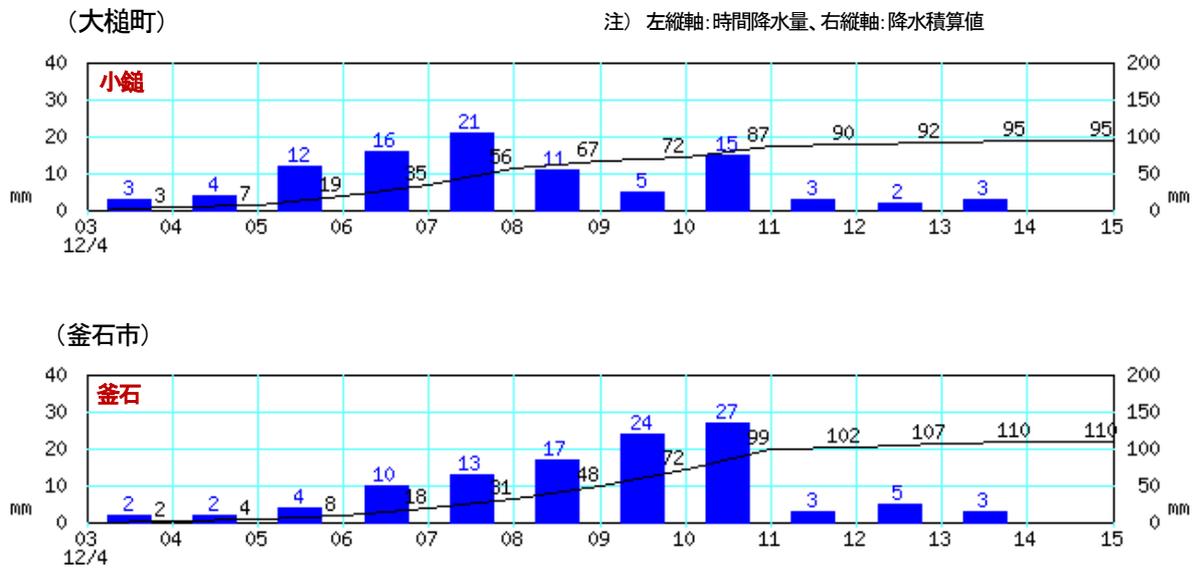
○降水量（12月4日）

日降水量100mm以上の地点の日降水量と日最大1時間降水量（単位：mm）

地点名	日降水量	1時間降水量	
		最大	時分
宮古	100.0	48.0	07時03分
山田	160.0	43.0	11時12分
小鎗	120.5	25.5	07時38分
釜石	123.0	30.5	09時45分

○主な地点の降水量時系列図

12月4日03時～12時



○主な極値更新（12月：統計期間10年以上の要素）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
日最大10分間降水量	mm	盛岡	1	4.5	12月4日	1940年
		宮古	1	22.5	12月4日	1940年
日最大1時間降水量	mm	釜石	1	12.0	12月4日	1976年

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	788	りんご0.55ha	陸前高田市
	農業施設	50	パイプハウスのビニール破損4棟	陸前高田市
林業	森林	40,000	林地荒廃0.2ha	釜石市
水産業	漁船	1,000	船外機船転覆1隻	大船渡市
計		41,838		

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 1月29日の波浪災害

(1) 水産関係被害に対する対策

宮古市と岩泉町で漁船8隻の沈没等の被害が発生し、いずれも漁船保険に加入している場合の保険金による補填も含め、所有者の自力復旧により対応した。

(2) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、宮古市の県営・市町村営漁港において、防波堤の損壊、臨港道路の欠壊、普代村の村営漁港において、物揚場及び用地舗装が損壊する被害があった。

宮古市の防波堤等の被災は、被害額3億円程度と見込まれるが、東日本大震災津波により不安定になっていたことが主な原因と考えられることから、既に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）に基づく災害査定により採択されている災害復旧事業の変更設計協議により増工し対応する予定である。

また、普代村の物揚場等の被災は、村の単独費により復旧した。

2 4月3日から4日の暴風・波浪災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

育苗用ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(2) 畜産関係被害に対する対策

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 農業施設被害に対する対策

ア 被災農畜産農家への対策

被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

イ 復旧対策事業

国では、平成23年11月の大雪、平成24年4月の暴風雨及び同年5月に発生した突風・降ひょうにより被害を受けた農作物の生産に必要な施設の復旧を緊急的に支援するため、「被災農業者向け経営体育成支援事業」（国の直轄事業）を平成24年5月に創設した。

本県では、北上市、八幡平市、遠野市から事業要望があり、要望どおり予算配分さ

れた。

表1 被災農業者向け経営体育成支援事業の予算配分状況

(金額単位：千円)

市町村名	事業実施主体	事業費	補助金額	主な事業内容（復旧施設）
北上市	北上市 農業再生 協議会	1,491	447	ビニールハウス1棟
八幡平市	八幡平市 農業再生 協議会	32,390	9,156	ビニールハウス66棟、牛舎10棟、豚舎1棟、鶏舎1棟、葉たばこ乾燥施設1棟
遠野市	遠野市	8,195	2,457	ビニールハウス3棟、牛舎2棟、鉄骨ハウス1棟、農作業小屋1棟
計		42,076	12,060	ビニールハウス70棟、牛舎12棟、豚舎1棟、鶏舎1棟、鉄骨ハウス1棟、葉たばこ乾燥施設1棟、農作業小屋1棟

(4) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害に対する対策

暴風等により、木材加工施設(林業施設)の屋根が破損し、6箇所、2,634千円の被害となった。また、しいたけ生産用のパイプハウス(林産施設)が破損し、59箇所、14,412千円の被害となった。

その復旧に当たっては、施設所有者の自力復旧により対応した。

イ 林産物被害に対する対策

暴風等により、しいたけ生産用のパイプハウス(林産施設)が破損したため、ハウス内に設置していた菌床ブロックが破損し、1,360千円の被害となった。

その復旧に当たっては、施設所有者の自力復旧により対応した。

(5) 水産関係被害に対する対策

波浪等により、養殖施設の破損等及び収穫を控えたワカメとコンブの落下等の被害が大きかった(施設被害35,734千円、生産物被害50,880千円)ほか、漁船11隻の破損等、作業保管施設等3箇所の施設被害が発生した。

漁船や施設の被害に関しては、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補填も含め、所有者の自力復旧により対応したほか、生産物被害についても漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補償する形で共済金が支払われた。

(6) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、陸前高田市の県営の長部漁港において、東日本大震災津波で被災した護岸の仮復旧部分が被災し、負担法の採択基準に該当しないことから、県単独災害復旧事業により再度仮復旧した。

3 5月3日から4日の大雨災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

溝切りなどの排水対策や後日の薬剤散布などがすみやかに行われるよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、排水対策等を周知した。

農業共済の対象となる水稻、麦、果樹、園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費 40 万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 11 箇所 27,902 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、7月9日から11日にかけて実施され、11箇所 27,631 千円が採択された。

なお、国庫補助率は農地 50%、農業用施設 65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高の適用を申請したことにより、県平均で農地 83.8%、農業用施設 95.6%となった。

(4) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害に対する対策

大雨により、県南部から沿岸南部にかけて林業施設（治山施設）が被災し、直下の市道等への土砂流出被害が発生し、その規模は2箇所 32,000 千円となった。

被災した林業施設（治山施設）のうち、復旧事業費が 120 万円以上の箇所について、負担法に基づき、大船渡市の治山施設 1 箇所 30,000 千円について、国に対して査定申請を行った。

現地査定（平成 24 年 9 月 6～7 日）の結果、29,976 千円が国庫負担の災害復旧事業として採択された。

大雨により林道施設に路肩決壊・法面崩壊被害が生じ、その規模は 96 路線 194 箇所 174,060 千円となった。

被災した林業施設（林道施設）のうち、暫定法に基づき、8 路線 8 箇所 49,058 千円を申請した。

国による災害査定は、平成 24 年 7 月及び 8 月に実施され、査定の結果、8 路線 8 箇所 43,914 千円が採択された。

エ 林地荒廃に対する対策

林地荒廃の被害については、12 箇所（3 市 3 町）のうち人家の後背地が崩壊した奥州市の 1 箇所については、災害関連緊急治山事業により、事業費 21,550 千円で復旧することとした。

また、災害関連緊急治山事業の採択要件に満たない 3 箇所（奥州市 1、大船渡市 1、大槌町 1）については、平成 24 年度予防治山事業（事業費 40,986 千円）で復旧整備を実施することとした。

上記以外の被災箇所について、平成 25 年度以降、国庫補助治山事業等により、3 箇所を復旧整備することとしている。

(5) 水産関係被害に対する対策

波浪等により、養殖施設の破損等及び収穫を控えたコンブの落下等の被害が大きかった（施設被害 37,937 千円、生産物被害 234,480 千円）ほか、小型漁船 1 隻の転覆など若干の被害が発生した。

漁船や施設の被害に関しては、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補填も含め、所有者の自力復旧により対応したほか、生産物被害についても漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補償する形で共済金が支払われた。

(6) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、釜石市、大船渡市、陸前高田市の県営7漁港において、流木等の流入や用地舗装の洗掘の被害があり、負担法の採択基準に該当しないことから、県単独災害復旧事業により集積及び一部復旧済であり、残りの流木等の処分についても、瓦礫の処分状況を勘案しながら進めることとしている。

4 6月4日の降雹災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

枝折れや被害果の扱い等の事後対策が適切に行われるよう、農業改良普及センターを通じて、果樹農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業改良普及センターを通じて、被災農家に対し、定期防除の時期を早めるとの病害対策について注意喚起を行った。

被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう農林漁業セーフティネット資金及び(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

ウ 復旧対策事業

降雹により、りんご果実が損傷、落果し、樹体の損傷も発生した。このため、一関市において、被害を最小限に抑えるために実施した緊急防除及び生育回復対策に要する経費に対して助成を行った。

振興局	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 (a)	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
県南 (一関)	一関市	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	805
			生育回復対策	45.5	702	
		合計	95.5	2,415		

5 7月から9月の暑熱・少雨災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

「農作物技術情報第5号」(8月30日)及び「農作物技術情報 号外 高温対策」(9月18日)を発行し、水稻、野菜、花き等各品目の高温対策技術についての情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業改良普及センターを通じて被災農家に対し、灌水等の高温対策を呼びかけた。

少雨、高温に対する技術指導の徹底について農業共済団体に対し周知したほか、農業共済の対象となる水稻、畑作物(大豆)、果樹、園芸施設(パイプハウス等)等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に協力要請を行った。

エ 販売対策等

夏秋キャベツにおいて、全農岩手県本部の8月の出荷実績は、出荷量は6,149tで前年並みであったが、平均単価は55円/kg(前年比86%)と低い価格で取り引きされた。この時期の東京都中央卸売市場における入荷状況から、夏秋キャベツの主要産地である群馬県の入荷量が増えたことが、市場価格形成に大きな影響を与えたものと推測される。この価格下落を受けて「指定野菜価格安定対策事業」及び「県単青果物等価格安定事業」により、生産者に補給金が支払われた(142,216千円、前年比676%)。

9月には農林水産省がキャベツの「緊急需給調整実施計画」を公表し、本県産キャベツでは693tの市場隔離(出荷の停止)の措置が講じられたため、「野菜緊急需給調整費用交付金」から21,498千円が交付された。

また、(公社)岩手県農畜産物価格安定基金協会からも当交付金の1/4以内の額(5,375千円)が交付された。

(2) 畜産関係被害に対する対策

ア 技術対策等

暑熱や電力の省コスト化の対策について、畜産農家等に対して、屋根等の断熱材の設置、塗装、換気扇等による送風などの畜舎環境や、牛の毛刈りやビタミン、ミネラルの栄養補足など飼養管理からの技術指導通知を発出(6月1日)した。

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜(牛、豚)については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に協力要請を行った。

V 参考資料

農林水産部災害対策実施マニュアル

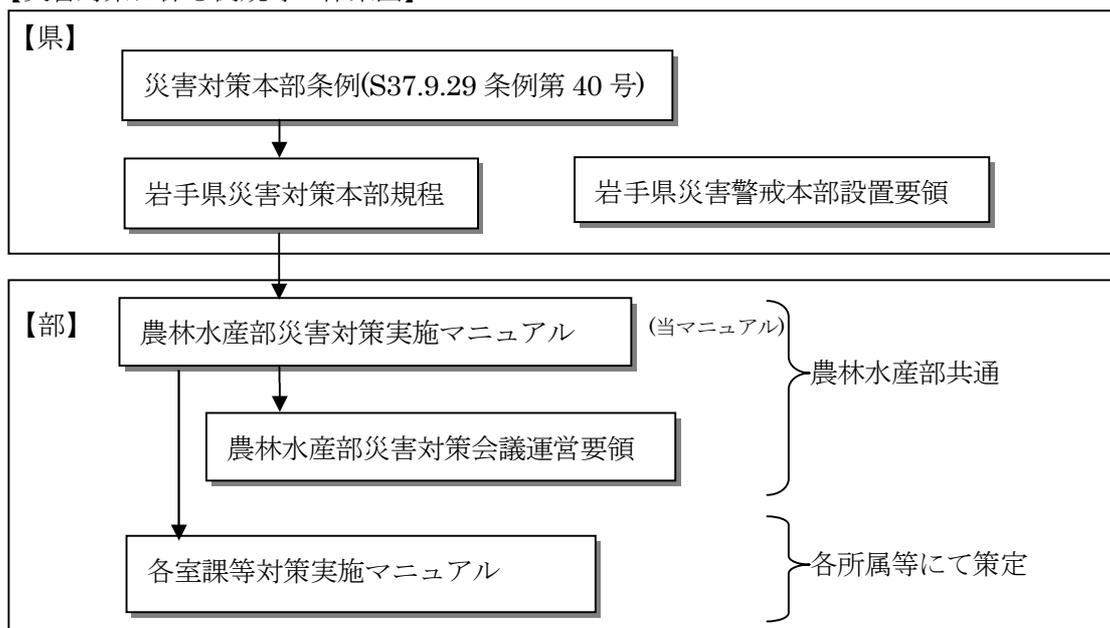
制 定 平成15年5月1日

最終改正 平成18年4月1日

このマニュアルは、岩手県災害対策本部規程（平成8年岩手県災害対策本部長訓令第2号）第9条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合(以下「災害発生時」という。)において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行なわれる。

また、岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、関係する広域振興局、総合支局及び地方振興局（以下、「振興局等」という。）に地方支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

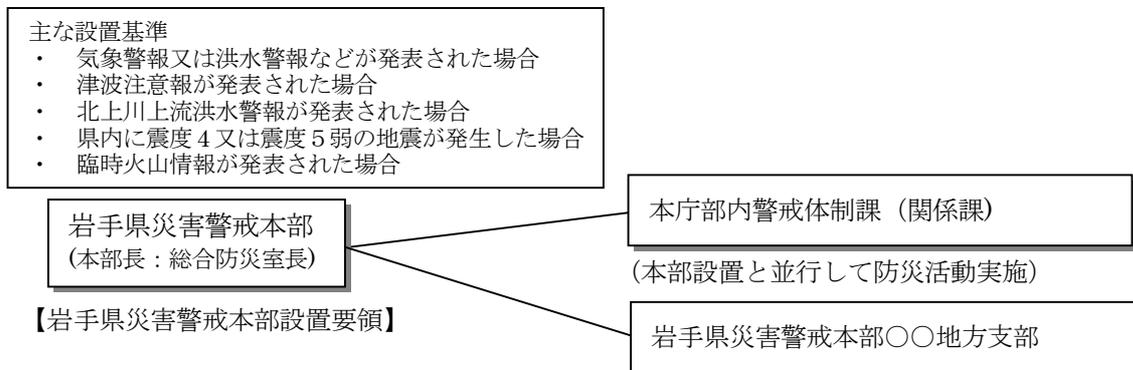
岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 『農林水産部災害対策実施マニュアル』

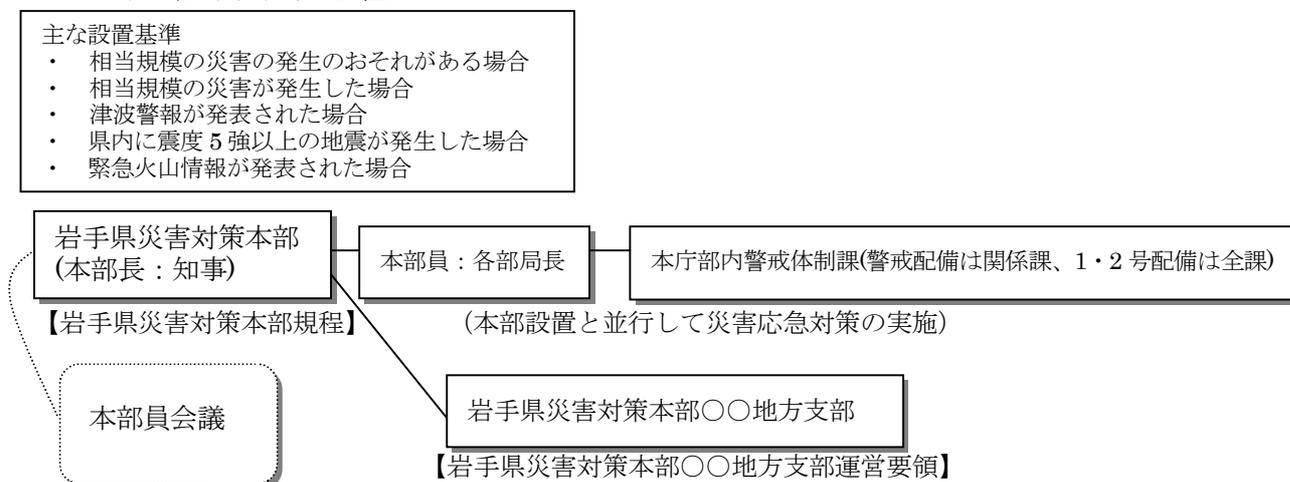
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置



★岩手県災害対策本部の設置



III 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第21条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①警戒配備、②1号非常配備、③2号非常配備となっている。

また、気象予警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒体制をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。
- (3) 振興局等農林水産担当部等の職員及び出先機関の職員は、振興局等各部長又は各地方支部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。

警 戒 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		1 気象警報、高潮警報、波浪警報、洪水警報、津波注意報若しくは臨時火山情報（火山噴火予知連絡会の統一見解を除く。）が発表され、又は大規模な火災、爆発等により相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 2 北上川上流洪水警報、北上川上流水防警報又は閉伊川水防警報が発表され、かつ、相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 3 津波警報が発表された場合 4 県内に震度5強の地震が発生した場合 5 県内の火山について緊急火山情報が発表された場合
本 庁	活動要領	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。 (1) 災害対策本部員会議への付議 (2) その他必要と認める事項の処理 2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。 3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。 4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。
	各室課の長	(農林水産企画室長処理事項) 本庁関係課、振興局等農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。 (各室課の長共通処理事項) 1 マニュアルに従い、振興局等農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。 2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課、漁港漁村課及び部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当並びに各課の長があらかじめ指名する職員
振興局等農林水産担当部等	活動要領	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課又は農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。
	配備職員	振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員
出先機関	活動要領	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。
	配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

1 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 相当規模の災害が発生した場合 2 大津波警報が発表された場合	
本 庁	活動要領	部長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		室課の長	(農林水産企画室長処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。
	配備職員	すべての課の主査相当職以上の職員及び各課の長があらかじめ指名する職員	
部等 振興局等農林水産担当	活動要領	振興局等農林水産担当部長等	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての所属の主査相当職以上の職員及び振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出先機関	活動要領	出先機関の長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員	

2 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 大災害が発生した場合において、本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認められる場合 2 県内に震度6弱以上の地震が発生した場合	
本 庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	
部等 林水産担当 振興局等農	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	
出先機関	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、部長が部内の職員のうちから指名する。

本部連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令の伝達、各部間の連絡・調整及び情報収集の業務を担当する。

4 緊急初動特別班員（県災害対策本部規程第17条）

本部（及び地方支部）に、緊急初動特別班を置き、班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。

緊急初動特別班員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害情報の収集・報告・周知、災害応急対策の実施、国、市町村その他の関係機関との連絡等に関する事務を行う。

5 災害対策本部調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第19条）

岩手県災害対策本部に調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

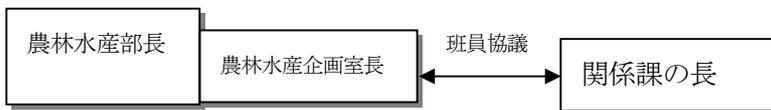
班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

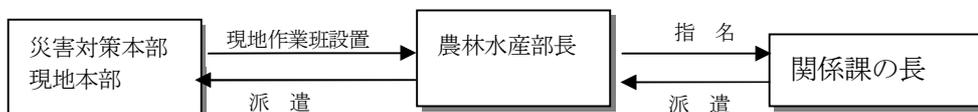
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第20条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認めるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 29 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

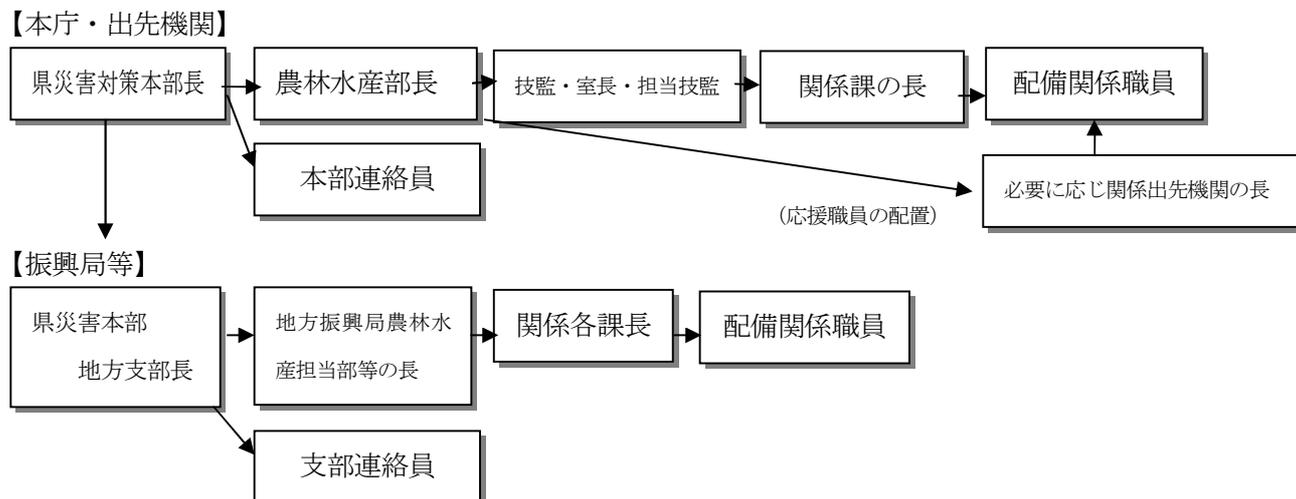
IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 23 条）

- ① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。
【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、本部連絡員にも伝えられる】
- ② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ③ 振興局等農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。
- ⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

非常招集体系図



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 24 条）

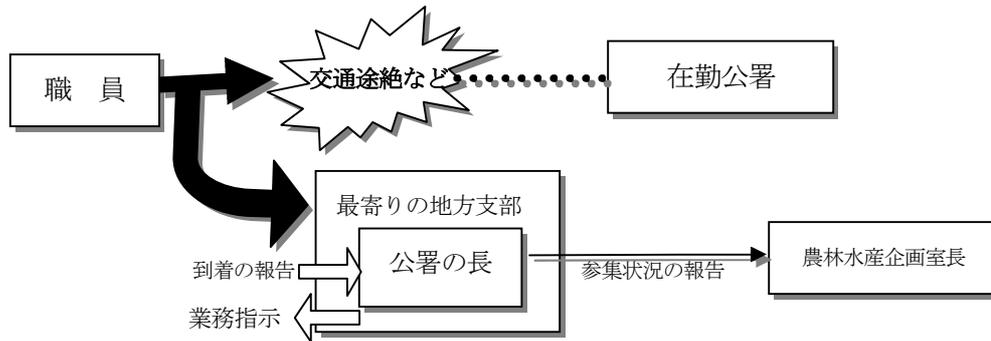
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である】

2 在勤公署に参集できない場合の対応

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集し、参集先の公署の長に到着の報告を行なうとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。

その場合、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当者

本庁各室課の長、振興局等農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、振興局等農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農林水産企画室	1 部内各課等の連絡調整に関すること。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関すること。	1 情報の収集・伝達計画 ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 2 広報広聴計画 ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 3 林野火災応急対策計画 ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集	
団体指導課	1 農業共済に関すること。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関すること。		
流通課	1 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせんに関すること。 2 食料品取扱機関との連絡に関すること。	1 相互応援協力計画 ・米穀の調達に係る岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・畜産副食物の調達に係る畜産加工品製造業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料供給計画 ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん	
農業振興課	1 経営構造対策事業及び山村等振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。		1 農作物気象災害対策のとりまとめに関すること。
農業普及技術課	1 農作物の被害の技術対策に関すること。 2 農業気象に関すること。 3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。 4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。 5 病虫害防除に関すること。	1 相互応援協力計画 ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理及び病虫害防除に係る技術指導	1 低温・日照不足の異常気象による被災農家の救済対策や消費者に対する適時適切な情報提供等に関すること。
農村計画課	1 他課等に対する応援に関すること。		

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農村建設課	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。 2 農地、農業用施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 国営土地改良事業及び県営土地改良事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 ・農地農業用施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 ・農地農業用施設被害報告 3 農地農業用施設応急対策計画 ・農地農業用施設に係る被害状況調査及び応急対策の実施 	
農産園芸課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。 2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。 3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 相互応援協力計画 ・農作物の種苗及び蚕種の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	
畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害の取りまとめに関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・家畜伝染病被害報告 2 相互応援協力計画 ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 ・畜産対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 木材及び木炭の調達及びあっせんに関すること。 2 林産物及び林業関係施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・林産施設関係被害報告 ・林産物関係被害報告 ・国有林の施設・森林等被害報告 2 相互応援協力計画 ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 生活必需品供給計画 ・木炭の調達及びあっせん 4 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 5 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理に係る技術指導 6 林野火災応急対策計画 ・林産施設関係被害情報の収集 ・林産物関係被害情報の収集 ・国有林の施設・森林等被害情報の収集 	

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防に関する事 2 林業種苗の調達及びあっせんに関する事 3 林業関係施設(林業振興課の主管に属するものを除く。)の被害調査及び応急対策に関する事 4 森林の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・森林関係被害報告 2 相互応援協力計画 ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 ・消火薬剤及び消防資機材の調達及びあっせん ・森林関係被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関する事 2 県有林の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害報告 ・県有林関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関する事 2 水産食品の調達及びあっせんに関する事 3 漁業災害補償に関する事 4 海上輸送(漁船によるものに限る。)に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 ・漁船による海上輸送の要請 2 相互応援協力計画 ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業協同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料供給計画 ・水産物の調達及びあっせん 4 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関する事 2 沿岸魚場整備開発施設の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 ・漁港施設等被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 ・漁港施設等被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 ・漁港関係障害物の除去 4 海上災害応急対策計画 ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	

2 振興局等農林水産担当部等

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
振興局等 { 農政(林)部 水産部 農村整備室 林務事務所 家畜保健衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

3 出先機関

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学校	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

本庁各室課の長、地方振興局農林水産担当部長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種 類	内 容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画 (様式1)	原則として、電子メール及び県行政情報ネットワークによるものとし、防災行政無線(電話、FAX)等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方 支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間(災害発生初期)に、種類別に報告するもの	〃 (様式F及び3、 10～16、		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	〃 (同上)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
その他の報告	前記の報告以外で、必要な事項について報告するもの	〃 (任意様式)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系図は12頁)

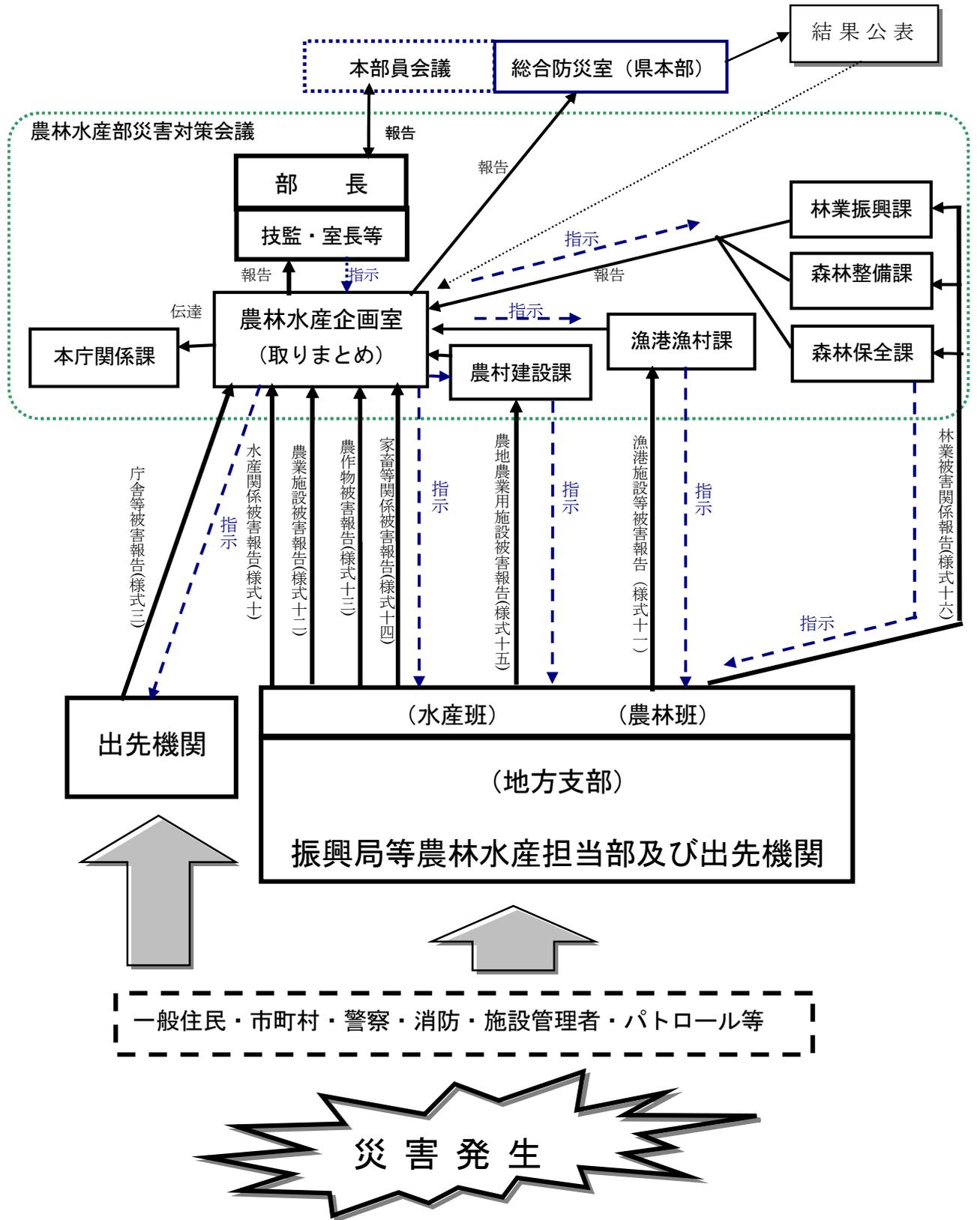
報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
農業施設被害報告	様式12	市町村本部	農林水産企画室	関係課に伝達	部長
農作物等被害報告	様式13	↓			
家畜等関係被害報告	様式14	振興局等(農	農村建設課 林業振興課 森林整備課 森林保全課 漁港漁村課	農林水産企画 室に報告	県災害対 策本部長 (総合防災 室)
水産関係被害報告	様式10	林水産担当			
農地農業用施設被害報告	様式15	部等)及び出			
林業関係被害報告(林産施設・林産物)	様式16	先機関			
〃 (作業道、市町村有林、私有林)	様式16				
〃 (林産施設・作業道以外の林業施設)	様式16				
漁港施設等被害報告	様式11				

2 応急対策及び指示

- (1) 振興局等農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部長の指示確認)	別紙様式1	振興局等農林水産担当部等 及び出先機関	農林水産企画室又は本庁 関係課(情報伝達と同様)	部長

災害情報収集・報告区分別系統図



Ⅶ 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合(警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度 5 強以上の地震	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、森林整備課長、森林保全課長、水産振興課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

- ・本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。
- ・勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。
- ・拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課(V 分掌事務参照)の長が対象となること。

VIII その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (振興局等の長)	緊急初動特別班員の指名	毎年度当初	本庁及び振興局等
本庁各室課の長 振興局農林水産担当部長 出先機関の長	非常招集系統図（配備体制区分 がわかるもの）作成	毎年度当初	本庁は農林水産 企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常招集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画(災害応急対策計画)に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等災害防止対策本部(以下「本部」という。)を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議(以下「対策会議」という。)が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局、広域振興局総合支局及び地方振興局（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長又は農林部長をもって充て、副地方支部長は、盛岡地方振興局農政部にあつては農業振興室長、県南広域振興局農林部にあつては地域農政推進課長、その他の広域振興局等の農政部及び農林部にあつては農林水産調整主幹（宮古地方振興局農政部にあつては農林水産調整監）並びに所管区域を所掌する農業改良普及センター所長（花巻及び北上地方支部にあつては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあつては地方支部長と、副本部長にあつては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

別表 1 (要綱第 3 関係)

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
中央農業改良普及センター	所長

別表 2 (要綱第 6 関係)

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	企画マーケティング担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
中央農業改良普及センター	(県域普及グループ)

農林漁業セーフティネット資金の概要

「農林漁業セーフティネット資金」は、不慮の災害や経済環境の変化等によって収支が悪化し、資金繰りに支障を来している場合などに利用できる低利な長期資金（償還期間 10 年以内うち据置 3 年以内）です。

項 目		内 容
貸 付 対 象 者	資 格 要 件	①認定農業者 ②認定就農者 ③林業経営改善経営計画の認定を受けている林業経営者 ④漁業経営の改善に関する計画の認定を受けている中小漁業者 ⑤農林漁業に係る所得が総所得の過半を占めるか粗収益が 200 万円以上の個人 ⑥農林漁業に係る売上高が総売上高の過半を占めるか 1,000 万円以上の法人
	状 況 要 件	①災害の被害を受けた ②疾病や病虫害等の被害により殺処分や出荷停止の指導を受けた ③前期より粗収益が 10%以上減少した ④最近 3 ヶ月の粗収益が前年同期を下回っており、今後も減少が見込まれる ⑤前期より所得率や純利益が悪化している ⑥燃油や資材費等の高騰により一時的に経営が悪化している ⑦取引先や取引金融機関が破綻し、経営に支障を来している
取 扱 融 資 機 関	日本政策金融公庫 ※農協、銀行等を窓口として融資される	
資 金 使 途	経営の維持安定に必要な長期運転資金	
貸 付 限 度 額	個人、法人とも 600 万円（特認：年間経営費の 3/12 以内） （東日本大震災被災者：1,200 万円（特認：年間経営費の 12/12 以内））	
貸 付 利 率	0.35～0.85%（H25.2.21 現在） （東日本大震災被災者：無利子）	
協会保証及び保証料率	無（保証人、担保等については別途要相談）	
償 還 期 限	10 年以内（うち据置 3 年以内） （東日本大震災被災者 13 年以内（うち据置 6 年以内））	
そ の 他	日本政策金融公庫盛岡支店 TEL019-653-5121	

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	<p>水稻</p> <p>麦</p>	<p>気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災</p> <p>上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）</p>	<p>【当然加入制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻 30 a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25 a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・ 麦 10a 以上（全組合） 	<p>【一筆・半相殺・全相殺方式】</p> <p>共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合）</p> <p>【水稻品質・麦災害収入共済方式】</p> <p>基準生産金額の6～9割</p>
	果樹共済	<p>りんご</p> <p>ぶどう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（冷害、風水害、干害等） ・ 病虫害、鳥獣害 <p>【特定危険方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 10a 以上（最低加入基準） <p>【特定危険方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに 10a 以上の栽培面積と栽培経験 5 年以上
畑作物共済	大豆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（冷害・風水害・干害等） ・ 病虫害、鳥獣害、火災 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 5 a 以上（最低加入基準） 	<p>【一筆単位方式】</p> <p>耕地ごとの基準収穫量の 7 割×単位当補償金額</p>
	そば			<p>【半相殺・全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の（8割：半相殺・9割：全相殺）×単位当補償金額</p>
	ホップ			<p>【全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の 8 割×単位当補償金額</p>
	蚕繭（春・初秋・晩秋）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（風水害、地震等） ・ 病虫害、鳥獣害、火災 	<p>最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1 箱以上）、初秋蚕繭（0.5 箱以上）、晩秋蚕繭（0.5 箱以上）</p>	<p>【全相殺方式】</p> <p>基準収繭量の 8 割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）</p>
家畜共済	牛馬豚	<p>死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、</p> <p>廃用（胎児・肉豚を除く）、病気（胎児・肉豚を除く）、傷害（胎児・肉豚を除く）</p> <p>【事故除外】</p> <p>特定の事故のみ限定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・ 肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛） <p>（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）の胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共済価額×付保割合で共済金額を求め、この範囲内で死廃用事故にかかる共済金が支払われる（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・ 高被害率農家（死廃事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死廃事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が3万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く 	<p>共済価額（施設時価額）×付保割合 付保割合（組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択）</p> <p>※施設内農作物は、施設の再建築価額（新築価額）に該当施設内農作物の価額算定率をかけ、さらに付保割合をかけて共済金額を求める（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）</p>

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に収容されている家具、家財 ・農作業場等に収容されている小農器具 	<p>（火災事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機具共済	農機具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 <p>（更新共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有または管理している未使用の状態を取得した農機具 	<p>損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額</p> <p>※損害額1万円以上の事故から対象</p> <p>※機械の腐食等の自然消耗等は対象外</p>

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	過去5年間の漁獲金額のうち最高と最低を除く3年平均×一定割合(漁業種類ごとに一律)	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業				

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位 当たり生産 金額のうち 最高と最低 を除く3年 平均 × 契約年のさ く数、台数、 または幹縄 の延長数 × 一定割合 (養殖種類 ごとに一 律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定して、てん補する方式</p> <p>【支払上限てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合是不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

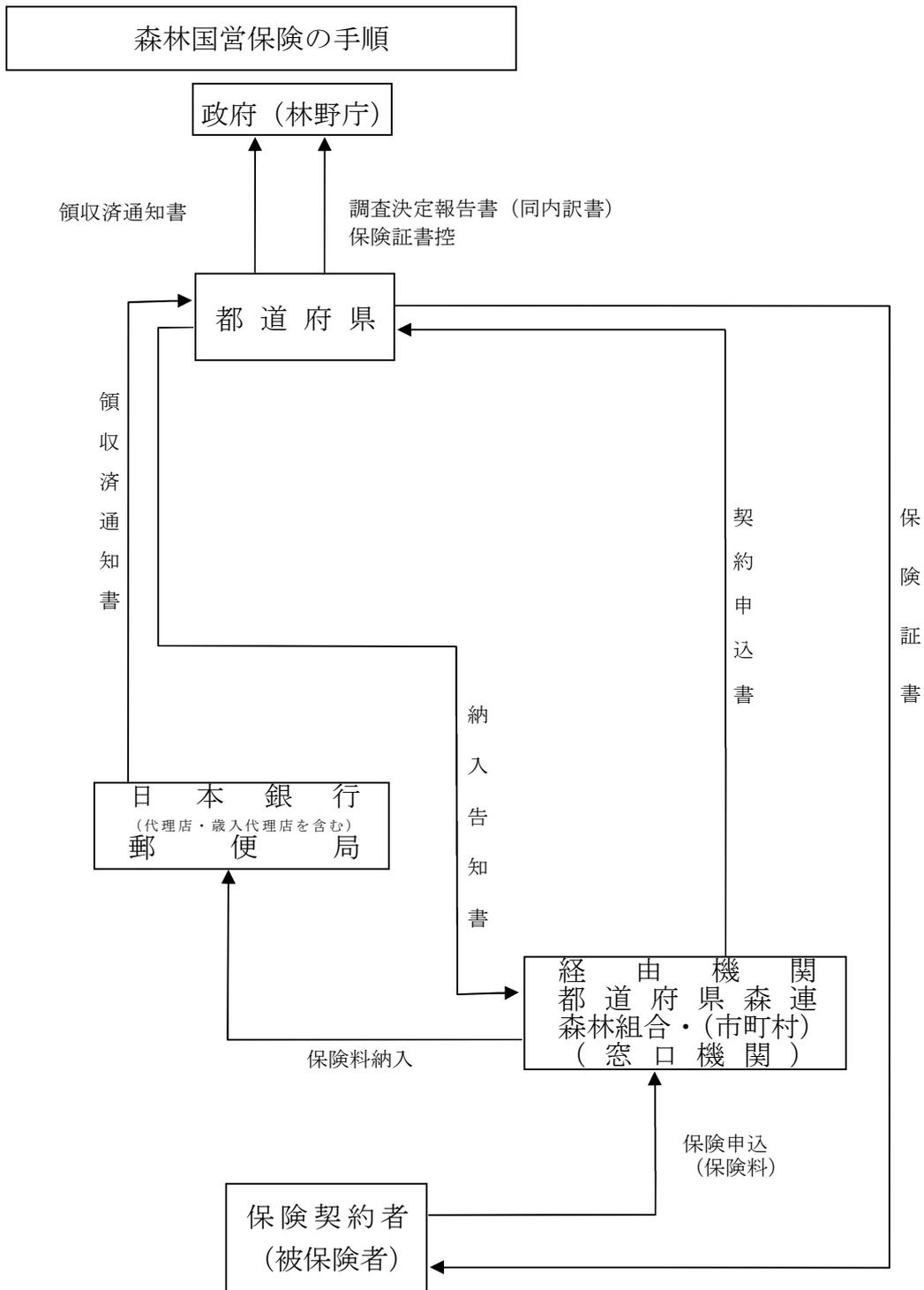
引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁業施設共済	漁具	定置網	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償 【各網全損特約】(定置網) 【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定てん補(分損)契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	はえ縄 いかだ 網いけす			

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約
漁協が加入する方式
- 3 集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	被害森林における被害木等の伐採・搬出及び人工造林等	倒伏木の引きこし	森林作業道の開設及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体等			都道府県、市町村、森林整備法人等、森林組合等、森林法施行令第11条第7号に掲げる特定非営利活動法人等（ただし、事業主体が自ら所有する森林で実施する場合を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林国営保険の概要



注) 保険の目的が都道府県有林で、被保険者かつ契約者が都道府県である場合の事務の流れは上図と異なる。(※経由機関に委任している事務を都道府県が実施する。)

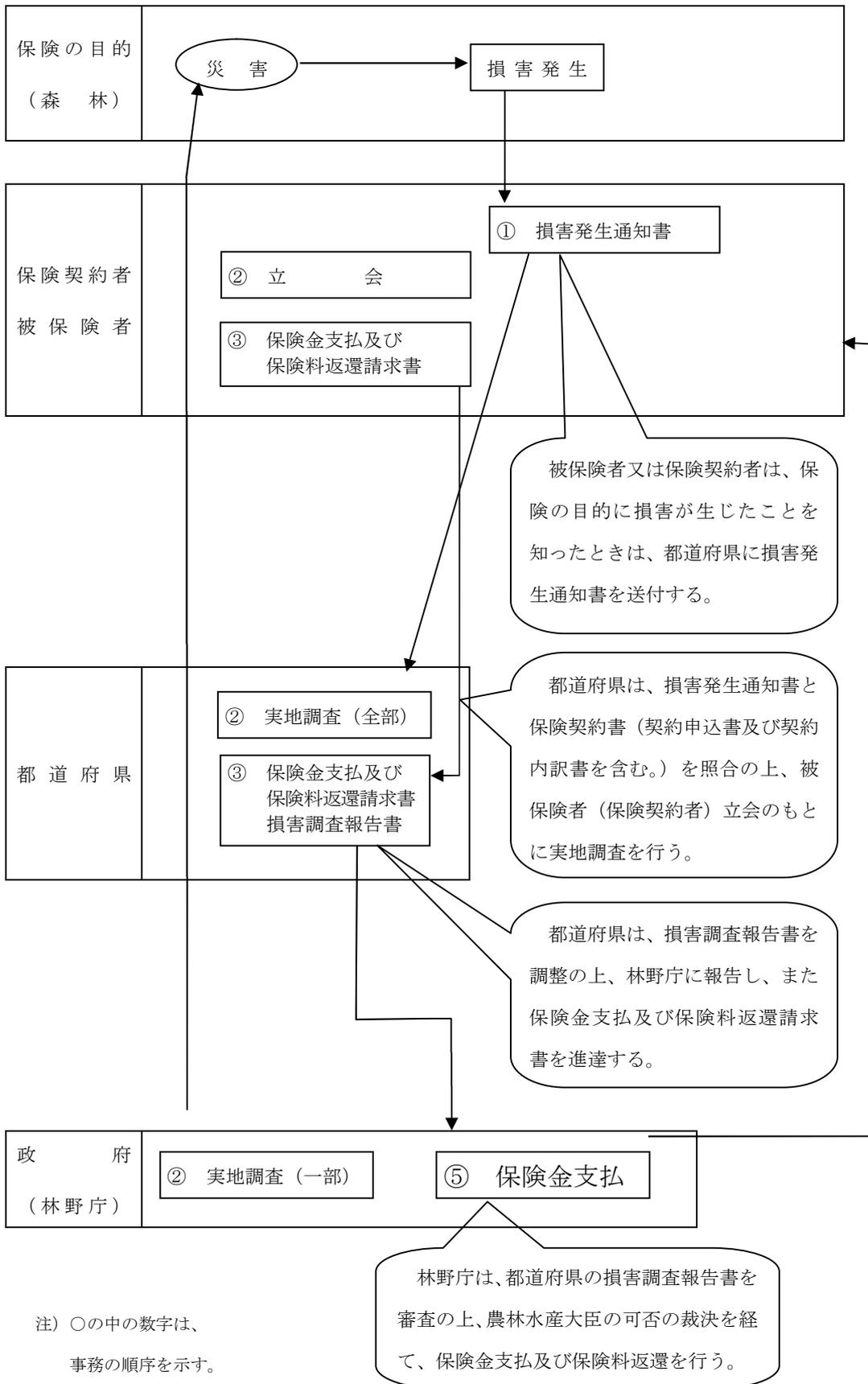
森林国営保険に係る損害てん補業務

業務の流れ	仕事をすべき者	費用負担者等
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険事故の発生</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害発生通知書</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上の受理・送付</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上の受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害の現地調査 概況調査</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">現地調査</div> <p style="margin-left: 20px;">現地調査立会</p> <p style="margin-left: 20px;">現地調査補助</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害調査報告書 保険金支払及び保険料 返還請求書</div> <p style="text-align: center;">(報告)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険金支払い</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">保険金代理受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険金受理</div>	<p>森林所有者 (保険契約者・被保険者)</p> <p>経由機関 (市町村、森林組合、都道府県森連)</p> <p>都道府県 (委託している場合は受託者)</p> <p>都道府県 (委託している場合は受託者)</p> <p>保険契約者又は被保険者 (委任を受けた者を含む) 都道府県の職員又は 現地雇用作業員</p> <p>都道府県 (委託している場合は受託者)</p> <p>都道府県</p> <p>林野庁</p> <p>林野庁</p> <p>保険金受取人(被保険者)の 委任を受けた者</p> <p>保険金受取人</p>	<p>・発生に係る通知は森林所有者 保険契約者・被保険者<個人負担></p> <p>経由機関 <市町村等交付金・手数料> ・通知書の作成は経由期間の受理業務の一環</p> <p>都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)></p> <p>都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)></p> <p>保険契約者・被保険者<個人負担></p> <p>都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)></p> <p>都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)> ・保険金等の請求書作成、請求印受領も調査の一環</p> <p>都道府県 <都道府県交付金></p> <p>林野庁</p> <p>林野庁</p> <p>保険金受取人<個人負担></p>

(注)

- 1 損害発生通知書、保険金支払請求書の作成の考え方は、民間損保も同様である。
- 2 現地調査立会と現地調査補助は別の立場である。立会者に調査手伝いをさせた場合の経費は都道府県又は都道府県森連が都道府県交付金または都道府県の委託費から負担する。

森林国営保険損害てん補の手順



農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあっては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生の都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成24年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稻	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村
						生育回復	4.9	92	30	川崎村
					小計	8.8	1,267	421	7市町村	
					桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村
	計	1,351.9	15,087	5,020	7市町村					
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町	
年度計							1,429.9	18,866	6,279	
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村
						計	2,462.9	56,225	18,589	25市町村
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稻	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町
						小計	4.9	607	201	2町村
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町
						生育回復	5.5	59	19	川崎村
						小計	45.1	8,453	2,813	4市町村
	9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村
計						1,558.6	25,441	8,470	7市町村	
果樹						病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村
年度計				野菜	代作	3.2	689	224	紫波町	
					計	142.2	5,044	1,664	4市町村	
					計	4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町
						改植	5.0	672	224	安代町
						小計	7.8	701	233	
					果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市
	計	38.8	1,827	607		2市町村				
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609		水稻	病害虫防除	435.9	2,812	935
					病害虫防除		100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町
						小計	110.4	2,479	824	4市町村
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村
代作						34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村	
小計	149.0	12,683	4,165	6市町村						
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市					
計	747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施						
年度計							786.1	22,199	7,329	
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村
						小豆	播き直し	6.4	156	52
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村
						生育回復	9.0	177	59	軽米町
					果樹	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村
						計	233.3	15,323	5,088	6市町村
	7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稻	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町
揚水機購入						61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村	
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	110.2	25,701	8,490	4市町村	
					病害虫防除	185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村	
年度計							529.0	45,947	15,201	
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町
					キャベツ	病害虫防除	94.0	6,665	2,219	2町村
						計	10.0	161	53	一戸町
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	104.0	6,826	2,272	2町村
						病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町
						代作	8.0	1,031	343	紫波町
						小計	10.0	1,054	350	
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市
						代作	2.0	258	85	花巻市
						小計	4.0	275	90	
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村
						病害虫防除	4.0	28	9	花巻市
					ブロッコリー	代作	4.0	515	171	花巻市
						小計	8.0	543	180	
					レタス	代作	3.0	386	128	遠野市
ごぼう					代作	2.0	258	85	花巻市	
わさび					植え直し	0.3	2,039	679	宮守村	
計	32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計							193.2	14,068	4,678	

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村
計						842.7	35,330	11,706	15市町村	
夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施						
年度計							911.1	46,528	15,384	
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市
年度計							30.0	534	178	
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施						
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町
					計		36.4	5,114	1,704	2町
					レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町
ざといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市					
牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町					
計						87.8	34,062	11,313	5市町村	
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							124.2	39,176	13,017	
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稲	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石巻市
					小計		30.3	7,289	2,426	4市町村
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石巻市、大迫町
ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石巻市、大迫町						
小計		60.1	61,649	20,452	3市町村					
計						90.4	68,938	22,878	5市町村	
年度計							1,385.4	84,152	27,934	
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302		雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町
	計					58.4	36,898	12,298	2町	
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村	
計						4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村	
計						47.2	4,782	1,593	2町村	
年度計							1,825.4	58,728	19,570	
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	釜米町、九戸村
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村
計						0.7	4,966	1,655	2町村	
年度計							0.7	4,966	1,655	
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							1.5	1,898	632	
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、釜米町
					小計		621.9	44,523	14,826	13市町村
					おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村				
計						697.4	53,473	17,805	14市町村	
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							697.4	53,473	17,805	
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市
						播き直し	0.07	134	45	北上市
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市
					スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市
					水稲	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町
	計					317.27	5,411	1,802		
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町
キャベツ					緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町	
だいこん					緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村	
計					225.18	11,947	3,981			
年度計							542.45	17,358	5,783	

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稻	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村	
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村	
年度計							1,900.3	18,817	6,262		
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稻	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村	
						りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村
年度計							24.0	2,217	738		
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)	
	10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620		生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)	
年度計							70.0	3,670	1,223		
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市	
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市	
						生育回復対策	2.5	103	34	二戸市	
	計							63.6	1,319	438	
9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区		
					大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町	
					飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町	
年度計							106.0	20,822	6,934		
年度計							169.6	22,141	7,372		
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町	
					加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町	
年度計							57.5	3,248	1,082		
年度計							57.5	3,248	1,082		
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市	
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市	
	計							60.0	1,459	486	
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
						緊急薬剤散布	29.79	669	223	江刺市	
年度計							30.069	2,163	721		
年度計							90.069	3,622	1,207		
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町	
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町	
						改植	4.00	2,335	778	岩手町	
						代作(大根)	4.47	1,014	337	岩手町	
					大根	まき直し	6.89	1,563	520	岩手町	
					計						27.21
7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	15.80	2,921	950	岩手町		
年度計							43.01	10,160	3,360		
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H24	6月4日、6日	降雹	150.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市	
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市	
年度計							95.5	2,414	805		
年度計							95.5	2,414	805		

1億円以上の被害額となった災害：56災害 (S61～H24)
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：40災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雪災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雹災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降霜災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883	
9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013	
9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379	
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雹等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雹等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
	10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991
	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848
	11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
3	6月12日～14日にかけての大雨災害					40,000			40,000							40,000	
	6月16日の豪雨災害			64,000	64,000											64,000	
	6月30日の落雷災害			3,000	3,000											3,000	
	7月10日～11日にかけての豪雨災害	11,589		29,000	40,589											40,589	
	7月16日～17日にかけての豪雨災害			222,000	222,000											222,000	
	7月21日の大雨災害					65,000			65,000							65,000	
	7月24日～25日にかけての豪雨災害			105,000	105,000	55,288			55,288							160,288	
	8月22日の豪雨災害			67,000	67,000											67,000	
	8月30日～31日にかけての台風14号による大雨洪水災害	104,153	65,634	2,411,000	2,580,787	456,594		18,089	474,683					44,160		44,160	3,099,630
	8月7日の豪雨災害			59,000	59,000	18,804			18,804								77,804
	9月17日～18日にかけての台風18号による大雨洪水災害	21,648		288,000	309,648	156,216		4,687	160,903	200	121,440	300			121,940	592,491	
	9月27日～28日にかけての台風19号による強風災害	2,452,393	1,364,292	35,000	3,851,685	5,300	3,705	56,348	65,353	5,205	4,430				9,635	3,926,673	
	10月10日～14日にかけての台風21号による大雨洪水災害	9,390		990,000	999,390	357,055		1,152	358,207							1,357,597	
長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883			25,761,883											25,761,883		
12月28日～29日にかけての強風災害		3,905		3,905											3,905		
4	5月21日の降雹災害	10,106			10,106											10,106	
	5月28日の降雹災害	5,073			5,073											5,073	
	6月14日の降雹災害	144,624			144,624											144,624	
	6月28日の降雹災害	9,609			9,609											9,609	
	8月8日～9日の台風10号による災害	27,408	4,411		31,819											31,819	
	9月11日～12日の台風17号による波浪災害										20,220				20,220	20,220	
	9月11日～12日の台風17号による波浪災害																
5	1月15日の地震災害			10,000	10,000											10,000	
	1月29日の強風災害		763		763											763	
	2月6日～7日の大雨・融雪災害			83,000	83,000											83,000	
	3月8日の波浪災害											1,607	99,000		100,607	100,607	
	4月18日の強風災害	7,387	78,330		85,717											85,717	
	4月28日の強風災害		2,468		2,468											2,468	
	5月6日の地震災害			14,000	14,000											14,000	
	6月2日～4日の大雨・洪水・波浪災害			83,000	83,000	84,823			84,823					33,631	33,631	201,454	
	6月9日の降雹災害	20,477	1,200		21,677											21,677	
	7月25日～26日の大雨災害	5,541	300		5,841											5,841	
	7月28日～29日の大雨・洪水・波浪災害	112,727	850	2,643,000	2,756,577	1,453,148		17,576	1,470,724	5,000	1,500		3,500		10,000	4,237,301	
	8月27日～28日の台風11号による大雨・洪水・波浪災害	9,972	5,483	200,000	215,455	57,143			57,143	100			5,400	133,609	139,109	411,707	
	9月4日の台風13号による大雨災害			75,000	75,000	502,976			502,976							577,976	
	10月24日～25日の強風災害	27,707	4,240		31,947											31,947	
異常低温・日照不足等による災害	102,690,977			102,690,977											102,690,977		
6	1月29日～30日の大雪による災害	12,356	73,714		86,070											86,070	
	2月9日～10日の大雪による災害		60		60											60	
	2月21日～23日の強風による災害	3,271	28,299		31,570					2,570	11,480	9,561	37,770		61,381	92,951	
	4月3日の強風による災害		1,532		1,532											1,532	
	5月15日の大雨災害					40,000			40,000							40,000	
	6月3日の降雹による災害	17,031			17,031											17,031	
	6月9日の降雹による災害	20,290			20,290											20,290	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
6	6月17日の降雹と雷雨による災害	105,419			105,419											105,419
	7月1日～2日の大雨による災害			15,000	15,000											15,000
	8月18日～21日の大雨と強風による災害	33,971	17,749	156,000	207,720	94,390			94,390							302,110
	7月～8月の高温乾燥と少雨による災害	4,541,905			4,541,905											4,541,905
	9月8日～9日の強風と降雹による災害	75,209	4,180		79,389											79,389
	9月15日の大雨による災害	31,931		542,000	573,931	350,548			350,548							924,479
	9月18日～22日の台風24号による波浪災害					614,123			614,123	96,940	430,730	106,325	287,716	3,774,893	4,696,604	5,310,727
	9月30日の台風26号による災害	155,193	13,059	920,000	1,088,252											1,088,252
	10月4日の北海道東方沖地震津波による災害										282,675	236,989	718,576		1,238,240	1,238,240
	10月11日～12日にかけての大雨による地すべり災害					10,000				10,000						10,000
	11月4日の強風による災害	51,680			51,680											51,680
	12月28日の三陸はるか沖地震・津波による災害		5,582		5,582	50,591	3		50,594		3,500	14,091	7,029		24,620	80,796
7	1月7日の地震による災害			105,000	105,000	15,325			15,325							120,325
	4月20日の強風による災害		13,298		13,298											13,298
	5月31日の降雹による災害	37,960	2,949		40,909											40,909
	7月10日の豪雨による災害			4,000	4,000											4,000
	8月2日～7日の大雨洪水による災害	1,338,377	3,249	1,044,000	2,385,626	185,719		2,000	187,719							2,573,345
	8月22日の大雨による災害	2,073		246,000	248,073											248,073
	8月24日～26日の大雨による災害	7,679		323,000	330,679	47,677		1,022	48,699							379,378
	11月7日～9日の暴風雪・波浪による災害	293,169	122,772		415,941			700	700	425	192				617	417,258
	12月24日～25日の暴風雪・波浪による災害										8,560	60			8,620	8,620
	9月2日の大雨・強風による災害			261,000	261,000											261,000
8	9月22日～23日の台風17号による災害									48,870	1,010	2,520	140,819	193,219	193,219	
	4月3日の融雪災害					88,890			88,890							88,890
	6月24日～25日にかけての大雨災害					47,000			47,000							47,000
	2月6日～7日の暴風雪・波浪による災害									450		18,810			19,260	19,260
	3月31日の強風による災害		14,565		14,565											14,565
	11月6日の強風による災害	12,612			12,612											12,612
	11月21日の強風による災害		384		384											384
	1月6日～7日にかけての大雪災害							301,084	301,084							301,084
9	2月4日～5日の波浪による災害									4,420	9,163	48,630	57,493	119,706	119,706	
	3月1日の強風による災害		835		835			672	672							1,507
	3月11日の強風による災害		6,131		6,131											6,131
	4月10日の強風による災害		2,423		2,423											2,423
	5月2日の強風による災害		920		920											920
	5月7日～8日の強風による災害			8,000	8,000											8,000
	6月20日～21日の台風7号による災害			53,000	53,000											53,000
	6月23日の雷雨と降雹による災害	30,605		78,000	108,605	500			500							109,105
	6月28日～29日の台風8号による災害	8,832		623,000	631,832	155,369			155,369							787,201
	7月4日～5日の強風による災害	28,454	1,908		30,362	54,218			54,218							84,580
	8月12日の局地的大雨による災害			5,000	5,000											5,000
	8月3日～4日の局地的大雨による災害			9,000	9,000											9,000
	9月16日～17日の台風19号による災害			1,000	1,000											1,000

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
9	9月2日～3日の大雨による災害			7,000	7,000											7,000
	10月8日～9日の強風による災害	1,259			1,259											1,259
	11月22日の大雨、洪水災害					7,655			7,655							7,655
10	1月15日～16日の大雪による災害		18,635		18,635	700		1,957	2,657		600				600	21,892
	4月2日～4日の大雪による災害		498		498	80,000			80,000							80,498
	5月11日の降雪による災害	142,760			142,760											142,760
	6月19日～20日の強風による災害		1,480		1,480											1,480
	6月26日～29日の大雨による災害	2,359		113,000	115,359	4,300			4,300							119,659
	7月23日の大雨による災害			16,000	16,000	200			200							16,200
	7月28日の大雨による災害					300			300							300
	8月6日～7日の大雨による災害			30,000	30,000	29,492			29,492							59,492
	8月11日～12日の大雨による災害			32,000	32,000	3,608			3,608							35,608
	8月13日の大雨による災害	1,394		161,000	162,394											162,394
	8月14日の大雨による災害			104,000	104,000	6,104			6,104							110,104
	8月15日～16日の大雨による災害	692		63,000	63,692	57,750			57,750							121,442
	8月26日～9月1日の大雨洪水による災害	1,261,302	17,132	3,915,000	5,193,434	3,402,254	2,325	9,347	3,413,926	6,038					6,038	8,613,398
	9月3日の内陸北部地震による災害			46,000	46,000	4,669,000		4,667	4,673,667							4,719,667
	9月15日の地すべり災害					700,000			700,000							700,000
	9月15日～16日の台風5号による災害	235,454	135,479	228,000	598,933	168,951			168,951	400	8,150	3,610	5,451		17,611	785,495
	9月22日～23日の台風7号による災害	54,837	8,426		63,263											63,263
	9月25日の強風災害					7,200			7,200							7,200
	9月29日～10月2日の大雨・波浪による災害			60,000	60,000	357,151			357,151					143,432	143,432	560,583
	10月18日の台風10号による災害	40,221	2,435		42,656											42,656
11月4日～5日の強風による災害		171		171											171	
11月14日の落雷による災害			5,000	5,000											5,000	
12月17日の強風による災害		5,126		5,126											5,126	
11	1月7日の地滑りによる災害			40,000	40,000											40,000
	1月9日～10日の強風による災害		950		950											950
	2月12日～13日の大雪による災害		4,533		4,533											4,533
	2月27日～28日の強風による災害		3,484		3,484											3,484
	3月6日の強風による災害		1,812		1,812											1,812
	3月15日～16日の大雪による災害		15,016		15,016	5,484			5,484			9,000	24,000		33,000	53,500
	3月22日～23日の風雪による災害		2,181		2,181											2,181
	4月25日～26日にかけての大雨災害					5,000			5,000							5,000
	5月3日～5日にかけての大雨災害					47,891			47,891							47,891
	5月20日の強風による災害		100		100											100
	6月8日～9日の降雪による災害	72,099			72,099											72,099
	6月24日の強風による災害		2,840		2,840											2,840
	6月29日～7月1日にかけての大雨災害					2,000			2,000							2,000
	7月12日～14日の大雨による災害	126,161	553	1,977,000	2,103,714	2,479,901		29,896	2,509,797							4,613,511
	7月下旬～8月中旬の高温乾燥による災害	677,408			677,408											677,408
	9月10日～11日の大雨による災害			15,000	15,000	7,600			7,600							22,600
9月14日～15日の大雨による災害			135,000	135,000											135,000	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
11	9月24日～25日の台風18号による災害		2,512		2,512											2,512
	10月27日～28日の大雨による災害	229,072	36,297	8,462,000	8,727,369	4,800,318	5,643	20,679	4,826,640	8,500	63,200	300			72,000	13,626,009
12	3月16日～17日の大雪による災害		10,300		10,300											10,300
	3月28日～29日の大雨による災害			37,000	37,000	85,000			85,000							122,000
	4月1日～2日の強風による災害		4,162		4,162											4,162
	4月7日～8日の強風による災害		2,954		2,954											2,954
	4月10日～11日の大雨による災害	217			217											217
	4月20日～21日の大雨による災害	6,783		14,800	21,583											21,583
	5月8日の降雹による災害	8,457	3,940		12,397											12,397
	7月4日の降雹による災害	100,644	256		100,900											100,900
	7月8日～9日の大雨・洪水・暴風による災害	545,492	5,182	681,000	1,231,674	1,134,756	460	12,376	1,147,592	200	2,150	200	100,100	357,476	460,126	2,839,392
	7月18日の大雨による災害	8,486		70,000	78,486											78,486
	7月下旬～8月中旬の高温による災害	186,950			186,950											186,950
	8月3日の大雨被害					47,706			47,706							47,706
	8月5日～8日の降雹、大雨等による災害	75,880	520	313,000	389,400							7,400	6,028		13,428	402,828
	8月23日の局地的な降雹と突風による災害	24,890	275		25,165											25,165
	10月18日の強風による災害	50,794	450		51,244											51,244
	10月26日の強風による災害	18,204			18,204											18,204
	11月21日の強風による災害		3,540		3,540											3,540
12月19日～23日の強風による災害		881		881											881	
13	1月7日～10日の大雪による災害		10,815		10,815											10,815
	1月18日～4月9日の低温による災害			199,000	199,000											199,000
	1月28日の大雪による災害		1,732		1,732											1,732
	2月2日～4日の大雪・強風による災害		1,490		1,490											1,490
	3月18日～21日の強風による災害		8,618		8,618											8,618
	4月13日の強風による災害		423		423											423
	4月20日の強風による災害		900		900											900
	4月下旬の低温・降雹による災害	1,883,809			1,883,809											1,883,809
	6月19日～20日の大雨による災害			21,000	21,000	5,000			5,000							26,000
	6月25日～26日のペルー沖地震津波による災害											470			470	470
	6月29～30日にかけての大雨による災害					60,300			60,300							60,300
	6月30～7月1日にかけての大雨による災害					5,000			5,000							5,000
	7月4日の大雨による災害			120,000	120,000											120,000
	7月23日～24日の大雨による災害			93,000	93,000											93,000
	7月30日～8月2日の大雨による災害	173,156	1,290	1,209,000	1,383,446	608,626		1,170	609,796							1,993,242
	7月下旬の高温による災害	30,063			30,063											30,063
	8月3日～4日の大雨による災害			23,000	23,000											23,000
8月22日～23日の台風11号による災害	2,548		36,000	38,548	4,680		346	5,026			50	1,500		1,550	45,124	
8月27日～28日の大雨による災害			30,000	30,000											30,000	
9月10日～12日の台風15号による災害	7,822		442,000	449,822	470,422		534	470,956	3,200	2,200	350			5,750	926,528	
9月22日～23日の低温・降霜による災害	99,945			99,945											99,945	
10月1日～3日にかけての大雨による災害					70,000			70,000							70,000	
12月14日～16日の大雪による災害	2,200	32,850		35,050											35,050	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	1,591	55,566	475,676	532,833	7,045		1,636,265	1,643,310	11,471	68,272	124,844	524,076	786,163	1,514,826	3,690,969	
	3月6日～7日にかけての大雪による災害					97,100			97,100							97,100	
	4月5日～7日にかけての低気圧通過による災害									1,330	6,100	3,000	28,743	105,000	144,173	144,173	
	4月下旬～5月上旬にかけての降霜による災害	97,363			97,363											97,363	
	5月下旬～6月上旬にかけての降雹による災害	30,620			30,620											30,620	
	台風6号による災害	1,330,021	34,314	10,073,000	11,437,335	6,711,859	18,238	43,342	6,773,439	5,450	10,000	3,343	12,050	33,683	64,526	18,275,300	
	8月の長雨・日照不足による災害	686,136		463,000	1,149,136	30,100			30,100								1,179,236
	7月～9月の暑熱による災害		70,922		70,922												70,922
	台風21号による災害	375,816	73,444	37,000	486,260	71,145		7,204	78,349	20,915	147,586	22,898	99,950	3,800	295,149	859,758	
	10月21日～22日にかけての大雨暴風雨による災害	919			919			1,300	1,300	500	72,000			500	73,000	75,219	
	11月の低温による災害	5,184			5,184												5,184
15	2月20日から21日にかけての大雪による災害										5,050				5,050	5,050	
	3月1日から2日にかけての暴風による災害		933		933											933	
	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	9,955	153,620		163,575	104,786		421,600	526,386	3,057	25,458	467,019	2,291,362	1,249,500	4,036,396	4,726,357	
	4月1日の融雪災害					146,055			146,055							146,055	
	4月12日～13日の強風災害		583		583											583	
	消雪の遅れによる農作物の被害	16,733			16,733											16,733	
	4月下旬から5月上旬にかけての降霜災害	21,152			21,152											21,152	
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	881	150,461	500,000	651,342	514,950	27,885	620	543,455	27,493	410			721,100	749,003	1,943,800	
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	2,135			2,135											2,135	
	7月10日から11日にかけての大雨災害					110,000			110,000							110,000	
	7月24日～27日にかけての大雨災害					276,961		533	277,494	300					300	277,794	
	7月26日に発生した地震（震度4）による被害			59,000	59,000											59,000	
	8月25日の降雹による被害	1,454			1,454											1,454	
	台風10号による被害	10,508	162		10,670	200			200							10,870	
	台風14号による被害	24,115	6,358		30,473											30,473	
	平成15年十勝沖地震に伴う津波被害									1,935	3,192	154,394	273,981		433,502	433,502	
	6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921			32,906,921											32,906,921	
11月16日の強風災害	3,232	2,790		6,022											6,022		
12月7日の強風災害		1,189		1,189											1,189		
16	1月14日強風災害		1,192		1,192											1,192	
	2月15日強風災害		1,300		1,300											1,300	
	2月23日強風災害		23,716		23,716	295			295		4,000				4,000	28,011	
	3月6日大雪災害		1,044		1,044											1,044	
	3月31日強風災害		4,668		4,668											4,668	
	4月20日強風災害		52,742		52,742					200	7,730				7,930	60,672	
	4月～5月降霜被害	115,327			115,327											115,327	
	6月15日降雹災害	17,708			17,708											17,708	
	6月21日台風6号災害	5,297	950	116,000	122,247	52,430			52,430							174,677	
	6月30日降雹災害	19,802			19,802											19,802	
	7月11日～20日大雨災害	30,559		166,000	196,559	84,800			84,800							281,359	
	7月26日～27日落雷・降雹災害	12,850	230	22,000	35,080											35,080	
8月5日～7日大雨災害			47,000	47,000											47,000		

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
16	8月8日降雹災害	763			763											763
	8月9日大雨災害			16,000	16,000											16,000
	8月20日台風15号災害	392,461	81,398		473,859					2,781	1,943				4,724	478,583
	8月31日台風16号災害	209,739	19,254		228,993					2,113	1,900	1,260	3,660		8,933	237,926
	7月1日～8月31日高温被害	94,626			94,626											94,626
	9月8日台風18号災害	87,312	26,993		114,305					1,004					1,004	115,309
	9月21日～22日大雨被害			28,000	28,000											28,000
	9月30日台風21号災害	100,785	27,286	1,836,000	1,964,071	316,236		800	317,036	6,127	2,100				8,227	2,289,334
	10月10日台風22号災害	1,011	491		1,502											1,502
	11月27日強風災害	12,998	146,165		159,163	9,015		3,681	12,696	3,899	6,760	34,119	55,150	2,400	102,328	274,187
	9月～11月降雨による品質低下減収被害	363,914			363,914											
17	1月17日大雪・波浪災害	71	220		291			543	543	2,773	49,270	12,347	46,760	539,300	650,450	651,284
	平成16年末からの積雪による被害	13,171	90,357		103,528			2,863	2,863							106,391
	4月7日強風災害		4,795		4,795											4,795
	4月7日落雷災害			2,000	2,000											2,000
	4月29日・5月1日強風災害		1,645		1,645											1,645
	5月19日強風災害		130		130											130
	5月20日地すべり災害					98,115			98,115							98,115
	5月27日落雷災害			8,000	8,000											8,000
	6月4日大雨災害	1,438			1,438											1,438
	6月11日大雨災害					224		42	266							266
	6月19日・20日落雷災害	93,263			93,263											93,263
	6月27日大雨災害	140		119,000	119,140											119,140
	7月26日台風7号災害		20		20	9,937			9,937			1,560			1,560	11,517
	7月31日大雨災害			3,000	3,000											3,000
	8月の高温災害	22,583			22,583											22,583
	8月14日～15日大雨災害			5,000	5,000	57,900		162	58,062							63,062
	8月16日地震災害		4,000	22,000	26,000	1,006	3,000		4,006	90					90	30,096
	8月20日落雷災害	1,864			1,864											1,864
	8月21日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	8月23日落雷災害		50		50											50
	8月22～23日大雨災害			11,000	11,000	4,161			4,161							15,161
	9月7日台風14号災害	9,723	848		10,571	4,100		137	4,237							14,808
	10月22日から23日大雨及び低気圧災害			9,000	9,000					50	100				150	9,150
	11月8日強風災害		50		50											50
	11月15日地震災害			16,000	16,000											16,000
	12月20日強風災害		100		100											100

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
18	平成18年豪雪災害	17,227	505,764	13,000	535,991	5,039	500	234,538	240,077							776,068
	2月の低温災害			36,000	36,000											36,000
	3月20日強風災害		18,787		18,787											18,787
	4月11日地すべり災害					10,000			10,000							10,000
	4月21日地すべり災害					9,724			9,724							9,724
	5月16日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	6月22日降雹災害	192,823	60		192,883											192,883
	8月12日降雹災害	146			146											146
	8月上旬の高温災害	7,141			7,141											7,141
	8月18日大雨災害	88		110,000	110,088											110,088
	8月22日大雨災害			20,000	20,000											20,000
	8月30日大雨災害					17,000			17,000							17,000
	9月5日台風12号災害					1,193,409		20	1,193,429	9,310	290,032	27,478	49,950	265,570	642,340	1,835,769
	10月6日から8日の低気圧による大雨、暴風、高波災害	270,278	66,976	1,530,000	1,867,254	995,394	300	98,107	1,093,801	56,626	3,090,816	134,766	436,783	1,812,780	5,531,771	8,492,826
	11月7日の強風災害	22,126	900		23,026											23,026
	11月15日千島列島の地震に伴う津波災害										600	190			790	790
	11月22日から23日の強風災害	4,820	13,664		18,484											18,484
	12月26日から28日の低気圧災害	3,912	13,217	117,000	134,129	816,512		2,804	819,316	12,050	11,309	1,500		7,330	32,189	985,634
19	1月6日から8日の低気圧災害		2,463	22,000	24,463	500		304	804	310	4,500	670	4,910		10,390	35,657
	1月27日から28日にかけての大雪災害	813	460		1,273											1,273
	2月4日の強風災害		230		230											230
	2月15日から16日にかけての強風災害		80		80											80
	3月11日の大雪災害		21,253		21,253											21,253
	4月26日の強風災害		21		21											21
	5月10日の強風災害		222		222											222
	6月6日から8日の降雹災害	127,976	270		128,246											128,246
	6月25日の降雹災害	8,267			8,267											8,267
	6月29日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月6日の降雹災害	47,228	213		47,441											47,441
	8月22日の大雨災害			7,000	7,000	3,800			3,800							10,800
	9月7日の台風9号災害	161,562	12,178	629,000	802,740	370,981			370,981	1,000	4,700	7,715	17,210	18,300	48,925	1,222,646
9月10日の大雨災害			69,000	69,000	8,000			8,000							77,000	
9月17日から20日の大雨・洪水災害	621,193	6,656	1,139,000	1,766,849	527,376			527,376	900	480	1,445	7,000		9,825	2,304,050	
5月から9月の暑熱による災害	20,272			20,272											20,272	
11月10日から13日の低気圧災害	107		18,000	18,107						1,150				1,150	19,257	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
20	1月10日の暴風雪災害		144		144											144	
	2月23日から24日の暴風雪災害											7,750		500	8,250	8,250	
	4月1日から2日の強風・波浪災害		17,282		17,282							900			900	18,182	
	4月13日から30日の強風災害		1,453		1,453											1,453	
	4月から5月の降霜災害	110,481			110,481											110,481	
	5月6日から7日の強風災害	4	2,118		2,122											2,122	
	5月17日から26日の降霜災害	2,860			2,860											2,860	
	5月20日の低気圧災害	10	535		545						500	500		6,000	7,000	7,545	
	6月14日の平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震	51,904	230,309	2,126,000	2,408,213	1,186,134	80	7,023,529	8,209,743					1,000	1,000	10,618,956	
	6月23日から24日の強風・大雨災害		121	14,000	14,121	3,000			3,000								17,121
	7月7日の大雨災害	46			46												46
	7月11日の落雷災害			1,000	1,000												1,000
	7月11日から12日の大雨災害			17,000	17,000												17,000
	7月14日の大雨災害			25,000	25,000												25,000
	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672	
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000								165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745								90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000												69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306								405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903												14,903
9月12日の大雨災害			6,000	6,000												6,000	
10月24日の大雨災害							101,019	101,019								101,019	
11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371												67,371	
11月28日の強風災害		192		192												192	
21	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125	
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763					270		300			570	1,333	
	2月7日の強風災害		105		105											105	
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810											9,810	
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842											2,842	
	3月7日の強風災害		696		696											696	
	3月10日の強風災害		774		774											774	
	3月23日の強風災害		882		882											882	
	3月30日の融雪災害					6,500			6,500							6,500	
	4月21日から22日にかけての大雨災害					4,900			4,900							4,900	
	4月23日の強風災害		28		28											28	
	4月25日から26日にかけての強風・波浪災害										4,407	4,660		700	9,767	9,767	
	4月25日から27日にかけての大雨災害			10,000	10,000			224	224							10,224	
	4月から5月にかけての降雹災害	16,199			16,199											16,199	
	5月17日から18日にかけての強風災害		5,064		5,064						800	50			850	5,914	
	6月5日から7日にかけての大雨災害			1,000	1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805	
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409											121,409	
7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800			75,800							83,800		
7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000		

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
21	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79			40,000	40,000							40,079
	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545
	11月15日の強風災害		440		440											440
	12月7日の強風災害		327		327											327
22	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110						100				100	1,210
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760
	2月28日の津波災害									1,800		656,379	1,157,146		1,815,325	1,815,325
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672			200	200		900				900	74,772
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710
	4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320
	4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152		41,180	57,332	1,200	1,100			5,020	7,320	66,652
	5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700		2,000	16,700							16,700
	5月26日から27日にかけての波浪災害									300					300	300
	5月31日の降霜災害	1,211			1,211											1,211
	6月3日の降雹災害	5,488			5,488											5,488
	6月5日の降雹災害	45,569			45,569											45,569
	6月20日の大雨災害			1,000	1,000											1,000
	7月2日から4日にかけての大雨災害		400	64,000	64,400			65,000	65,000							129,400
	7月7日の大雨災害			12,000	12,000											12,000
	7月8日の降雹災害	113,040	29,531		142,571											142,571
	7月9日から10日にかけての大雨災害			10,000	10,000											10,000
	7月12日の強風災害	5,627	150		5,777											5,777
	7月17日の大雨災害	58,035	3,610	846,000	907,645	41,730	3,155	754,976	799,861							1,707,506
	7月24日の落雷災害			10,000	10,000											10,000
	7月24日から25日にかけての大雨災害	26,493			26,493											26,493
	7月25日の大雨災害			4,000	4,000											4,000
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000
	7月29日から30日にかけての大雨災害			11,000	11,000	14,630		3,000	17,630							28,630
	8月12日の台風4号による災害			64,000	64,000											64,000
	8月14日の大雨災害			11,000	11,000	1,447			1,447							12,447
	8月31日の大雨災害			90,000	90,000	3,500			3,500				54		54	93,554
	6月から8月にかけての暑熱災害	550,893			550,893											550,893
	11月3日の強風災害		615		615											615
	11月9日から10日にかけての強風災害	2,270	730		3,000											3,000
11月12日の強風災害	499			499											499	
12月3日から4日にかけて大雨、暴風、波浪災害		1,533	15,000	16,533			2,000	2,000		200			100	300	18,833	
12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	3,161	6,885	16,000	26,046	43,571		56,776	100,347	12,289	1,045,810	35,950	107,250	130,540	1,331,839	1,458,232	
12月24日から26日にかけての大雪災害		93,219		93,219			36,114	36,114							129,333	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	12月30日から1月2日にかけての大雪、暴風、波浪災害	110,094	1,221,712		1,331,806	163,109	106,267	405,441	674,817	132,585	1,489,071	295,959	1,863,657	1,782,588	5,563,860	7,570,483
	1月20日の大雪災害		3,000		3,000											3,000
	1月31日から2月2日にかけての大雪災害	732	37,919		38,651											38,651
	3月9日の地震・津波災害		30		30							1,050			1,050	1,080
	3月11日の東日本大震災津波	1,982,523	2,865,268	63,919,000	68,766,791	22,146,124	753,935	6,717,232	29,617,291	36,574,970	49,397,146	13,086,648	13,173,757	452,704,566	564,937,087	663,321,169
	4月13日の強風災害		1,582		1,582											1,582
	4月19日から20日にかけての大雪災害		2,156		2,156											2,156
	5月2日の強風災害		27,170		27,170											27,170
	5月8日の降雹、強風災害	15,537	625		16,162											16,162
	5月14日の強風災害		160		160											160
	5月16日の強風災害		250		250											250
	5月30日の強風災害		55		55											55
	6月23日から24日にかけての大雨災害	54,555	5,750	389,000	449,305	299,351	1,000	29,500	329,851							779,156
	6月27日から28日にかけての大雨災害							888	888							888
	7月23日の地震災害		11,367		11,367											11,367
	8月20日の大雨災害			45,000	45,000											45,000
	7月から9月にかけての暑熱災害	30,652			30,652											30,652
	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風、波浪災害	831	29,858		30,689							500			500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
	11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011
	12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838